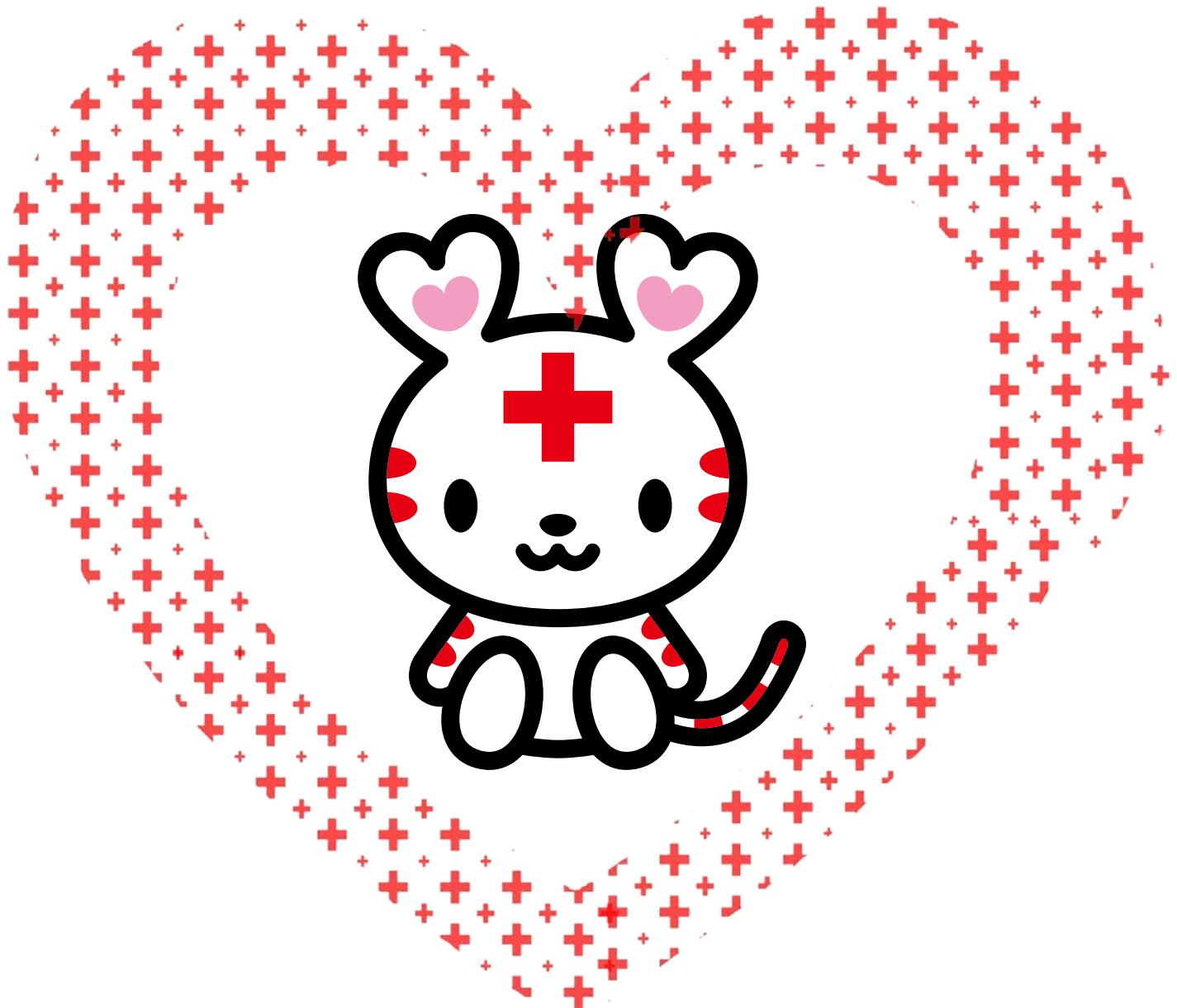


令和6年度 赤十字奉仕団活動報告集



はじめに

赤十字奉仕団は、赤十字理念のもと人道的な活動を実践しようとする人々により構成されたボランティア組織です。市町村など一定の地域ごとに組織された「地域赤十字奉仕団」、アマチュア無線や救急法など特殊な技能を持った人たちによって組織された「特殊赤十字奉仕団」、学生や社会人によって組織された「青年赤十字奉仕団」があり、令和6年3月31日時点で愛知県内では83の赤十字奉仕団が組織され、17,000人を超える奉仕団員が活躍しています。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが変わり、コロナ禍以前の日常が戻り始め、当支部としても地域課題に対応した新たな取り組みに向けて動き出した一年でありました。

令和5年度においては、防災・減災の知識・技術を普及する活動や、子ども・子育て世代の支援、多文化共生社会の実現に向けた取り組みなど、県内各地で地域ニーズに対応した奉仕団活動も行われました。また、県内では新たに赤十字防災セミナー指導者を養成したほか、奉仕団による子ども食堂等の取り組みを支援しました。

地域社会に多大な貢献をされておりますことに感謝申し上げます。

赤十字奉仕団は、会員増強、災害救護、青少年赤十字の普及育成、献血推進、社会福祉などの活動を継続していく中で、地域の課題を踏まえ、ニーズに応える活動が、地域に不可欠なボランティア団体として、より人々の信頼を得ることに繋がるはずです。

この活動報告集では、県内の赤十字奉仕団の実際の取り組みを紹介しています。各奉仕団の取り組みから、今後の奉仕団活動の活性化につながるヒントを掴んでいただき、その活動が充実・発展し、広がっていくことを期待しています。

令和6年4月

目次

モデル奉仕団

安城市赤十字奉仕団	4
あま市赤十字奉仕団	6

地域奉仕団：尾張地区

一宮市赤十字奉仕団	10
春日井市赤十字奉仕団	12
犬山市赤十字奉仕団	14
江南市赤十字奉仕団	16
小牧市赤十字奉仕団	18
稻沢市赤十字奉仕団	20
尾張旭市赤十字奉仕団	22
岩倉市赤十字奉仕団	24
豊明市赤十字奉仕団	26
日進市赤十字奉仕団	28
清須市赤十字奉仕団	30
北名古屋市師勝赤十字奉仕団	32
北名古屋市西春赤十字奉仕団	34
豊山町赤十字奉仕団	36
扶桑町赤十字奉仕団	38

地域奉仕団：知多・海部地区

津島市赤十字奉仕団	42
常滑市赤十字奉仕団	44
東海市赤十字奉仕団	46
大府市赤十字奉仕団	48
知多市赤十字奉仕団	50
愛西市赤十字奉仕団	52
弥富市赤十字奉仕団	54
大治町赤十字奉仕団	56
蟹江町赤十字奉仕団	58
阿久比町赤十字奉仕団	60
東浦町赤十字奉仕団	62
美浜町赤十字奉仕団	64
武豊町赤十字奉仕団	66

地域奉仕団：西三河地区

岡崎市赤十字奉仕団	70
碧南市赤十字奉仕団	72

刈谷市赤十字奉仕団	74
豊田市赤十字奉仕団	76
西尾市赤十字奉仕団	78
知立市赤十字奉仕団	80
高浜市赤十字奉仕団	82
みよし市赤十字奉仕団	84
幸田町赤十字奉仕団	86

地域奉仕団：東三河地区

豊橋市赤十字奉仕団	90
豊川市赤十字奉仕団	92
豊川市第二赤十字奉仕団	94
蒲郡市赤十字奉仕団	96
新城市赤十字奉仕団	98
田原市赤十字奉仕団	100

特殊赤十字奉仕団

三河赤十字救急奉仕団	104
愛知県赤十字安全奉仕団	106
尾張赤十字救急奉仕団	108
愛知県赤十字救急奉仕団	110
愛知県赤十字救助奉仕団	112
愛知県赤十字無線奉仕団	114
愛知県青少年赤十字賛助奉仕団	116
愛知県柔道整復師会災害救護赤十字奉仕団	118
愛知県赤十字災害救護奉仕団	120
愛知県赤十字国際人道法普及奉仕団	122

青年赤十字奉仕団

名城大学薬学部青年赤十字奉仕団	126
日本赤十字豊田看護大学赤十字奉仕団	128
名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団	130
南山大学青年赤十字奉仕団	132
愛知県青年赤十字奉仕団	134

奉仕団データ編

赤十字奉仕団 団数・団員数推移	137
令和6年度 赤十字奉仕団一覧	138
令和6年度 赤十字奉仕団活動状況	140

モデル奉仕団

モデル奉仕団とは…特定の奉仕活動を重点的に推進する奉仕団を指定し、効果的な活動の進め方を探求すると共に、その成果を他の奉仕団に広め、奉仕団活動の充実強化を目指すことを目的としています。

重点活動分野には以下の9つの活動があります。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ① 赤十字思想普及・会員増強に関する活動 | ② 災害救護に関する活動 |
| ③ 青少年赤十字の普及・育成に関する活動 | ④ 献血推進に関する活動 |
| ⑤ 救急法等の普及に関する活動 | ⑥ 赤十字病院における活動 |
| ⑦ 社会福祉施設における活動 | ⑧ 老人福祉の向上のための活動 |
| ⑨ 障害児者福祉向上のための活動 | |

令和5年度は以下の2奉仕団がモデル奉仕団として活動しました。

	指定期間	指定活動
安城市赤十字奉仕団	…… 令和4～6年度	社会福祉施設における活動
あま市赤十字奉仕団	…… 令和4～6年度	救急法等の普及に関する活動

安城市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：川澄 幸子（就任14年目）

団員数：40人（男：0人、女：40人）

結成年月日：昭和28年3月1日

母体：単独赤十字奉仕団

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：5人

団紹介

安城市赤十字奉仕団は、献血の呼びかけや防災訓練など幅広く活動を行っています。また、総会後に講習会を設けるなど、スキル維持・向上に努めています。

奉仕団の主な活動

★ 赤十字キャンペーン活動

5月11日、商業施設2店舗にて、啓発品を配布しPR活動を行いました。【参加者：12名】

★ 献血の呼びかけ・古本回収

10月6日、安城市福祉まつりにて献血の呼びかけと古本回収を行いました。

集まった古本の買取代金は、ブックオフ寄付プログラム「キモチ。」を通じて、愛知県支部に寄付しました。【参加者：9名】

★ NHK 海外たすけあい街頭募金活動

12月8日、商業施設1店舗にて、世界各地で紛争、災害、病気などにより苦しんでいる人々を支援するため、啓発品の配布及び募金活動を行いました。【参加者：11名】



（赤十字キャンペーン活動）



（NHK 海外たすけあい街頭募金活動）

令和6年度モデル奉仕団活動(指定活動:社会福祉施設における活動)

★ 1年間の活動目標

安城市赤十字奉仕団はモデル奉仕団として、子どもたちへの支援活動を中心に活動しています。1年目は「読み聞かせ技術の習得」、2・3年目は「市内福祉施設での読み聞かせの実践」を目標とし活動しました。

また、幼児安全法講習で学んだ気道異物除去に着目し、乳児・幼児の誤飲を防ぐ「誤飲防止リング」を作製しました。

★ 活動の内容

＜子どもたちに伝えたい！私たちの読み聞かせ＞

～市内福祉施設での読み聞かせの実践～

2カ月に1回、市内福祉施設で読み聞かせと10月6日の安城市福祉まつりで読み聞かせコーナーを設け、子どもたちに読み聞かせを行いました。

また、子どもたちに興味を持ってもらうために、大型紙芝居を使用したり、手遊びを取り入れた読み聞かせを行いました。

〈乳児・幼児の子どもをもつご家族に伝えたい！未然に防ぐ事故防止〉

～誤飲防止リングの作製～

幼児安全法講習での学びを何か形として残したいと考え、奉仕団員で誤飲防止リングを作製しました。

多くのみなさまに、子どもに起こりやすい事故を知つてもらうために、4つの市内福祉施設に誤飲防止リングを設置し、目に留まるようポップを作製しました。



市内福祉施設での読み聞かせ（手遊び）



誤飲防止リングの設置

★ 1年間の活動の成果

モデル奉仕団の集大成として、定期的に市内福祉施設での読み聞かせ及び誤飲防止リングの作製・啓発をしました。この活動を通して、奉仕団全員が団結し安城市赤十字奉仕団独自の活動を地域のみなさまに知っていただくきっかけになりました。

奉仕団のPRスペース

★安城市赤十字奉仕団の素敵ポイント🔍★

安城市赤十字奉仕団は、独自に研修会を実施しました。研修会では、役員が奉仕団員に誤飲防止リングの作製をレクチャーしました。今後も、誤飲防止リングの作製に励んでいきます。



あま市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：三輪 啓子（就任1年目）

団員数：79人（男：1人、女：78人）

結成年月日：平成28年4月1日

母体：単独赤十字奉仕団

救急法指導員：7人

健康生活支援講習指導員：7人

幼児安全法指導員：5人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：18人

団紹介

あま市赤十字奉仕団は市内三分団で構成されていますが、分団の枠を超えて協力し、今年度は様々な市内行事にも参加しました。初めて参加する行事もありますが、持ち前のチームワークの良さを活かして、老若男女一人ひとりに寄り添いながら活動しています。

奉仕団の主な活動

★ 地区防災訓練

・市内4か所など

各地区のニーズに合わせた講習をしました。



フードパントリー

・12/13 フードパントリー仕分けボランティア（あま市社会福祉協議会より依頼）

児童扶養手当受給世帯等へ無償提供するための、フードロス食品仕分け作業に協力しました。

★ 炊き出し訓練

・（七宝分団）10/31（美和分団）10/16（甚目寺分団）11/6など各分団でハソリやハイゼックスを使用し、ドライカレーやだし巻きを作りました。また依頼を受け、防災訓練等地区の行事でも地域の方々と訓練しました。



甚目寺分団炊き出し



七宝分団炊き出し

★ 勉強会

・1/29 美和分団練習会など

参加行事の前後で勉強会を開き、「誰もが分かりやすい講習」を中心かけ練習しています。



美和分団練習会

令和6年度モデル奉仕団活動（指定活動：幼児安全法の普及）

★ 1年間の活動目標

- ・昨年度から実施している児童館での講習は、事故の予防や手当など生活で起こりやすい場面を想定して行う。
- ・講習の場を開拓し、より多くの受講者に積極的に参加してもらう。

★ 活動の内容

・児童館での講習

市内6か所の児童館で、お母さん方の「今知りたいこと」をテーマに講習しました。

・地区防災訓練、あまのわ（市民活動祭）など

乳幼児の一時救命処置について講習し、大人との違いを説明しながら、受講者にAEDの体験をしてもらいました。



講習「応急手当」の様子

★ 1年間の活動の成果

あま市内の児童館では、昨年度に引き続き、0～3歳児のお母さん向けに応急手当や災害時の対応について講習を実施しました。また今年度は、モデル奉仕団の集大成として、地区防災訓練でも幼児安全法の普及に注力し、熱中症やひきつけ、けいれんなど身近な題材を中心に取り上げ、お母さん方の疑問にも丁寧に向き合いました。成果が実を結び、来年度以降も講習依頼をいただいたので、今後もモデル奉仕団事業で培った知識・経験を活かして幼児安全法の普及に尽力します。

奉仕団のPRスペース

++++++

今年度から奉仕団の指揮を執る三輪委員長は現役の看護師で、奉仕団員をはじめ、老若男女どんな受講者からの質問に的確に応える頼もしい存在です。そんなパワフルな委員長のもと、あま市赤十字奉仕団は、新たに多くの地区防災訓練に協力しました。いざというときに「あわてず、迷わず」人命救助をし、避難所生活を少しでも快適に送るために、受講者の関心に寄り添いながら講習を実施したところ、「来年もぜひおねがいします」と嬉しい声をたくさんもらうことができました。

さらに小学校でも、児童向けに「いえまでごろく」や「風呂敷でリュック」、保護者向けに心肺蘇生の講習を行い、幅広い年齢の受講者と交流する中でニーズを知ることができ、新たに奉仕団活動の場を広げることにつながりました。



地域の方々とも一緒に炊き出し訓練を行っています

++++++

地域赤十字奉仕団

尾張地区

一宮市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：田邊 春枝（就任2年目）

団員数：250人（男：0人、女：250人）

結成年月日：昭和23年

母体：単独赤十字奉仕団

救急法指導員：2人

健康生活支援講習指導員：4人

幼児安全法指導員：1人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：5人

団紹介

一宮市赤十字奉仕団は、市内8つの分団から構成されています。普段は、各分団毎に地域に根差した活動を実施しています。また、自治体や町内会主催の防災活動に意欲的に参加し、赤十字講習指導資格取得者による講習会を実施しています。一宮市は、令和3年4月からに中核市移行しました。一宮市民38万人の防災意識の向上に向け日々取り組んでいます。

奉仕団の主な活動

★ 健康生活支援講習会

一宮市危機管理課が主催する「一宮市自主防災リーダー研修会」2日目の「災害時の生活支援」に講師として活動しました。地域の防災担当者、防災に興味関心のある方約30名が参加し、基礎的な知識を体系的に学んでいただき、地域の防災力強化に取り組みました。

★ 一日研修

市内8分団の分団長他約20名が参加し、日本赤十字社血液センターを見学しました。清潔な施設で、献血された血液が厳重に管理されている様子を見学し、丁寧な説明を伺うことで、献血への理解が深まりました。献血は、多くの命を救う尊いボランティアだと改めて実感し、今後は、奉仕団員として積極的に協力したいと思いました。



（一宮市自主防災リーダー研修会）



（一日研修：日本赤十字社血液センター）

活動ピックアップ！（いちのみやボランティアフェスティバル）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和6年10月20日（日）

参加人数：8名

★ 活動のきっかけ

毎年10月に、市内のボランティア団体が一堂に会し、市民へ福祉の理解を促すイベント（一宮市社会福祉協議会主催）が実施されます。来場された方々に、奉仕団の活動を知りたい機会になればと思い出展しました。



（いちのみやボランティア
フェスティバル）

★ 活動の内容

来場者に、「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん」の体験や、災害時に役立つ「ふろしきりュック」の作成をしていただきました。また、体験された方に対し、啓発物品を配布するなど、奉仕団の活動について周知しました。

★ 活動の成果・効果

イベントに来場した親子や子供たちに、ゲーム感覚で災害発生時に起こる危険について、どのように身を守るかなどを考えてもらいました。また、風呂敷でリュックを作り、手ぶらで避難する体験などを通じて、災害時の危険について改めて考えていただきました。

奉仕団のPRスペース

++++++

一宮市赤十字奉仕団は、年々団員数が減少し、分団の解散も続いている。高齢化も進み、次の世代への継承が難しくなっています。地域に根差した防災活動を進めるには、奉仕団の力が必要です。指導員による講習会の実施や、一日研修での分団同士の交流など、活動の機会を増やし、市民の皆さんに奉仕団の精神や活動に関心を寄せていただけるよう尽力していきたいと思います。そして、若い世代の方々や、男性にも入団していただけるよう、団員募集にも力を入れていきたいです。



（福祉施設歳末訪問）

++++++

春日井市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：伊藤 安子（就任1年目）

団員数：214人（男：3人、女：211人）

結成年月日：昭和26年4月1日

母体：単独赤十字奉仕団

健康生活支援講習指導員：2人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：8人

団紹介

私たち春日井市赤十字奉仕団は、地域の身近なボランティアとして災害時に備え、炊出し等の訓練や講習を受けています。日々、災害対応力の向上に努め、「博愛」の精神で募金活動や、献血の啓発活動も頑張っています。

奉仕団の主な活動

★ 「NHK 海外たすけあい」街頭募金

毎年市内4か所の商業施設において、街頭募金を実施しています。のぼり旗やポスターを手に持ち、行き交う人々に募金のお願いや、積極的に啓発資材の配布を行いました。

★ 総合防災訓練での炊出し

町内会・自治会の皆様と合同で、ハイゼックス炊飯袋を使用した炊出し訓練を行いました。訓練参加者に対し丁寧に説明を行い、多くの方々に関心を持っていただきました。

★ 春日井まつりでの的当てゲーム

防災グッズが当たる的当てゲームを実施しました。多くの方に参加していただき、ゲームを楽しむと同時に防災意識の向上を促しました。



奉仕団ブースの外観



的当てゲームの参加者

活動ピックアップ！（活動名：地区防災講習会）

★ 活動の時期・参加人数

令和6年10月 1日（火）23名
令和6年10月 9日（水）23名
令和6年10月10日（木）16名
令和6年10月23日（水）20名



防災料理講習

★ 活動のきっかけ

毎年4地区に分かれ、防災に関する講習を実施しています。能登半島地震をきっかけに、今まで以上に防災の備えを強化することを目的とした内容にしました。



★ 活動の内容

午前は水や食料が不足した被災後の状況を想定し、ハイゼックス炊飯袋を使った防災料理講習を実施しました。午後は身近なものを使って避難所生活に備えるという目的で、新聞紙でスリッパを、段ボールで簡易トイレの作り方を学びました。



段ボールトイレ作成中

奉仕団のPRスペース

++++++

年に1度大型バスを貸し切り、県内外で防災について学ぶための研修旅行を行っています。今年度は新築移転した市内の新消防署等を見学し、防災について多くを学ぶことができました。



++++++

犬山市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：桑原 紀子（就任2年目）

団員数：36人（男：2人、女：34人）

結成年月日：平成8年8月8日

母体：単独赤十字奉仕団

救急法指導員：2人

健康生活支援講習指導員：2人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：5人

団紹介

犬山市赤十字奉仕団は結成以来、防災講習会の開催、地域でのボランティア活動の実施、災害時の募金活動、各種イベントへの参加など、地域に根差した活動を行っています。

奉仕団の主な活動

★ 総合防災訓練

令和6年11月10日（日） 奉仕団員15名参加

犬山市総合防災訓練にブース出展し、カレーの炊き出しを行いました。アルファ米を使い400食分を用意し、訓練の参加者に提供しました。有事の際を想定し手際よく行いました。

★ 募金活動

令和6年12月10日（火） 奉仕団員12名 県立犬山高等学校JRC部6名参加

当団では、毎年数回募金活動を行なっていますが、今回初めて、高校生と一緒に募金を呼びかけました。

★ 健康生活支援講習・救急法講習

地域のサロンや婦人会、地区コミュニティから依頼を受け、指導員が講習会を数回実施しました。健康生活支援講習として、ホットタオルの作り方や身体リラクゼーションの実技指導などを行ったり、救急法講習としてAEDを使った心肺蘇生のデモンストレーションなどを行ったりしました。



（総合防災訓練）



（募金活動）

活動ピックアップ！（活動名： 防災講習会 ）

★ 活動の時期・参加人数

- ① 日時：令和6年 6月18日（火）参加人数：22名
- ② 日時：令和6年 10月 2日（水）参加人数：18名
- ③ 日時：令和7年 2月26日（水）参加人数：20名

★ 活動の内容

当団では、防災講習会として、毎回炊き出し訓練と指導員による救急法や健康生活支援講習を行なっています。

炊き出し訓練では、今年度はアルファ米を使いカレーライスやハヤシライスなどを作りました。

救急法講習では、けがをした時の手当てやAEDが到着するまでの初期対応、健康生活支援講習では避難所等でできるハンドマッサージの実技指導などを行いました。



（炊き出し訓練）

★ 活動の成果・効果

有事の際にいつでもすぐ活動できるよう炊き出し訓練をし、準備しています。市の総合防災訓練でも多くの方に提供することができました。

また、三角巾の使い方や、ハンドマッサージについて学び、目の前で起きた緊急時や、災害事の避難所で自分に何ができるかを考えるきっかけになり、とても有意義でした。



（救急法講習）

奉仕団のPRスペース

++++++++++

今年度より若い世代の団員が増え、刺激を受けながら活動しています。また、救急法と健康生活支援講習指導員が2名ずつとなり、今後地域のコミュニティやサロンなどで活発に講習活動を行いたいと考えています。

++++++++++

江南市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：矢土 あつ子（就任1年目）

団員数：66人（男：0人、女：66人）

結成年月日：平成10年3月26日

母体：単独赤十字奉仕団

救急法指導員：0人

健康生活支援講習指導員：2人

幼児安全法指導員：2人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：9人

団紹介

江南市赤十字奉仕団は、江南市総合防災訓練を皮切りに、地域の人達との交流を深め活動しています。献血会場での手伝いや募金活動など、団員が積極的に参加しています。人生100年時代に向けて、地域包括支援センターの方にフレイル予防等のお話を聞き、勉強しています。

奉仕団の主な活動

★ 活動名 AED 救急法講習会

6月14日・17日に消防署で救急法を学びました。二日間で団員の半数以上の40名が参加し、関心の強さを感じました。人形を使い、1. 2. 3. 4と力強く心臓マッサージを練習しました。AEDの使い方も学びましたが、毎年講習を受けているのにスムーズにいかないことが多いです。

★ 活動名 視察研修会

日頃、団員全体での顔合わせの機会が少ないため、団員同士の親睦を図るいい機会です。令和6年度は、愛知県赤十字血液センターを訪問し、職員の説明のもと、館内を見学させていただきました。献血の大切さを学び、子供達に伝えていくのも奉仕団の役目だと思いました。

★ 活動名 産業フェスタでのバザーや AED 体験会

産業フェスタでは、JAや商工会議所等、多くの方々が会場に集まり、収穫した野菜や花などの品評会が行われます。私達奉仕団も、早朝からバザーの準備をし、団員が一丸となります。大勢の方が来場されるので、バザーや募金活動、AED体験を行い、奉仕団をPRしています。



視察研修会



産業フェスタ

活動ピックアップ！（活動名：小中学校における児童生徒への保健室支援）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和6年5月21日をはじめ年間計26回、午前8時30分～午後3時

参加人数：延べ人数 52名（2人1組）

★ 活動のきっかけ

江南市教育委員会の要請により、小中学校における児童生徒への保健室支援をしています。

★ 活動の内容

修学旅行や野外学習に保健室の先生が同行されるので、保健室が無人になる場合があります。

そのため、奉仕団員ができる範囲でお手伝いをしています。



児童生徒への保健室支援

★ 活動の成果・効果

保健室の先生が不在でも、私達奉仕団員がいるだけで安心するのか、怪我などがなくても保健室に顔を出す子がいます。絆創膏を貼ってあげるだけで笑顔になり退室していきます。心の安らぎを与えてあげられるように心掛けています。怪我や体調不良などの症状を見て、先生に連絡する役割も担っています。

奉仕団のPRスペース

++++++

高齢化で年々団員数が減少しているため、若い世代に奉仕団をPRし、参加を促すことが急務となっています。団員募集のチラシを作成し、産業フェスタ等で配布することによって団員の確保に努めています。

++++++

小牧市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：酒井 美代子（就任7年目）

団員数：171人（男：0人、女：171人）

結成年月日：昭和32年10月19日

母体：小牧市女性の会

救急法指導員：2人

健康生活支援講習指導員：3人

幼児安全法指導員：2人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：8人

団紹介

小牧市女性の会を母体とし、役職を兼ねて活動しています。団員研修会を随時開催しレベルアップを図っています。赤十字奉仕団信条をふまえ、青少年健全育成活動と共に幼児から高齢者までの出前講座の奉仕活動を実施しています。

奉仕団の主な活動

★ 防災ボードゲーム「きけんはっけん」

令和6年7月20日 17人

ぼうさいまちがいさがし・きけんはっけんの出前講座を開催しました。広い会場でしたが受講者は少人数の開催でした。少人数ゆえにスタッフも目が届き有意義な講座になりました。

★ 炊き出し訓練

令和6年7月23日 28人

コロナ禍で数年、中止していたハイゼックス炊き出し訓練を実施しました。より手早く美味しく出来上がるための研修会で、ご飯と共に副菜やおやつになるような品も作ってみました。

★ NHK 海外たすけあい募金

令和6年12月10日 15人

商業施設の出入口をお借りして毎年行う募金活動です。団員の呼びかけに来店のお客様は中々振り向いていただけませんが、たまに「ご苦労様ね！」と声掛けして募金して下さる方は神様のようです。



防災ボードゲーム：きけんはっけん



団員：炊き出し訓練

活動ピックアップ！

（活動名：杉原千畝記念館研修会）

★ 活動の時期・参加人数

令和6年12月6日

参加人数：35人

★ 活動のきっかけ

赤十字思想を学ぶ中、キャッチフレーズの「人間を救うのは人間だ」に感銘を受け、戦争中苦難の中、ユダヤ人を命のビザで何千人も救った杉原千畝を深く知るため計画しました。

★ 活動の内容

4か月前から市の行政バス使用の依頼をしました。
杉原千畝外交官の予備知識等予習をしました。
岐阜県八百津町の記念館の見学
館長による千畝の活動の理念や決断力について流暢な語り口で説明を受け、戦争中の過酷な状況の中人道を極めた人物像を知りました。
説明の後、数多くの展示物を閲覧しました。



杉原千畝記念館 玄関前

★ 活動の成果・効果

ある程度の予備知識を持って見学に行きましたが、改めて自分を犠牲にしても優しく、決断力のある杉原千畝を深く知ることができました。

時代は違っても同じ日本人であることに誇りを感じました。
奉仕団員である私たちは果たしてどれだけ、この人の精神に近づけるのか疑問ですが、この研修会で感じた優しさをこれから活動に生かしていくべきかなぁと思いました。

改めて奉仕団信条を学びなおす機会を得た気がしています。

★ 子どもに託す夢

++++++

母体の小牧市女性の会活動とうまく調整しながら、年間行事計画を立て、活動を開催しています。

特に子ども向け活動に力を入れて行けたらと思います。今後も引き続き、こども未来館で子どもに人気のビーズバッジ作り講座等を開催すると同時に、日本赤十字社の役割や、私たち奉仕団の仕事の必要性を伝える活動をしていきたい。やがて成長して赤十字活動に興味を持ち赤十字奉仕活動に参画してくれる若者がいれば嬉しいです。

++++++

稻沢市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：吉田 さゆり（就任3年目）

団員数：35人（男：0人、女：35人）

結成年月日：平成5年10月8日

母体：単独赤十字奉仕団

健康生活支援講習指導員：0人

幼児安全法指導員：0人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：8人

団紹介

「明るく」「楽しく」「元気よく」をモットーに、先輩団員のお知恵をいただきつつ、今の時代に合わせて、一致団結し、活動しております。

奉仕団の主な活動

★ 炊き出し訓練

団のメイン活動として毎年実施をしています。ハソリ釜を用いた豚汁等を行っています。

10月26日（土）福祉まつり 炊き出し

2月16日（日）稲沢市総合防災訓練 炊き出し

★ 講習会「防災について」

団員の知識を深めることを目的として講習会を実施しました。

団員の高齢化に伴い、活動が縮小しつつありますが、その中でもできる活動を探して行っています。

★ 雜巾づくり

前年同様、団員の気力向上・維持の一環として、年に6回、地区ごとに感染症対策をしながら実施しました。

完成した雑巾は、10月1日に市内の福祉施設2か所にお届けしました。



防災訓練での炊き出し



講習会

私たちの強みとなる活動 ～令和7年度に向けて～

★ これまでの活動の柱

活動名：炊き出し

防災訓練、福祉まつり、奉仕団内研修等で実施。
時季に合わせたメニューを提供しています。

活動名：雑巾づくり

市民の方々に喜んでもらえるように、一針一針、丁寧に作成しています。

★ 現在の課題

団員の高齢化に加え、退団者が増えており、団員の維持、増員が急務です。

★ 令和7年度の活動に向けて

一般市民の方々に喜んでもらえる奉仕をする団であります。

「福祉まつり」「防災訓練」では、日頃の活動の成果を発揮していきたいです。



福祉まつりでの炊き出し



総会の様子

★ 令和7年度の活動目標

地域のために、私達奉仕団に出来ることとは、「傾聴」の立場でお役に立つことではないか、と思います。

そのためにも、団員ひとりひとりが対応できるよう講習を取り入れていきたいです。

秦仕団のPB フペーフ

「幾つになっても、人の為に活動したい！」
そんな思いで日々活動しています。
災害発生時には、被災者に寄り添い、傾聴ボランティアとして活躍したいと思っています。



視察研修にて

尾張旭赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：松原 しづ（就任1年目）

団員数：93人（男：0人、女：93人）

結成年月日：昭和32年10月19日

母体：尾張旭市地域婦人団体連絡協議会

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：5人

団紹介

尾張旭市地域婦人団体連絡協議会を母体として、災害・減災に関する講習会の企画実施や献血運動、募金活動の推進、社会福祉施設への奉仕活動等、地域に根ざした活動を展開しています。

奉仕団の主な活動

★ 奉仕団員研修（参加者17名）

6月6日、名古屋大学減災館にて研修を行いました。減災館は、災害対応施設として災害に関する研究者が集まり、開発や実験を行う施設です。研修では、自家発電や太陽光発電などの設備の見学や、ハザードマップを用いた防災対策についての学習を行いました。災害への不安を軽減し、正しい知識を身につけることの大切さを学びました。

★ 総合防災訓練（参加者22名）

10月27日、市内の小学校にて総合防災訓練を実施しました。市からの要請で豚汁を作ることになり、前日に材料の下ごしらえを行い、当日は早朝から仕込みました。中学生ボランティアと一緒に約1,000食分の豚汁を来場者の皆さんに試食していただきました。

★ 里親講演会（参加者36名）

2月12日、日本赤十字社愛知県支部からの依頼を受け、里親講演会に参加しました。中日青葉学園の現状や里親の制度について学びました。



（名古屋大学減災館での研修の様子）



（里親講演会の様子）

活動ピックアップ！（活動名：応急処置・AEDの使い方を学ぶ）

★ 活動の時期・参加人数

日 時：令和6年8月3日（日） 午前9時から午後3時まで
参加人数：15名

★ 活動のきっかけ

渋川福祉センターで開催された「福祉マインドフェア尾張旭2024」において、災害時や突然の事故等に備え、「救命の大切さ」を市民の皆さんに知っていただくため、「心肺蘇生法」や「AEDの使い方」の講習会を実施しました。

★ 活動の内容

福祉マインドフェアでは、市内で活動する様々なボランティア団体が一堂に会し、それぞれの活動を発表・展示しました。

当方は、尾張旭市消防署から講師をお招きし、「心肺蘇生法」や「AEDの使い方」について、実技を交えながら分かりやすく教えていただきました。参加者は真剣な面持ちで講習に臨み、救命技術の重要性を再認識しました。



(救命講習会の様子)

★ 活動の成果・効果

講習会では、心肺蘇生法の手順や胸骨圧迫の重要性、AEDの使い方などを学びました。参加者からは、「AEDの設置場所を知っておくことの重要性を感じた」「いざという時に行動できるよう、日頃から意識を高めていきたい」といった声が聞かれました。今回の講習を通して、私たち自身も「救命の大切さ」に対する意識がより一層高まりました。

奉仕団のPRスペース

私たち赤十字奉仕団は、結成から67年を迎えました。長きにわたり活動を支えてくださった先輩方に心より感謝をしつつ、「明るく！」「元気！」をモットーに、地域の方々との繋がりを大切にし、様々な活動に取り組んでいます。次世代へ奉仕団の活動の精神と素晴らしさを伝えていくために、地域に寄り添い、尊重し合う社会づくりに貢献できるよう、これからも精一杯活動をしていきたいと考えています。

岩倉市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：寺澤 陽子（就任4年目）

団員数：50人（男：0人、女：50人）

結成年月日：昭和28年2月9日

母体：岩倉市婦人会

救急法指導員：0人

健康生活支援講習指導員：2人

幼児安全法指導員：2人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：8人

団紹介

活動は長く継続され、先人たちの意思をついで今日に至っている。昔から岩倉市婦人会が母体となっており、その傘下に赤十字奉仕団があり、50人程が中心となって活動している。

奉仕団の主な活動

★ 広めよう赤十字！5月の一斉キャンペーン

5月10日、岩倉駅前にて団員20名で啓発品を配布しPR活動を行いました。

★ 献血受付（年5回）

市内公共施設で行う献血の受付等を1回につき2人が協力して合計5回行いました。

★ 避難生活支援講習会

児童館母親クラブにて避難生活中に活用できるリラクゼーション方法を実践しました。ハンドマッサージ、ホットタオルや新聞紙スリッパなどの講習を実施しました。

★ 視察研修

令和6年12月13日、岐阜県広域防災センターを見学しました。濃煙迷路では暗闇の中煙が充満する室内を歩く体験を行い、避難経路の確保を日頃から意識する大切さを再確認しました。地震体験では今後起きると予測されている東南海地震や震度7を体験しました。



新聞スリッパの実演



視察研修での地震体験（震度7体験中）

活動ピックアップ！（活動名：救急救命講習会）

★ 活動の時期・参加人数

日時：7月30日（火）

参加人数：30名

★ 活動のきっかけ

市内のボランティア連絡協議会が主催する救急救命講習会に講師として参加し、AED 講習を行いました。

★ 活動の内容

日本赤十字社愛知県支部から指導員を派遣していただきました。指導員の方が AED 使用方法などを実演をしながら説明していただき、参加者が実践するサポートを奉仕団員が行いました。



指導員からの説明



奉仕団員がサポートしながら実践

★ 活動の成果・効果

参加者の中には救命講習を受けたことのある方もいましたが、実際に AED の操作や胸骨圧迫を交代で行い、その都度指導員の方から正しい実践方法やポイントなどを教わりました。参加者の中には親族の方が過去に AED を使って救命措置を受けた方がおり、いつか自分の身近で起こることを想定して訓練を行いました。

奉仕団の PR スペース

++++++

長年活動に携わってるメンバーが多く、楽しく活動しています。母体である婦人会が今年度をもって解散することになり、今後の奉仕団活動をどのようにしていくかが課題となっています。今後は他のボランティア団体と連携を取りながら若い世代の方々や、男性にも入団していただけるよう団員募集にも力を入れていきたいと思っています。

++++++

豊明市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：伊藤 啓子（就任 1 年目）

団員数：20 人（女 20 人）

結成年月日：昭和 57 年 4 月 1 日

母体：単独奉仕団

健康生活支援講習指導員：1 人

幼児安全法指導員：1 人

団紹介

当市の赤十字奉仕団は、旧婦人会 OB が母体となり昭和 57 年 4 月 1 日に結成されました。豊明市を北部・西部・南部・中部と 4 地区に分け、それぞれの地区から 5 人の役員が選出され、全地区がバランスよく活動できるように配慮しています。毎年社資募集への協力依頼、献血事業の支援、県内外研修等を通じて見聞を広めるとともに役員同士の交流を深め団結力を高めています。

奉仕団の主な活動

★ 広めよう！赤十字一斉キャンペーン

5月24日(金)に MEGA ドン・キホーテUNY 豊明店と前後駅前広場において、啓発用のぼりとポケットティッシュを活用し、市民の皆様に対し赤十字の街頭啓発活動を行いました。



(献血の呼びかけ)

★ 献血事業の支援

7月・12月・3月(豊明市役所)と11月(豊明秋まつり)に各会場にて献血が行われました。団員は会場内で献血の協力の呼びかけや案内を行っています。団員の働きかけの末、毎回多くの市民や市役所職員の献血への協力をいただいています。



(幼児安全法講習会)

★ 幼児安全法講習会

「リズムで育脳グループ」の協力の元、教室に通う親子(6組)、団員(10名)で、人形を使った「一時救命救急と AED の使い方」と「子供の特徴と事故防止について」学ぶ講習を行いました。

活動ピックアップ！（活動名：焼き出し訓練と地域行事への参加）

★ 活動のきっかけ

地域の方からの依頼がきっかけとなり、10月18日(土)に町内の防災訓練で白玉ぜんざいの炊き出しをすることとなりました。

★ 活動の内容

炊き出しの経験がある団員が少なく、支部の協力の元、事前に練習の場を設け、ハソリ・ガスバーナーの使い方等を教わりました。当日は白玉とぜんざいの汁を別々に温める工夫をし、提供しました。

★ 活動の成果・効果



(炊き出し風景)

「美味しいものを作つて同じものを食べる」ということは、炊き出しを通して、団員の団結力が強まる効果があると実感し、協力し合う心が生まれたと感じました。炊き出しに不慣れな団員も、練習で教わったことを思い出し、団員同士で協力し合い無事にぜんざいを提供することが出来ました。市民の方の「美味しいです」の言葉は団員にとって何よりも喜びとなりました。

奉仕団のPRスペース



(県内研修 豊田看護大学視察)

- ・登壇の組織は75歳で定年・役員任期2年の制度で円滑に活動しています。
 - ・委員長は、今年度「健康生活支援講習指導員」の資格を取得するなど積極的に日赤の活動に取り組んでおります。委員長に続き、「幼児安全法指導員」「健康生活支援講習指導員」「救急法指導員」の資格保有者が増えてよう努めています。

貴」の貴格保育管が増えるよう努力をし、活動していくことを忘れない。

日進市地区赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：井上 勝久（就任9年目）

団員数：36人（男：2人、女：34人）

結成年月日：平成7年7月21日

母体：単独赤十字奉仕団

救急法指導員：2人

健康生活支援講習指導員：2人

幼児安全法指導員：1人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：4人

団紹介

日進市の人口は、令和7年1月末で、9万人を超えております。奉仕団では、自主防災会、各種団体を中心に各講習会を行い、また市内で行われる行事に参加しています。赤十字社の奉仕の精神を通して、講習会の回数を増やし、講習会・奉仕活動をすることで団員一同は、地域の方に微力ながら貢献活動できるよう努力してまいります。

奉仕団の主な活動

★ 活動名 地域連携奉仕活動

5月26日、恒例の日進市ごみ〇運動（ライオンズクラブ主催）が開催され、当団員は16名参加いたしました。奉仕団は市役所敷地内の草取りを担当し、約2時間実施いたしました。

★ 介護施設奉仕活動 2施設 月1回

2施設の奉仕活動は月1回で、1施設は室内清掃であり、感染防止対策で中止していましたが、今年から室内清掃を再開いたしました。年間奉仕団員は45名、他の1施設は外での作業であり、感染防止対策をしながら続けてきました。延べ40名の団員が参加いたしました。

★ 災害に備えての 検便検査と炊き出し訓練

奉仕団では、いつ発生するかもしれない災害に備えて、6年ほど前からから、衛生面を考えて検便検査を年2回（春5名・秋10名）実施しております。炊出し訓練を先に役員で行い、その後団員による炊き出し訓練を行っております。いつ災害が起きてもすぐに対応できる様に、プロパンガスを使用しないで薪を使い訓練をしました。炊き出し用材料の無いことを考えて訓練をしています。



530運動で草取りをする団員



薪を使用した炊き出し訓練

活動ピックアップ！（活動名：奉仕団活動災害に備えての研修会）

★ 活動の時期・参加人数

日 時：令和6年8月7日（水）

研修場所：大府市【DAIWA 防災学習センター】

参加人数：17名

★ 活動のきっかけ

6年度は、団内の話し合いの中で、災害時の経験が出来る防災施設で研修を行うこととなり、大府市あるDAIWA防災学習センターで研修を行いました。

★ 活動の内容 団員一人一人が体験をすること

学習センターの方から話を聞き、その後に3組に分かれて以下の体験を行いました。

- ① 車が水害に合う前と後のドアの開閉の違いの体験
- ② 水が膝までできた時体験をボウル玉大小の中を歩く体験
- ③ 地震体験では震度6弱を体験しました。

★ 活動の成果・効果

成 果（学び）

- ① についてはドア横に水位が無い時と比べて、水位がある時は、ドアの開けるのに大変な力がいること。
- ② 災害時、水位が膝まであると歩くのが困難であり、底に何があるか分からないので危険であること。
- ③ 地震体験では揺れ方について危険が大きいこと。

効 果



参加した団員

災害発生直後はパニック状態になるので日頃から室内の倒れるものには転倒防止をして置くことが大事である。災害時助け合いは ① 自助 ② 共助 ③ 公助 の順に行うとよいと思います。まずは、① 自助（家庭）家族の安全と建物の確認、② 共助（近隣）自助が安全ならば隣近所の方に声掛けをする。① と ② を確認して助けが必要ならば、③ 公助（行政）に連絡をして助け合ことが大事である。

奉仕団のPRスペース

- ・奉仕団結成以来28年が経過しました。現在団員数は36名であり、団員数は減少していますので、今後は団員加入を促したいです。現団員の中から一人でも多く資格を取得いただけるように推薦してまいりたいと思います。6年度は5年度より講習回数減少してしまいました。他の団の行事はすべて行なうことが出来ました。行事の中でも、能登半島地震災害募金をスーパーの出入り口で実施させて頂き、多く方から募金していただき、考えていた以上に集まり感謝しております。各講習会の増加と地域事業にも参加して行けるように努力をしていきます。
- ・委員長の紹介 団では男性が2名ですのでうしばらく頑張ります。私のモットーは、赤十字奉仕活動に生きがいをもっていきます。また「災害発生後」に皆に対する【指示の決断力が一番大事】であると思っています。

清須市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：笠原 布巳枝（就任2年目）

団員数：404人（男：0人、女：404人）

結成年月日：平成17年7月7日

母体：清須市女性の会

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：2人

団紹介

清須市赤十字奉仕団は、災害救護に備え、毎年継続してハイゼックスの使い方を学ぶための炊き出し訓練や応急手当の講習などの受講を積極的に行い、団員の資質の向上に努めています。また、地域福祉向上のために福祉施設で草取りボランティアなどの奉仕活動を積極的に行ってています。

奉仕団の主な活動

★ 活動名 福祉施設草取りボランティア

令和6年6月24日、市内にある福祉施設「清洲の里」の草取りボランティアを30人ほどの奉仕団員が実施しました。例年6月中旬に行っており、暑くなり始める頃なので、熱中症対策をしながら早朝に行うようにしています。梅雨時期で、雑草が成長してしまう期間のため、施設の方々からも大変助かると好評な活動です。



草取りボランティア

★ 活動名 AED講習

令和6年11月19日、清洲総合福祉センターにてAED講習を受講しました。AED講習はいざというときの備えとして、毎年実施しています。AEDの使い方を学ぶだけでなく、AEDの手配と119番の通報の指示出し、胸骨圧迫、人工呼吸、胸骨圧迫の交代の練習など、心肺蘇生の一連の流れを実践方式で学びました。

また、毎年心肺蘇生法のほかに、災害時に知っておくと役立つことについて講義をしていただいています。今年度は、風呂敷を利用したリュックの作り方や、新聞紙で作る、靴の上から履ける足力バーの作り方を学びました。



AED講習

活動ピックアップ！（活動名：市総合防災訓練）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和6年10月5日（土）

参加人数：30人

★ 活動のきっかけ

市では、南海トラフを震源とする巨大地震の発生が懸念される中、地震災害を想定した総合防災訓練を実施しています。市赤十字奉仕団では、災害時には、市から市民に対する食糧供給として、炊き出し実施の協力が要請されることが計画されているため、毎年市の総合防災訓練において、はそりを使った炊き出しの訓練をしています。



はそりを使った炊き出し

★ 活動の内容

地震災害の影響により電気・ガス・水道等のライフラインが寸断したという想定で訓練を実施しています。各種ライフラインの寸断に備えて、ガスはプロパンガスにより炊き出し用の燃料を確保し、水道は名古屋市上下水道局の給水車より飲料水の提供を受けることで、炊き出しを実施しています。

また、今年度は、炊き出し訓練のほかに防災教育教材「いえままでごろく」の啓発を行いました。事前に研修を受講し、当日見学に来た小学生に楽しみながらも防災について学んでもらうことができました。



啓発活動の様子

★ 活動の成果・効果

今年度は、炊き出し訓練のほかに「いえままでごろく」を啓発することで、自分たちが学ぶだけでなく、学んだことを「伝える」ことも大切だと感じました。

奉仕団のPRスペース

++++++

清須市赤十字奉仕団は、活動の際にはお揃いの赤いポロシャツを着て活動をしています。

今年度は、自分たちが学ぶだけでなく、学んだことを伝えることの大切さを実感した年でした。

来年度は、新しいことを学び活動の幅を広げるだけでなく、長く団員として活動している団員が、自分が浅い団員に今まで学んだことを引き継ぐことも意識しながら活動していきたいと思います。

++++++

北名古屋市師勝赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：伊藤 武子（就任3年目）

団員数：12人（男：0人、女：12人）

結成年月日：昭和32年4月1日

母体：女性の会

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：2人

団紹介

私たちは、災害時における訓練（炊き出し・講習会等）に重点を置いた活動を行っています。団員の入れ替わりがあった際も、経験者が未経験者に指導できるよう、反復した練習を行っています。

奉仕団の主な活動

★ 広めよう赤十字！5月の一斉キャンペーン

市内スーパーで赤十字の啓発活動を行います。

★ 防災講習会

午前：炊き出し訓練、午後：防災講習を実施しました。

★ 北名古屋市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

北名古屋市社会福祉協議会からの依頼を受け、災害ボランティアセンター設置・運営訓練に参加協力しました。

★ 救命講習会

救命講習会に参加しました。



（救命講習会の様子）



（北名古屋市災害ボランティアセンター設置・運営訓練の様子）

活動ピックアップ！（活動名：防災講習会）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和6年11月19日（水）

参加人数：団員12名

★ 活動のきっかけ

団員の入れ替わりがあった際も、経験者が未経験者に指導できるよう、毎年炊き出し訓練を含めた防災講習会を実施しています。

★ 活動の内容

午前：炊き出し訓練、午後：防災講習を受講しました。



★ 活動の成果・効果

炊き出し訓練未経験者がいましたが、ハイゼックスで米飯と野菜類を同時に調理できました。防災講習では、実際の地図を使用し、災害時における危険な場所などを想定しながら地域について考えました。

奉仕団のPRスペース

++++++

定期的に団員の入れ替わりがあるため、経験の浅い団員もいます。そのような中、いざ災害が発生したときに奉仕団として炊き出し等の活動をスムーズに行えるか不安があります。

若い世代が参加したくなるような取り組みを行い、団員として取り組むことができれば、団員の拡充とともに団員の高齢化も防ぐことができると考えます。

++++++

北名古屋市西春赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長：大野 久雄（就任1年目）

団員数：14人（男：1人、女：13人）

結成年月日：平成元年4月1日

母体：単独赤十字奉仕団

救急法指導員：1人

健康生活支援講習指導員：1人

幼児安全法指導員：1人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：1人

団紹介

私たちは、地域に根付いた活動に重点を置いています。常に「奉仕」の精神を忘れず、団員一丸となって活動しています。

奉仕団の主な活動

★ 保育園での幼児安全法講習協力

7月上旬から12月上旬にかけて保育園で実施されたAED講習に参加協力しました。

★ 広めよう赤十字！5月の一斉キャンペーン

西春駅前で赤十字の啓発活動を行います。

★ 防災講習会

午前：炊き出し訓練、午後：防災講習を実施しました。



（保育園での講習協力の様子）



（防災講習会の様子）

活動ピックアップ！（JRC 加盟校へ救急法短期講習実施）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和6年6月17日（月）

参加人数：5名参加

場所：白木中学校

★ 活動のきっかけ

JRC 加盟校からの依頼を受け、白木中学校の教員へ救急法短期講習を実施しました。

★ 活動の内容

白木中学校の教員を対象に、生徒が危険な状態になってしまったときの対応方法について実践的な講習を行いました。サポート役を配置し、わからないけど聞けないという状況にならないようにしました。



（救急法短期講習の様子）

★ 活動の成果・効果

教育関係の方々と連携・協力することで、有意義で実践的な訓練となりました。今回の講習を通じて、多くの方に奉仕団のPRができ、有益な活動だったと思います。

奉仕団のPRスペース

++++++

団員数が減少し、また、高齢化が進んでいます。若い世代に奉仕団をPRするために、団員募集チラシとポスターを作成しました。

今後も地域に密着した奉仕活動を行い、奉仕団についての理解を深めてもらうように努めて参ります。

++++++

豊山町赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：岡島 薫（就任7年目）

団員数：41人（男：0人、女：41人）

結成年月日：昭和54年8月3日

母体：単独赤十字奉仕団

健康生活支援講習指導員：1人

幼児安全法指導員：1人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：4人

団紹介

私たち豊山町赤十字奉仕団は災害救護活動をはじめ、豊山町や社会福祉協議会が実施する地域の福祉事業にも積極的に協力をしています。

奉仕団の主な活動

★ 幼児安全法講習会

5月16日に総会を開催、その後幼児安全法講習会を開催しました。上記の町内保育園での普及活動に備え、ストッキングやバンダナを使った応急手当を学びました。参加人数：23名

★ 町内保育園での幼児安全法講習会

6月11日・12日・14日に町内3保育園にて年長親子を対象にストッキングを使った応急手当や気道異物除去法を実施しました。参加人数：19名

★ 福祉施設でのボランティア

9月7日、28日、10月6日、12日に豊山町近隣の福祉施設でのおまつりボランティアに参加しました。入所者の方の付き添いや出店のお手伝いをしました。参加人数：15名



保育園での講習会



福祉施設でのボランティア

活動ピックアップ！（活動名：ふれあい食事会×炊き出し）

★ 活動の時期・参加人数

日時：12月10日

参加人数：19名

★ 活動のきっかけ

豊山町社会福祉協議会では1人暮らし高齢者の食事会「ふれあい食事会」を年に数回開催しており、赤十字奉仕団も食事づくりで協力をしていました。コロナ禍以降会食形式の再開はできていない状況でしたが、あたたかい食事を食べたいという声がたくさんあったこと、また、9月の町防災訓練で実施予定だった炊き出しが台風の影響で中止になってしまったことから、炊き出し訓練の機会もつくりたいと思いふれあい食事会×炊き出しえイベントを開催することになりました。

★ 活動の内容

メニューはポリ袋を使った親子丢と大鍋でつくる豚汁でした。高齢者の参加者にも炊き出し体験をしてほしいという思いもあり、ポリ袋の中にいれた卵と焼き鳥缶の肉を混ぜる作業を体験してもらいました。最後に空気を抜いて上方で結ぶのですが、高齢者の方には結ぶ作業が難しかったようで手間取っている方が多かったです。



（炊き出しと一緒に食べました）

★ 活動の成果・効果

とても天気が良く風も少ない炊き出し日和に実施することができました。17名の高齢者の方にご参加いただき、初めて参加された方からも「美味で楽しかった」という声をいただくことができました。5年ぶりに団員と参加者の方が一緒にあたたかい食事をすることができてふれあいのきっかけになりました。

奉仕団の PR スペース

++++++

豊山町赤十字奉仕団では団員減少が深刻な課題となっています。チラシを配布してもあまり効果がないので、団員が知り合いの方に声をかけてもらい入団してもらっています。今後も口コミでの勧誘に力を入れていきたいと思います。

また、活動については仕事と両立しながら無理なく活動できるよう、公式LINEを利用して早めの連絡に努めています。

++++++

扶桑町赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：西部 幸恵（就任3年目）

団員数：17人（男：1人、女：16人）

結成年月日：昭和52年4月1日

母体：単独奉仕団

救急法指導員：0人

健康生活支援講習指導員：1人

幼児安全法指導員：0人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：4人

団紹介

扶桑町赤十字奉仕団は、年間を通して地元社会福祉施設（障害者施設等）への清掃等の奉仕活動、町内行事での救護活動、献血受付などを行っています。

奉仕団の主な活動

★ 活動名 献血ボランティア活動

年に8回、町内の献血会場で、受付のお手伝いを行いました。

参加人数：延べ20名

★ 活動名 障害者施設でのボランティア活動

年に6回、町内の障害者施設を慰問し、清掃活動を行いました。

参加人数：延べ20名

★ 活動名 扶桑町防災訓練

9月に町主催の防災訓練に参加し、地元住民に対しまして非常時における救護訓練を行いました。

参加人数：延べ8名

★ 活動名 広げよう赤十字キャンペーン

5月に赤十字思想普及のため、イオンモール扶桑店の協力のもと赤十字活動について周知を図りました。

参加人数：延べ22名



（扶桑町防災訓練）



（扶桑町防災訓練）

活動ピックアップ！（活動名：保健室ボランティア）

★ 活動の時期・参加人数

日時：5月・6月・7月

参加人数：延べ12名

★ 活動のきっかけ

修学旅行、野外学習など、どうしても養護の先生が小学校、中学校の保健室を空けなければならぬ時に学校の要請を受けたことがきっかけで保健室ボランティアが始まりました。

★ 活動の内容

けがや頭痛、腹痛などで保健室を訪れる子供たちを、赤十字奉仕団員が養護の先生の代わりとなり、初期手当などを行います。

★ 活動の成果・効果

児童や生徒が、赤十字奉仕団員に笑顔で声をかけてもらうことができ、よい信頼関係を持つことができました。

また、各小学校からも信頼を得ており、今後の活動含め期待されています。

奉仕団のPRスペース

++++++

防災訓練を始め障害者施設での救護活動、清掃支援、献血の受付などのボランティアを行うとともに、町民が集まるイベントなど機会を捉えて住民の皆さんに赤十字の精神及び奉仕団活動に関心を寄せていただけるよう努めています。

また、保健室ボランティア活動は、独自性のある活動として児童を始め各小学校の信頼関係が構築された活動であり、扶桑町赤十字奉仕団として、奉仕団員全員がその活動の重要性と責任を認識しています。

その反面、今後の課題として、各種福祉団体においても高齢化の進展、担い手不足及び自主的に参画する人材不足の懸念があり、扶桑町赤十字奉仕団においても同様に喫緊の課題です。

今後において、先進地の事例等を参考に人材育成に向けた手法等奉仕団全員で検討していきたいと考えています。

今後も、住民の方々を始め、特に将来を担う子供たちと接する中で、扶桑町のスローガンでもある「みんなの笑顔がかかるやく町」を実践していきたいと思います。

++++++

地域赤十字奉仕団

知多・海部地区

津島市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：杉浦 美和子（就任4年目）

団員数：46人（男：0人、女：46人）

結成年月日：昭和57年4月1日

母体：単独赤十字奉仕団

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：5人

団紹介

津島市赤十字奉仕団は気づき、考え、実行をモットーに明るく活発な奉仕団です。団員の団結力も非常に高く、災害に関する危機意識もしっかりと持っていて、市内各地区ともに密接なつながりを持って防災、減災に努めています。

奉仕団の主な活動

★ 赤十字講習会

活動日：令和6年9月12日 参加人数：21名

団員のスキルアップのために、研修を実施しました。

★ 中学校 AED 講習見守り支援

活動日：令和6年10月24日 参加人数：9名

令和元年度から地域の中学校と連携強化を目指し、学校の授業に参加をして生徒のみなさんの体験活動のお手伝いと赤十字の普及啓発活動を行っています。

★ NHK 海外たすけあい街頭募金・赤十字 PR 活動

活動日：令和6年12月5日 参加人数：17名

募金への呼びかけと、赤十字 PR 活動を行いました。



研修の様子



AED 講習の見守支援



街頭募金・赤十字 PR 活動

活動ピックアップ！（活動名：青少年赤十字の普及育成）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和7年2月1日

参加人数：団員 17名 来場者数：約400名

★ 活動のきっかけ

つしまおやこワクワク体験活動フェスティバルは、津島市教育委員会主催の事業で、児童・生徒とその親が共にブースをまわり、家族の絆を深めることで地域のボランティア活動の促進を図るイベントです。青少年赤十字の活動が何かできないか考えていた時に、津島市教育委員会と協力し、こういったイベントがあることを知り、例年、ブースを出店しています。

★ 活動の内容

今年度は、防災を題材とした紙芝居や、フェルト作り、風呂敷を使ったリュック作りという内容のブースを出店しました。皆さんに興味を持ってもらえる取り組みは何であるかを考えて、この内容に決まりました。



つしまおやこワクワク体験活動でのフェルト

★ 活動の成果・効果

今回、3種類のブースを出店しましたが、中でも「フェルト作り」は、とても好評でした。また、他のブースも皆さんに楽しんでいただき、赤十字の普及啓発を行うことが出来ました。

★今後に向けて

++++++

今後も奉仕団員のスキルアップを目的とした研修を実施し、実際の現場でも活躍が出来るようになれば良いと考えています。また、新たな奉仕団員の勧誘にも力をいれて、より地域に密着した必要とされる奉仕団にしていきたいと思います。

++++++

常滑市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：中井 信子（就任2年目）

団員数：56人（男：1人、女：55人）

結成年月日：平成10年7月6日

母体：単独赤十字奉仕団

救急法指導員：2人

健康生活支援講習指導員：2人

幼児安全法指導員：2人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：1人

団紹介

もしもの時に地域で役立てることができるよう、防災講習会等を開催し、個々の防災意識を高め、スキルアップを図っています。

奉仕団の主な活動

★ 炊き出し訓練

6月12日 団員を対象に炊き出し訓練を実施

団員22名

10月19日 防災フェスタ in 常滑で炊き出し訓練を実施

団員24名

11月10日 常滑市総合防災訓練で炊き出し訓練を実施

団員19名

★ 講習会

8月5日～8日 保育士を対象とした幼児安全法短期講習会を実施

団員16名

1月11日 児童館フェスで保護者を対象とした幼児安全法短期講習会を実施

団員4名

2月18日 児童センターで利用者を対象とした心配蘇生講習会を実施

団員13名

★ 県内研修

5月9日に名古屋港防災センターにて、地震体験、伊勢湾台風体験、煙道体験をし、災害の脅威を体験しました。また、発災時や避難時にどう行動したらよいか等、注意すべき点なども学ぶことができ、日頃からの準備が重要であると感じました。

団員27名



県内研修（名古屋港防災センター）



団員を対象とした炊き出し訓練

活動ピックアップ！（活動名：児童センターでの心肺蘇生講習会）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和7年2月18日（火）午前11時～正午

参加人数：団員13名、参加者19名

★ 活動のきっかけ

母親クラブの方々や職員の皆さんに心肺蘇生講習会を開催してほしいとの依頼を受けて、実施をしました。



心肺蘇生講習会

★ 活動の内容

まず、指導員が胸骨圧迫とAEDの使用方法の手本を示しました。それから、グループごとに参加者の皆さんに胸骨圧迫やAEDを用いた電気ショックの訓練を行っていただきました。また、のどに食べ物を詰まらせた時の対応として、背中をたたく背部叩打法の訓練も行いました。

★ 活動の成果・効果

参加者の皆さんには真摯な姿勢で訓練に取り組まれていました。また、質問も多く上がり、関心を持たれて訓練に参加されたことがよくわかりました。今回の講習会で、傷病者の命を守るための知識や技術を教え伝えることができ、有意義でした。

公共施設など多くの施設でAEDが設置されている現状の中、団員も改めて、一次救命処置を行えるよう、正しい知識と適切な方法を確認することができたよい機会でありました。

奉仕団のPRスペース

++++++

災害が起きた際に迅速に対応ができるよう、更なる防災や救急の知識、技術の向上を図りたいと考えています。

地域など多くの人々に防災や救急の知識を普及し、奉仕団への関心や理解を持っていただけるよう、講習活動の場を増やしていくきたいと思います。また、活動の機会が増えることで奉仕団のPRとなり、団員増加につなげていきたいと考えています。

++++++

東海市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：小島 あづさ（就任1年目）

団員数：98人（男：3人、女：95人）

結成年月日：昭和44年6月1日

母体：単独赤十字奉仕団

救急法指導員：1人

健康生活支援講習指導員：0人

幼児安全法指導員：1人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：5人

団紹介

私たち東海市赤十字奉仕団は平成8年4月から単独で活動をはじめ、年3回行っている団員対象の研修にも進んで参加し、個々に意識を高めています。研修の内容は「防災」「健康」「生活」などのテーマを中心に、外部講師や団の指導員で実施しています。令和6年度からは、コロナウィルス感染症の感染症法の位置づけが第5類になったため、色々な団体から依頼が来るようになり団員が一丸となり積極的に参加しています。

奉仕団の主な活動

★ 防災訓練

- ・令和6年9月8日 コミュニティ主催の防災訓練 7名参加
- ・令和6年10月26日 東海市市民防災訓練 7名参加

★ 救急法講習

- ・令和6年8月6日 社会福祉協議会ボランティアゼミ 7名参加
- ・令和6年11月2日、令和6年12月13日 市内私立保育園保育士 8名参加
- ・令和7年1月29日 市内県立高校1年生 7名参加

★ 幼児安全法講習

- ・市内14児童館にて母親教室15回 40名参加



（東海市市民防災訓練）



（市内私立保育園保育士）

活動ピックアップ！（活動名：奉仕団1日研修）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和6年7月2日

参加人数：30人

★ 活動のきっかけ

東海市奉仕団は全ての団員の人達へ向けて4月総会、6月一泊研修、7月一日研修、2月一日研修と年4回集まる機会をつくっています。単独で活動が始まってから欠けることのない行事です。コロナ禍においても時間を短くして行いました。

★ 活動の内容

一日研修では社会福祉協議会による能登半島地震での取り組みなどの講話を受講しました。午後からは救急法として三角巾での応急手当などの講習を受けました。



（1日研修）

★ 活動の成果・効果

三角巾の講習では「知らなかった方法もあった」と初めての使い方を知ることができ、感心した団員さんもいました。これからも色々な講習を行っていきたいと思います。

奉仕団のPRスペース

++++++

東海市奉仕団は約100名程団員がいます。皆さん積極的に参加してくださいます。保育園や学校等いろいろな団体から救急法等依頼があれば積極的に参加していきたいと思っています。今後も新規団員を募集しつつ、地域に根づいた奉仕活動を継続的に行っていきたいと思います。

++++++

大府市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：倉元 須麻子（就任4年目）

団員数：160人（男：2人、女：158人）

結成年月日：昭和32年4月1日

母体：大府市地域婦人団体連絡協議会

救急法指導員：0人

健康生活支援講習指導員：4人

幼児安全法指導員：3人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：2人

団紹介

私たち大府市赤十字奉仕団は婦人会を母体に、団員間で協力し合いながら積極的に活動しています！

奉仕団の主な活動

★ 地域における講習活動

所属する講習指導員を中心に、市や公民館、児童老人福祉センター、自治区などから要望を受け、幼児安全法講習や健康生活支援講習のほか、非常食づくり講習、防災セミナーを開催しました。

- ・幼児安全法講習：子どもの事故防止やAEDの使用についての講習を9回実施しました。
- ・健康生活支援講習：災害時に役立つホットタオルづくりなどの講習を8回実施しました。
- ・非常食づくり講習：災害に備えるためのローリングストックや、ポリ袋とお湯で作ることができる美味しい非常食づくりについての講習を6回実施しました。
また、奉仕団員募集も兼ねて、非常食づくりレシピを載せたチラシを作成して市役所等に設置しました。
- ・防災セミナー：今年度初めて実施した防災セミナーの活動内容を、次頁に取り上げました。

★ 赤十字PR活動・募金活動

市内の商業施設にて、5月の赤十字月間には赤十字活動と奉仕団活動のPRを、12月にはNHK海外たすけあいの募金活動を実施しました。また、コロナ禍以降実施を控えていた法人社資募集訪問を再開しました。



赤十字月間



NHK海外たすけあいの募金活動

活動ピックアップ！（活動名：防災セミナー）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和6年7月11日（木） 10時～12時

参加人数：東山地区民生児童委員他 13人

★ 活動のきっかけ

令和5年度に大府市赤十字奉仕団で初めて赤十字防災セミナー指導者が養成されました。第1回の講習会として、地域に密着した活動を行っている民生児童委員を対象に防災セミナーを実施しました。

★ 活動の内容

セミナーでは災害図上訓練（DIG）を実施し、地域の危険箇所や防災資源を把握して、災害発生時に自宅または地域で何が起こるか、起こる被害をどのように減らすか等を、グループに分かれて地図を囲み、意見交換を行いました。

グループワークの内容は、以下のとおりです。

- ① 地図を囲み、地域の自然環境や地理的特徴、防災資源や危険な箇所、災害時に手伝いが必要な人について意見交換をする
- ② 地震の際に自宅や地域で起こる被害について考える
- ③ グループ発表、意見交換、全体のまとめ



★ 活動の成果・効果

グループ発表

住み慣れた地域を防災の観点から改めて考えることで、新しい発見や緊急時により具体的な想定ができました。民生児童委員にとっても、防災意識を高める有意義なセミナーになりました。

またこのセミナーを実施するにあたり、愛知県支部に依頼し、赤十字防災セミナー指導者以外の奉仕団員を対象とした災害図上訓練（DIG）を実施しました。大府市赤十字奉仕団全体の防災意識の向上を図る機会にもなりました。

奉仕団のPRスペース

大府市赤十字奉仕団では今年度、初めて市外研修会を行いました。日本赤十字豊田看護大学を訪問し、看護師養成の現場を見学しました。日本赤十字社の9つの事業の1つを担っている同士で交流することにより、より達観的な視野をもって奉仕団活動ができるようになりました。

また、これまでの講習活動等が功を奏し、団員の増員に繋がりました。これからも知識やスキルを伝えていけるよう、このような活動を実施していきたいと思います。



日本赤十字豊田看護大学見学

知多市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：中井 宏美（就任2年目）

団員数：35人（男：0人、女：35人）

結成年月日：昭和30年4月1日

母体：単独奉仕団

救急法指導員：0人

健康生活支援講習指導員：3人

幼児安全法指導員：2人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：5人

団紹介

知多市赤十字奉仕団は、昭和30年4月1日、3町合併と同時に婦人会と共に活動してきました。平成4年度から単独奉仕団となり、各種講習活動や炊き出し訓練など積極的に活動しています。知多市は臨海地域であり、地震等の災害があった際の被害が大きいと想定されることもあり、防災・減災に対する意識を高く持つて活動しています。

奉仕団の主な活動

★ 幼児安全法講習

活動日：2024年6月10日（月） 参加人数：団員10人、保護者他27名

活動内容：市内の幼稚園にて、保護者、先生を対象に、事故の起こりやすい場所と事故の内容、ハンカチ包帯や止血法についての講習を実施。

★ 市防災訓練での炊き出し

活動日：2024年11月10日（日） 参加人数：団員10人

活動内容：知多市総合防災訓練で炊き出しを実施。

訓練に参加している地域の方々にハイゼックスを使用した炊飯を試食していただきました。



（幼児安全法講習の様子）



（市防災訓練での炊き出しの様子）

活動ピックアップ！（活動名：炊き出し、テント設営訓練）

★ 活動の時期・参加人数

日時：2024年6月11日（火）

参加人数：団員15人、市職員8名

★ 活動のきっかけ

災害時のための訓練として年に一度、奉仕団員で炊き出し、テント設営訓練を実施しています。本訓練のほかにも市内の防災訓練等でも炊き出しを実施しています。

★ 活動の内容

災害時を想定してテントの設営をし、湯炊き法による炊飯や市販の高密度ポリエチレン袋を使用した肉じゃが、味噌汁を調理する炊き出し訓練を実施しました。

知多市福祉課、防災危機管理課との連携によるものです。完成した食事は奉仕団員だけでなく市職員にも振る舞い、大変好評でした。



（テント設営訓練の様子）

★ 活動の成果・効果

テント設営、炊き出し訓練を行うことで、実際に災害が起きた時に、団員の方が避難所運営の即戦力になることができる考えます。テントの設営方法については委員長から団員へ説明をしながら設営していくことで団員の方にも知識がつくのも本訓練の良い点であると思います。

奉仕団のPRスペース

++++++

長年活動に携わっているメンバーが多く、和気あいあいと活動しています。

現在、団員の減少と高齢化が進み、新たな入団希望者が少ないと活動内容の認知度が低いことが課題です。赤十字の枠にとらわれず、子ども会など多様な団体と連携するほか、活動の場自体を増やしたり、活動を知ってもらう周知活動をすることによって、より活気のある奉仕団にしていきたいと考えています。

++++++

愛西市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：安田 里美（就任1年目）

団員数：44人（男：6人、女：38人）

結成年月日：平成17年4月1日

母体：単独赤十字奉仕団

救急法指導員：1人

健康生活支援講習指導員：1人

幼児安全法指導員：1人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：2人

団紹介

今年度から単体となり、少人数ですが前向きに取り組んでいます。男性団員、仕事と両立て頑張っている団員、家族で入団する団員もあり、出来る時に参加して活動を行っています。

奉仕団の主な活動

★赤十字運動月間、海外歳末助け合い

◆5/2（木） オークワ、ピアゴ 11人 ◆12/1（日） オークワ、ピアゴ 11人

★学校からの依頼

6/22日（土） 立田北部小学校 6年生 「家までごろく」 4人

11/15日（金） 立田北部小学校 6年生 「ひなんじょたいけん HUG」 3人

12/8日（日） 佐屋中学校 炊き出し訓練、一次救命処置とAEDの使い方他 15人

12/17日（火） 佐屋小学校 5年生 炊き出し訓練、一次救命処置とAEDの使い方 8人

令和7年1/23、30（木） 佐屋小学校 6年生 「ひなんじょたいけん HUG」 3人

令和7年1/30（木） 佐屋西小学校 高学年 毛布でガウン、搬送、リラクゼーション他 7人

★自主防災会からの依頼

9/8（日） 大井町自主防災会 一次救命処置、AEDの使い方

11/10（日） 柚木町自主防災会 炊き出し訓練 にゅうめん

★保健センター見守り活動

佐屋、佐織保健センターにて歯科検診時の見守り活動を行っています。月2回 延48人



中学生 胸骨圧迫の様子



ひなんじょたいけん HUG



自主防災会 にゅうめん

活動ピックアップ！（活動名：赤十字フェスタあいさい）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和7年2月9日(日)午前11時～午後4時

来場者：380人

参加者：ボランティア30人、協力団体79人、他地域奉仕団12人、団員23人

★ 活動のきっかけ

近年、幼稚園保育園、小中学校での活動が多くなっています。幼い頃から災害について学ぶこと、体験することはとても大切です。少子高齢化問題、地域との繋がりの希薄さなど問題も多々ありますが、家族で災害について考え、地域との交流にも繋がるような機会、また赤十字社や赤十字奉仕団の活動を知ってもらう機会となることを願いました。

★ 活動の内容

午前中はチャリティバザーやハイゼックス試食（収益は義援金に）、折り紙、工作、新聞紙の箱、風呂敷でリュック、ハンカチでケガの手当て、AEDの使い方、毛布でガウン、搬送、段ボールベッドや災害用室内テント、トイレの組み立て体験などを準備し、多くの来場者で賑わいました。

午後はホールで地元オーケストラの演奏、オープニングでは「あこがれの赤十字」をオケと歌で、また手話披露もありました。東日本大震災の絵本の朗読やストレッチ、影絵もあり、来場者の方々に楽しんで頂きました。



★ 活動の成果・効果

チラシ配布については、教育委員会等の協力を得てスムーズに出来たこと。近隣の奉仕団の方々のご協力を得て無事に開催でき、来場者も多かったこと。学校の協力で生徒ボランティアも多数参加してくれ楽しくできましたこと。すべてにおいて皆様方のご協力で成功したことは何物にも代えがたいフェスタでした。赤十字活動に多くの協力が得られることを実感しました。

新たに「ハートラ子ども食堂」を7月より開始しました。お手伝い希望の方もあり入団に繋がっています。交流の時間は折り紙や工作をしたり、防災セミナーや災害用室内テントなどの体験を行い、子どもも大人も高齢者も災害に対しての繋がりにもなるよう楽しんで行っています。

フェスタではハイゼックスの試食体験も出来るようにし、子ども食堂のPRも出来ました。

奉仕団活動とフレイル予防の普及に邁進

++++++

愛西市は少子高齢化率が高く、高齢福祉課もフレイル予防にかなり力を入れています。

健康生活支援講習にフレイル予防の体操などたくさん掲載されており、コツコツ行った結果「転倒しにくくなった」「血流も良くなり歩きやすくなった」「病院からその調子でと言われた」等々の声があり、学校や地域からの依頼活動とフレイル予防依頼講習やその他の講習も続けていきます。

弥富市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：鈴木 みどり（就任18年目）

団員数：213人（男：0人、女：213人）

結成年月日：平成18年4月1日

母体：弥富市女性の会

救急法指導員：0人

健康生活支援講習指導員：2人

幼児安全法指導員：0人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：2人

団紹介

弥富市赤十字奉仕団は、市女性の会を母体とした団体で、会員全員が構成員となっており、各地域で自主的にハイゼックス炊飯を取り入れた防災教室の活動や、市が主催する防災行事にも積極的に参加しています。

奉仕団の主な活動

★ 活動名 広めよう赤十字5月の愛知一斉キャンペーン

5月3日午前10時から11時30分まで、市内商業施設敷地内において広く赤十字を知つていただくため広報啓発活動を実施しました。参加者数7名

★ 活動名 NHK 海外たすけあい街頭募金

12月7日午前11時から正午まで、市内商業施設敷地内において募金活動を実施しました。

参加者数7名

★ 活動名 日赤体験コーナー

11月9日～10日に海南こどもの国で開催された「やとみ秋まつり」にて、来場者にハンドケアとホットタオルを体験してもらいました。団員3名 参加者 不特定多数



会場の様子



ハンドケア実施中

★ 活動名 防災キャンプ

11月28日 市教育委員会主催による防災キャンプが行われ奉仕団として参加しました。本年度はアルファー米での昼食を担当しました。団員7名 参加者 市内4小学校6年生

活動ピックアップ！（活動名：親子でヨガ体験 親子の居場所）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和6年10月11日

参加人数：団員8名 参加者10名



【教室の様子】

未就学児とその保護者を対象に、子どもの居場所として、また保護者同士の交流の場所づくりとして、NPO 法人やとみスポーツクラブの協力も得て開催しました。

日赤では福祉活動の一つとして、子ども食堂の普及にも力を入れていますが、私たちには少しハードルが高く、その代わりになるものを考えました。

★ 活動の内容

初めての活動のため、どう対象者に周知を図るかが課題でした。まずチラシを作り児童館に置いて頂きました。ハロウィンの時期が近かったこともあり、子どもたちに楽しんでもらえるようハロウィンカチューシャと風船をプレゼントしました。

ストレッチに使うマットはスポーツクラブにお借りしました。ストレッチ終了後は団員の手作りによるスイートポテトとコーヒーで茶話会をし、子育てや地域のことなどを話しました。



【茶話会の様子】

★ 活動の成果・効果



【風船で遊ぶ子どもたち】

今回の活動は宣伝不足も重なり、予定していた人数より少なかったのですが、参加者にはとてもいい体験ができたと喜んでいただきました。帰りぎわにお友達になった子どもたちは、風船遊びに夢中でした。

次回開催時には、ここに幼児安全法を組み入れてみようかと考えています。しかし本奉仕団には幼児安全法の指導者がいないため、指導者のいる近隣市町の応援も得て、この活動をさらに広めていけたらと思います。

奉仕団の PR スペース

++++++

弥富市赤十字奉仕団は、各地域での活動と市全体での活動を楽しく行っています。奉仕団の基本的な活動でもある炊き出し訓練はもちろんですが、福祉活動にも力を入れていきたいと思います。

++++++

大治町赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：濟田 美恵子（就任1年目）

団員数：75人（男：0人、女：75人）

結成年月日：平成8年5月21日

母体：単独赤十字奉仕団

救急法指導員：4人

健康生活支援講習指導員：7人

幼児安全法指導員：9人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：9人

団紹介

私たちは、人道博愛の精神のもと、住みよい地域社会づくりに貢献し、町民と団員相互の連携を深め、「奉仕の心」の輪が広がっていくように地域に根差した活動を展開しています。

奉仕団の主な活動

★ 救急法講習会

5月13日に、小学校職員（35名）を対象に、水泳シーズンに先立って救命の連鎖や一次救命処置の講習をしました。参加した皆さん、子どもの命を守る為に真剣に取り組まれていました。



（救急法講習会）

★ はるキッズ

昨年度より、孤立化する子どもを救いたいという思いから、子どもの居場所づくりを始めました。今年度は各小学校区ごとに計4回行い、のべ40名以上の方が参加されました。



（はるキッズ）

★ ふれあい交流会

町の社会福祉協議会より依頼を受け、ひとり暮らし高齢者との交流会として年3回実施しました。今回は8月28日に身近な物を使って、簡単に作れる紙コップ小物入れを作りました。参加者の皆さんから大変喜ばれました。



（ふれあい交流会）

活動ピックアップ！（活動名：赤十字奉仕団視察研修）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和7年1月31日（金）

参加人数：17名

★ 活動のきっかけ

毎年恒例行事の一つで、6年に起きた能登半島地震や豪雨災害、南海トラフ地震などの災害を踏まえ、防災意識・防災知識の向上を目的として開催しました。

★ 活動の内容

日本赤十字豊田看護大学の施設見学や豊田市防災学習センターで、体験を通して楽しく防災知識や防災力を身につけてもらえるようにしました。



（豊田看護大学の見学）

★ 活動の成果・効果

豊田看護大学は、赤十字の心を持った看護師を育てるために創設された大学で、年間130人も看護師を輩出しています。講義の後に充実した実習室、災害備蓄倉庫（県下唯一）、5万冊を誇る図書館、赤十字のシンボルツリーでもある糸杉の木、展示室などを見学させてもらい、興味深くて勉強になったとの声が聞けました。

また、豊田市防災学習センターでは地震、暴風、消火、煙脱出等を体験させてもらいました。避難持ち出しグッズ、家具転倒防止器具、ダンボール簡易トイレ等の展示があり、災害に備えて再度生活を見直す有意義な楽しい研修会になりました。

奉仕団のPRスペース

++++++

委員長という大役を引き継ぎ、責任の重さに戸惑いながらも、団員や役員等に支えてもらいながら頑張ってきました。

活動のテーマが「明るく住みよい地域に根差した活動」なので、まずは団員のつながりを大切にし、共に笑顔で地域貢献活動ができたと 思います。

++++++

蟹江町赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：山田 久子（就任 17 年目）

団員数：93 人（男：0 人、女：93 人）

結成年月日：令和 6 年 4 月 1 日

母体：蟹江町婦人会

救急法指導員：0 人

健康生活支援講習指導員：0 人

幼児安全法指導員：0 人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：12 人

団紹介

毎年替わる団員は、スキルの積み重ねが弱くなるので、日赤ボランティアの方と共に活動しています。

奉仕団の主な活動

★ 活動名「1 日防災学習会」

災害に備えて毎年、防災講習を実施しています。

今年は、午前はハイゼックスを使い防災食（トウモロコシご飯、青梅汁）作り、午後は日本赤十字社愛知県支部から来ていただいた講師の方から、「避難所で心豊かに過ごすために」をテーマに講習を受けました。



（午前の様子）



（午後の様子）

★ 活動名「シーツ交換ボランティア」

町内の老人福祉施設カリヨンの郷で、月に 2 回、シーツ交換のボランティア活動をしています。助け合いの精神で、カリヨンの郷設立以来（平成 10 年～）、継続しています。

活動ピックアップ！（活動名：多文化共生事業）

★ 活動の時期・参加人数

日時：9月 22 日

参加人数：35 名

★ 活動のきっかけ

蟹江町は、名古屋駅まで 10 分足らずという、立地条件に恵まれているため、外国の方が多く住んでいます。

そんな方々を町全体で守る必要があると考え、国際交流として防災教室を実施しました。

★ 活動の内容

午前は防災食作りを行いました。宗教上の理由で食べられない食材がある中、ハイゼックスを使い、トウモロコシご飯、けんちん汁、青梅汁を作りました。

午後は蟹江町役場安心安全課の主幹から、「災害時に、いかに自分の身を守ることができるか？」をテーマに、英語と日本語で講演していただきました。

★ 活動の成果・効果

蟹江町に住む外国の方々に災害時に自分の命を守るすべを学んでいただきました。

奉仕団の PR スペース

++++++

団員が1年ごとに変わるために、長年続けていただけるボランティアの方にも声掛けをして、団の結びつきを強くする方向で努力していきます。

++++++



阿久比町赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：廣瀬 玲子（就任2年目）

団員数：107人（男：15人、女：92人）

結成年月日：昭和28年11月29日

母体：単独赤十字奉仕団

団紹介

赤十字奉仕団の訓練を通じて得た知識と技術を、もしもの時に地域で役立てることができるよう、「災害救護に関する活動」に重点的に取り組んできました。

地区からの選出により毎年多くの団員が入れ替えとなりますが、日々意欲的に活動しています。

奉仕団の主な活動

★ 普通救命講習会

令和6年6月13日（木）開催 20名参加

消防署員の指導のもと、心肺蘇生法やAEDの使い方等を学びました。

★ 防災セミナー「災害エスノグラフィー」

令和6年10月17日（木）開催 19名参加

愛知県支部の職員の方を講師に、大規模災害の被災状況をイメージし、災害について学ぶ「災害エスノグラフィー」を開催しました。

★ 観察研修

令和7年3月6日（木）開催 13名参加

豊田市防災学習センターを観察し、消化体験や地震体験などに参加しました。発災時の状況を体感することで、防災に対する関心がより一層深まりました。



普通救命講習会



災害エスノグラフィー

活動ピックアップ！（活動名：炊き出し訓練）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和7年2月13日（木）

参加人数：31名

★ 活動のきっかけ

本町の団員は各地区からの選出により多くの団員が1年で交代してしまいますが、奉仕団の活動を通して、多くの団員の方が地区で活躍されています。今年度は夏に愛知県との合同総合防災訓練の中で実施予定でしたが、宮崎県の地震で中止となったため、時期を改めて冬に実施いたしました。

★ 活動の内容

例年では、ハソリを用いて実施しておいましたが、今年度は季節が冬ということもあり、調理室で主にハイゼックスの活用方法について学びました。また、今年度は趣向を変えたレシピで実施しました。

【レシピ：ポトフ、鶏肉の唐揚げ風、ご飯】

ハイゼックスを用いて調理するとどのような結果となるか各自考えながら作ることができたと思います。



鶏肉の唐揚げ風 & ご飯 ポトフ

★ 活動の成果・効果

本町では各地区から選出された団員の方が交代してしまいますが、多くの方に奉仕団活動に参加いただけているという良い点もあります。有事の際には各地域で活躍していただくことになりますが、地域へ戻った後も奉仕団活動で学んだ知識と技術を活かすことができるような訓練内容を考え、今後も他団体や地域の皆さんと協力しながら、地域力の向上に努めています。



視察研修 「消火体験」

奉仕団のPRスペース

++++++

赤十字奉仕団の活動に多くの方」が興味を持ち、参加していただけるよう、今後も訓練等の活動を継続的に行い、災害発生時に迅速に支援活動が行えるようにしたいと思います。

++++++

東浦町赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：新美 薫（就任2年目）

団員数：183人（男：54人、女：129人）

結成年月日：平成6年4月14日

母体：単独奉仕団

救急法指導員：3人

健康生活支援講習指導員：1人

幼児安全法指導員：2人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：1人

団紹介

近年の自然災害や報道等により、防災意識が高まり、地域として、個人として、「できること」を考えて積極的な活動をしています。

実際の災害時を想定するとともに、楽しく学ぶことができる防災講習会や訓練を開催し、個々としてのスキルアップも図っています。

奉仕団の主な活動

★ 防災講習会

5/25：指導員によるハソリとアイラップを使った炊き出し訓練、ホットタオル、三角巾を使った応急手当の講習を行いました。実際にハソリを組み立てたり、三角巾を使用したり、体験を通して知識を深めました。（参加人数：33人）

★ 東浦町総合防災訓練

11/17：指導員による事前の訓練で毛布ガウンの作成、非常食についての知識をより深め、当日は指導員を中心に、参加者の方々へ毛布ガウンの作成指導及び非常食の試食・紹介を行いました。（参加人数：33名）

★ 東浦町消防出初式

1/12：東浦町赤十字奉仕団として、消防出初式に参加しました。ハソリとアイラップを使用して炊き出し訓練を行いました。



防災講習会の様子（ハソリの組み立て）



東浦町総合防災訓練の様子（毛布ガウン）

活動ピックアップ！（活動名：東浦町総合防災訓練）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和6年11月17日

参加人数：奉仕団員：33人 訓練全体の参加者：285人

★ 活動のきっかけ

町内地区の防災訓練で毛布ガウンを行うことで、奉仕団員及び地域の方の知識向上のため、町総合防災訓練でも毛布ガウンの訓練を取り入れました。避難所で備蓄品として配備されていることの多い毛布について、寒い時期の野外での炊き出しや配給時でも、両手がふさがることなく着用でき、有事の際に活用できることを知っていただきたいと思いました。また、非常食にはさまざまな種類があり、保存食としてだけではなく、「ふだん食べ」ができるることをお伝えすることにより、非常食のローリングストックを促すことが重要であると思ったため実施しました。

★ 活動の内容

指導員を中心に、地区の訓練参加者の方へ、毛布ガウンの作成方法を説明し、実際に着用・作成していただきました。また、お湯や水だけで食べられるアルファ化米の試食・紹介も行いました。非常食は様々な味や種類があることや、ローリングストックを行うことにより、保存食としてだけでなく「ふだん食べ」ができることも紹介しました。



非常食の試食・紹介の様子

★ 活動の成果・効果

災害関連死という言葉も聞かれ、災害の発生後の生活についても注目がされる中、町総合防災訓練の活動により訓練参加者が緊急時に役立つ知識を持っておくことの重要性を感じるきっかけになったと思います。地域としても、参加者が熱心に学ぶことにより、地域ぐるみで防災意識が一層高まりました。

奉仕団のPRスペース

++++++

東浦町赤十字奉仕団は、赤十字奉仕団の活動に多くの方に興味を持ち、参加していただいてるように様々な工夫をして訓練や講習を行っています。また、参加していただいた方が実際に体験して、自らその重要性を感じていただくことを大切にしています。

一人一人が学んだ防災についての知識や技術は、地域みんなで協力し合い、助け合う災害時において、とても大きな力になります。より多く、幅広い世代の方に「知っている」人を増やすため、東浦町赤十字奉仕団はこれからも「できること」に取り組み、積極的に活動を行っていきます。

++++++

美浜町赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：山田 美代子（就任1年目）

団員数：213人（男：〇人、女：213人）

結成年月日：平成21年4月1日

母体：単独赤十字奉仕団

幼児安全法指導員：1人

団紹介

町内小学校区ごとに地域分けがされ、現在6地区に分かれて、地区代表者が中心となって活動しています。長年、地域婦人会を母体として活動してきましたが、平成20年に婦人会が廃止されたことから、平成21年度より奉仕団単独の組織として運営しています。

奉仕団の主な活動

★ 奉仕団一日講習会

7月16日（火）、炊き出し訓練と講習「能登半島地震被災地へ派遣された現地の様子」を実施しました。この講習会は毎年恒例で行っており、令和6年度は35名の参加がありました。

★ 幼児安全法講習会

保育園や地域の団体からの依頼を受け、隨時、美浜町奉仕団に在籍する幼児安全法指導員による幼児安全法講習会を開催しています。令和6年度は奉仕団員、児童館、母子寡婦福祉会から依頼があり、身近なものを利用した応急手当、乳幼児の一時救命処置についての講習を行いました。



（奉仕団一日講習会に参加している団員）



（児童館にて幼児安全法の講習中）

活動ピックアップ！（活動名：奉仕団一日講習会）

★ 活動の時期・参加人数

日時：7月16日（火）

参加人数：35名

★ 活動のきっかけ

災害時に備え、毎年1回会場を変えながら炊き出し訓練を実施し、また時代に適応した講習を受講しています。

★ 活動の内容

炊き出し訓練…ハイゼックスによる炊き出し

講習会…講習「能登半島地震被災地へ派遣された現地の様子」



（ハイゼックスによる炊き出し）

★ 活動の成果・効果

炊き出し訓練ではハイゼックスの利用方法、講習会では助けが必要でも上手く助けを求められない人たちもいることを学び、より災害時の活動意識を高めることができました。

奉仕団の PR スペース

++++++

災害が起きた際は、赤十字奉仕団として迅速に対応できるよう、今後も炊き出し訓練などに取り組み、防災・減災に対する知識を深めていきます。

また、若い世代に赤十字奉仕団の活動を PR し、興味を持ってもらうことで地域の防災力の向上につながると思います。炊き出し体験の指導などの普及活動にも力を入れていきたいと思います。

++++++

武豊町赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：堀家 泰司郎（就任6年目）

団員数：18人（男：10人、女：8人）

結成年月日：昭和28年4月1日

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：4人

団紹介

武豊町赤十字奉仕団は、かつて婦人会員で構成されており、平成29年度に婦人会の入団希望者と一般団員とが合わさって現在の武豊町赤十字奉仕団となりました。団員が高齢化し減少するなか、新団員を迎え、啓発活動や講習等を行っています。

奉仕団の主な活動

★ 玉東区防災訓練

地域の自治組織の1つ、玉東区の防災訓練にて、ハイゼックスを使った炊き出し訓練を実施しました。炊き出しではさつまいもと塩こんぶで炊いたご飯を調理。災害時の食事なので味は期待されていませんでしたが、今回のレシピは味にも定評がありました。

★ 街頭募金活動

令和6年度「広めよう赤十字！5月の愛知一斉キャンペーン」にて町内商業施設敷地内にて街頭募金活動を実施しました。

★ 各種講座

加入団員向けに防災講座を実施し、知識習得に努めました。今回のテーマは「防災ボトル」。100円均一で購入できるミニライトやホイッスル、圧縮タオル（水につけると大きくなるタオル）などの防災グッズを500mlのボトルに詰め込んで、すぐに活用できるよう各団員の危機管理意識向上に努めました。



令和6年度「広めよう赤十字！5月の愛知一斉キャンペーン」



令和6年度防災講座

今後の武豊町赤十字奉仕団！

★ これまでの活動

地域での安心で安全なまちづくりに対する奉仕を目的に活動している武豊町赤十字奉仕団は、地域の自主防災会と協力し、いざという時に備えて防災訓練において炊き出し訓練を行っていました。

★ コロナ禍を経ての現在

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後、計画していた事業も実施できるように なり、徐々に活気が戻ってきました。令和6年に入り、新団員5名を迎えて新たな気持ちで頑張っています。新団員を含め、日赤の研修などを受講することで、団としてレベルアップを図っていきたいと考えています。

★ 現在の課題

新団員の加入はありましたが、依然として団員の平均年齢が高く、継続して事業をしていくためには若年層の団員の確保が喫緊の課題です。地域と協力した防災訓練や各種講習を通して、武豊町 赤十字奉仕団の活動を広くPRして加入促進に努めています。

★ 令和7年度の活動に向けて

日本赤十字社愛知県支部が実施している講習への積極的な参加や地域の自主防災会とコラボレーション事業を実施する等、団員のレベルアップや地域とのつながりを密にすることを目標に、より地域に根差した活動に力を入れていきたいと考えています。

地域赤十字奉仕団
西三河地区

岡崎市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：新海 幹代（就任 10 年目）

団員数：25 人（男：1 人、女：24 人）

結成年月日：平成 8 年 5 月 30 日

母体：単独赤十字奉仕団

健康生活支援講習指導員：2 人

幼児安全法指導員：2 人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：5 人

団紹介

本奉仕団は、中央、岡崎・六ツ美、大平、岩津、矢作の5つの地区ブロックから構成されています。

奉仕団の主な活動

★ 地域献血への協力・献血啓発・イベントへの参加

市内各所で実施される地域献血への参加、若年層への献血啓発を目的とした地区内の大学・高等学校、医療機関等への啓発物品の配布、その他イベントへの参加を行いました。



献血啓発物品の配布



愛知県献血運動推進大会での合唱



ファミリーフェスタ

【地域献血への協力】市内 4 か所・8 回実施

【献血啓発物品の配布】地区内の大学、高等学校、医療機関 19 か所へ配布

【イベントへの参加】年間を通じて 5 イベントへ参加

★ 地域講習・団員講習・イベント等における安全講習

学校や保育園、地域団体からの依頼により、幼児安全法や健康生活支援講習などの講習を行いました。また、毎年市民を対象に実施している乳幼児を守る安全講習にも、多くの方が参加しました。



親子で学ぶ♪乳幼児を守る安全講習



保育園での地域講習



毛布を使用した団員研修

活動ピックアップ！（活動名：幼児安全用を基本とした地域講習）

★ 活動の時期・参加人数

日 時：令和6年度を通じて 16回
参加人数：のべ 446名

★ 活動のきっかけ

岡崎市赤十字奉仕団では、地域防災や緊急時に適切な対応ができるよう、地域講習を行っており、その一環としてファミリーフェスタ等のイベントでも地域講習を行うようになりました。



ファミリーフェスタでの講習のようす

子どもサイズの人形を使って、異物除去、心配停止時の救急蘇生法やAEDの使い方、その他注意することなどをわかりやすく実戦形式で体験をしていただいている。毎年、保育園、幼稚園、小学校、総代会や民生委員などの地域団体、医療機関など各方面的団体から実施・指導の御依頼をいただいている。大人サイズの人形を使って講習を行うこともあります。

★ 活動の成果・効果

新型コロナウイルスの取り扱いが変更となった令和5年5月以降、講習の御依頼件数が急激に増加しております。特に、民生委員児童委員が行う子育て支援活動に赴き、地域で子育てに奮闘していらっしゃるお父さん、お母さんに対して指導する機会が増えたように感じます。受講される方は有事の際に備えて一生懸命に取り組まれ「受講できてよかった」とお声掛けをいただけることが私たちのやりがいにもなっています。引き続き、地域に寄与できる活動の一つとして継続してまいります。

奉仕団のPRスペース

++++++

コロナ禍の後、民生委員児童委員協議会を始めとした地域団体や、地域の診療所、小学校等から地域講習の依頼を安定的にいただくようになりました。来年度も引き続き講習の依頼をいただいている団体もあり、団の活動が少しずつ地域に浸透してきた結果と受け止めています。

次世代に赤十字並びに奉仕団の活動を伝えるため、今後も地域に寄り添いながら普及啓発に努めます。

また、団活動を継続的かつ安定的に実施できるよう、指導員の養成や新規団員の確保に引き続き取り組んでまいります。



視察研修の様子

++++++

碧南市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：杉浦 房枝（就任1年目）

団員数：622人（男：0人、女：622人）

結成年月日：昭和24年11月24日

母体：単独赤十字奉仕団

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：14人

団紹介

地域に根差した奉仕活動に取り組み、「日赤は動いている」「あなたと共に」を合言葉に、奉仕団員が協力しあい、明るく楽しい奉仕団を目指しています。

令和7年2月7日に多数の奉仕団員が出席して、碧南市地区赤十字大会・奉仕団設立75周年記念式典を行いました。

奉仕団の主な活動

★ 社資募集

5月の「赤十字月間」に、奉仕団員が各戸を訪問して実施しました。

★ 啓発・募金

5月3日の市内7か所での啓発活動、10月20日の市内大浜地区での啓発活動と災害義援金の募金活動、10月30日の奉仕団防災講習会での救急法講習会と災害義援金の募金活動、12月7日の市内産直市場でのNHK海外たすけあい募金活動、1月19日のJAのイベントでの啓発活動と災害義援金の募金活動、3月9日の漁業協同組合でのイベントでの啓発活動と災害義援金の募金活動に従事。

★ 地域清掃

定期的に地域の公園や神社などで奉仕団員が清掃活動を実施。20か所で、延べ185回活動。

★ 献血呼びかけ

市役所で実施される4回の献血の際、1月19日のJAのイベントでの際、3月9日の漁業協同組合でのイベントの際に、協力者への呼びかけを実施。



（災害義援金の募集活動）



（地域の神社での清掃奉仕活動）

活動ピックアップ！（活動名：碧南市総合防災訓練）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和6年11月10日（日）8：30～12：00

参加人数：18名

★ 活動のきっかけ

碧南市総合防災訓練において、災害に被災した際に役立つことを普及させる内容のブースを、役員及び委員で出展しました。

★ 活動の内容

「家庭にある物を使った救急法」と「災害時に役立つ物作り」のブースを出して、奉仕団員が来場された市民の方々に教えました。

腕の骨折時等にポリ袋を使って腕を吊る方法、半透明なゴミ袋を使ったカッパやポンチョ（家庭用防護服）の作り方、新聞紙を使ったスリッパの作り方を体験的に学んでもらいました。



（奉仕団の出展ブースの様子）

★ 活動の成果・効果

今年は開催場所の会場が広いことで多数のブースが出展したため、多くの市民が来場された結果、赤十字のブースにも多くの方が来られました。大人の方も子どもも、ゴミ袋に線を引いたり、はさみで切ったりして楽しそうにカッパやポンチョを作り、着用していました。また、新聞紙を使ってスリッパを作り、出来立てのスリッパを履いて会場の体育館の中を歩き回る姿も多く見られました。

さらに、来場された方々に対し、奉仕団員から災害に対する備えの大切さを伝えることにより、防災に対する意識の向上を図ることができました。

令和7年度の意気込み

++++++

奉仕団員の人数が600人超と大所帯であるものの、近年は高齢化とともに減少状態が続いているため、新規入団者が増えるような取り組み及び奉仕団員の若返りを考えています。

また、社資の集め方について、奉仕団員の高齢化等により、各戸を訪問して社資の協力を依頼する活動の継続が難しくなったため、町内会を通して集めてもらえるように取り組んでいきます。

奉仕団員の有志で「サクランボの会」を作り、紙芝居や人形劇、パネルシアター等により子どもたちを支援する活動をしていきます。

++++++

刈谷市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：西尾 實千恵（就任 6 年目）

団員数：269 人（男：2 人、女：267 人）

結成年月日：昭和 25 年 9 月 1 日

母体：刈谷市女性の会連絡協議会

救急法指導員：5 人

健康生活支援講習指導員：4 人

幼児安全法指導員：5 人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：13 人

団紹介

赤十字の「人道・博愛」そして「奉仕」の心をもって、「自分の住む地域は自分たちで守る」をテーマに、赤十字の啓発や、各地区で行われる自主防災会等の防災訓練、講習会に参加しています。また、奉仕団員個人のスキルアップのための研修を積み重ねています。

奉仕団の主な活動

★ 献血呼びかけ運動及び募金活動

4 月 20 日、8 月 17 日に、刈谷市ライオンズクラブとのコラボで献血呼びかけをしました。また、12 月 1 日の NHK 海外助け合い募金等、8 回募金活動を行いました。

★ 奉仕団員地区別講習会

団員のスキルアップのための講習会も今年度で 4 回目となります。昨年に引き続き 4 力所での開催でした。特に今年は、フレイルの事が新たに加わり、大変好評でした。

★ 小・中学校 防災教室

子どもたちが、災害時に自分や周りの人の命を守る力を養うことを目的として、防災教室を実施しました。小学校 2 校、中学校 3 校よりご依頼をいただき講習を行いました。子どもたちから、「地震などの時、教えてもらったことを思い出して冷静に行動したいと思います。とても大切なことを学びました。」などの感想が寄せられ、防災力の向上に貢献できたと実感しました。



危険な箇所チェック中



身近なもので傷の手当て

活動ピックアップ！（活動名：子どもの居場所作り）

★ 活動の時期・参加人数

9月 1日 小山地区 44名

12月 15日 東境地区 80名

12月 22日 中部地区 40名

★ 活動のきっかけ

日赤愛知県支部が推奨する「子どもの居場所作り」に賛同し、3地区で実施することにしました。

★ 活動の内容

赤十字奉仕団・自治会・地区福祉委員会・女性の会・子ども会・民生委員など多くの団体と一緒に開催しました。「カレーライス」や、耐熱ポリ袋を使って防災食「焼きそば」を作りました。いえますごろく、ホットタオル、防災かるた、防災クイズ、折り紙、将棋、オセロなど、親子で楽しみました。高齢者の方々にも参加を呼びかけ、世代を超えての交流の場となりました。



ポリ袋で「焼きそば」作り

★ 活動の成果・効果

集まった子どもたちが、打ち解けるきっかけとなるように防災かるたを二つのグループに分かれて行いました。大盛り上がりでした。その後、子どもたちは、地区委員の方々相手にルールを教えるながら、「マンカラ※」、もう一方では真剣勝負の「オセロ」、その他折り紙を折ったりして、世代が全く違ってもこんなに交流できるのだと嬉しい気持ちになりました。お昼にはカレーライスをみんなで食べて、防災を少し考えてもらい、お互いの心が通い合う価値ある集いとなりました。

※マンカラ…ビー玉などの石を入れる穴が並んだボードの上で自分の陣地の穴から石を早くなくした人が勝ちというゲーム

（中部地区）

奉仕団の PR スペース

++++++

私たちの団には、現在 269 名の団員がいます。地区ごとの活動や全体での活動を通じて、さまざまなニーズに応えられるよう取り組んでいます。

「できない！」と考えるのではなく、「今できることは何なのだろう？」「どうしたら実現できるのだろう？」ということを常に考えながら講習会などの活動を行ってきました。その前向きな姿勢は、活動の幅を広げ、講習会の内容の充実につながり、新しい挑戦にもつながっています。こうした姿勢を私たちは誇りに思っていますし、今後もこの方針は続けていこうと思います。

++++++

豊田市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：高木 寧子（就任5年目）

団員数：64人（男：0人、女：64人）

結成年月日：昭和43年6月18日

母体：単独赤十字奉仕団

救急法指導員：2人

健康生活支援講習指導員：1人

団紹介

本奉仕団は、市内9地区の団員で構成し、現在全員女性です。2018年に50周年を過ぎました。地域の背景は、愛知県内1位の面積を有し（株）トヨタ自動車を連想するように企業城下町で、外国人も多い多文化共生都市です。その一方で農業も盛んで桃・梨をはじめとする多くの名産品があります。その町で、豊田市社会福祉協議会と連携し安心・安全なまちづくりを目指した活動を進めています。

奉仕団の主な活動

★活動名・献血ルーム啓発活動

毎月第4木曜日、15時～16時、地区ごとに活動（豊田市駅付近）

★活動名・愛知少年院後援活動

運動会、職業訓練発表会、体験学習、二十歳の集い（印鑑・書籍寄贈）等参加

★活動名・共同募金活動

赤い羽根共同募金、災害時の義援金募金、豊田市社会福祉協議会と連携（豊田市駅付近）

★活動名・生涯学習出前講座

地域の方々から依頼の防災・救命等の講座を開催

★活動名・団員に向けて研修会

1日防災研修会（8月23日）

日帰り名古屋献血センター見学（11月25日）



1日研修会（防災研修）



名古屋血液センター見学

活動ピックアップ！（活動名：生涯学習出前講座）

★ 活動の時期・参加人数

- ①6/14 井上小学校（85名）（団員5名）
- ②9/3 未就園児親子サークル（親子13組）（団員9名）
- ③9/5 道慈小学校（30名）（団員10名）
- ④10/4 一区ふれあいサロン（50歳～90歳）（30名）（団員4名）
- ⑤10/23 朝日小学校（90名）（団員12名）
- ⑥11/26 童子山小学校（30名）（団員6名）
- ⑦12/12 梅坪小学校（35名）（団員8名）
- ⑧R7/2/8 さなげ台区民会館（30名）（団員7名）積雪の為中止



出前講座の様子

★ 活動のきっかけ

地域に、赤十字の活動知識を広めようと始めました。

豊田市役所 HP→ 生涯学習出前講座、掲載名は「お母さんから学ぶ防災知識」で掲載ページから申し込み要請があり実施しています。今年度は特に申込件数多かったです。

★ 活動の内容

災害時知って役立つ技術として、新聞紙スリッパ、毛布ガウン、風呂敷リュック等を指導しています。また、最近は救急法指導者による、簡単止血法、三角巾の捻挫応急処置、リラクゼーション、ホットタオル、ハンドケア等も指導。

★ 活動の成果・効果

講座終了後、アンケートでは「とても参考になった」「とても分かりやすい説明で勉強になった」「新聞紙スリッパは家族分作りたい…」などの回答がいただきました。また、止血法、毛布ガウン、風呂敷リュックなどに関しては、「身近なもので災害時の防災グッズになると分かり、とても良かった」との感想もございました。

ホットタオルの使用では、「タオルの多くの面を利用して体のいろいろな箇所を1枚で拭くことができる事を理解でき参考になりました。災害以外にも普段の病気等にも使えそうで日頃から利用したい」など、災害時の対応について参考になったと喜んでいただきました。

奉仕団のPRスペース

++++++

豊田市赤十字奉仕団は、救急法（AED）・健康生活支援の指導者による講座並びに防災講座を開催しています。これまで以上に地域の皆様が災害に遭遇した時にも慌てずに対処することができ、健康な生活を送れるよう活動をしていきます。

また、幼児安全法も来期指導が出来るよう指導者研修の受講を多くの団員に進め、講座開催できるようにしたいです。しかしながら、団員も高齢化している状態です。

今後、若い方々を含め団員が増える対策をし、そして日本赤十字社の活動の理解を広めながら、活躍していきたいと願います。講座のご参加、お待ちしています。

++++++

西尾市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：猶崎 かや子（就任3年目）

団員数：82人（男：1人、女：81人）

結成年月日：昭和59年4月1日

母体：単独赤十字奉仕団

救急法指導員：3人

健康生活支援講習指導員：2人

幼児安全法指導員：4人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：14人

団紹介

私たち西尾市赤十字奉仕団は、市内14地区の団員で構成し、「やる気！元気！和気！」をモットーに活動しています。

奉仕団の主な活動

★ 広めよう赤十字！5月の愛知一斉キャンペーン

5月1日、市内10か所のスーパーで啓発品を配布し、赤十字活動のPRを行いました。
(参加人数62名)

★ 献血ボランティア活動（年17回）

市内の献血会場にて受付案内のお手伝いをしました。（参加人数67名）

★ 赤十字奉仕団研修会

9月6日、9月13日、9月20日に救急法（心肺蘇生とAED）と高齢者への健康生活支援（リラクゼーション）の研修会を行いました。（参加人数71名）

★ 児童の健全育成活動

10月27日「にしお福祉まつり」と11月5日から2月6日にかけて、市内8か所の保育園・認定こども園でこども向け大型紙芝居の読み聞かせを実施しました。（参加人数延60名）



（5月の愛知一斉キャンペーン）



（赤十字奉仕団研修会）

活動ピックアップ！（活動名：防災料理教室）

★ 活動の時期・参加人数

日時：2月17日

参加人数：延63名



★ 活動のきっかけ

いつ来るかわからない災害に備え、家にあるもの（缶詰、切り干し大根、乾燥ワカメ等）を利用して料理教室を実施しました。

★ 活動の内容

県支部作成のレシピ本を参考に1品（三色おはぎ）と西尾市作成の防災レシピ集を参考にアレンジした3品（サバの味噌煮とワカメ和え・切り干し大根とひじきのあえ物・蒸しパン）を作りました。味付け、盛り付けの彩り等、メンバー間で何度も試行錯誤しながら挑戦しました。

全体の様子

★ 活動の成果・効果

火を使わないメニューがあり、調理時間が短縮され、すべての工程をスムーズに進めることができました。参加者からは、「美味しい」「楽しい」「家でも作ってみたい」「レシピが知りたい」との声がありました。災害はいつ起きるかわからないため、日頃から防災意識を持っていただけるよう今後も継続して開催したいと思います。



調理の様子

奉仕団のPRスペース

++++++

昨年に引き続き、10月19日に平坂小学校の「コスモスマつり」にて、5年生児童100名に心肺蘇生とAEDの使い方を指導しました。

また、今年初めて町内会の役員に心肺蘇生とAEDの使い方の講習会を行いました。

皆さん少し照れながらも、真剣に取り組まれました。

今後も積極的に活動し、地域と密着した奉仕団活動にしたいと思っています。



++++++

知立市赤十字奉仕団

〈奉仕団情報〉

委員長名：高橋 敦子（就任2年目）

団員数：7名（男：0人 女：7人）

結成年月日：令和5年4月1日

母体：編集ボランティアペんぺん

団紹介

私たちは、長い間母体となっていた「あおみの会」から引き継いで昨年度知立市赤十字奉仕団の活動をスタートし、2年目となりました。子どもからお年寄りまで、かけがえのない命を守るため、無理なく楽しく活動していきたいと思っています。

奉仕団の主な活動

★活動名 広めよう！赤十字5月の愛知一斉キャンペーン

5月9日（火）ギャラリエアピタ知立店にて、来店者に啓発物品を配り、赤十字の活動への理解と協力をお願いしました。

★活動名 遊びながら命を守ろう！

昨年度に引き続き「防災かるた」を35セット作成し、市内の小学校7校、中学校3校にお届けしました。3セットは、ボランティア・市民活動センターの貸出物品とし子ども食堂や高齢者サロン等でのレクリエーションに使っていただきます。



活動ピックアップ！（活動名：遊びながら命を守ろう！）

★活動の時期・参加人数

日 時：令和6年5月～令和7年2月

参加人数：7名（防災かるたの作成）

★活動のきっかけ

いつ、どの様な状況下で起こるか分からない災害。共働きの家庭が多くなり、一人で過ごす時間の多くなってきた子どもたちに、いざという時に自分で自分の身を守る術を遊びながら学んで欲しいと思いました。

★活動の内容

子どもたちが不安な気持ちにならない様に
やさしい図柄のものを選びました。
また、子どもたちがいっぱい遊んでも破れないように、
しっかりとした紙を使いケースに入れました。



★活動の成果・効果

3月になってやっと学校に配ることができたので、これからどの様な反応があるのか楽しみです。学校側の希望に応じて、来年度はまた数を増やそう

★参加者の反応

昨年度作成・配付した「防災かるた」には、各小学校で、防災教育に活用して下さっています。今年度当初に追加希望数をうかがったところ、100セット近い希望がありました。まだ希望数に達していないので、来年度も引き続き作成していくと思っています。

奉仕団の PR スペース

++++++

私たちは、約25年間「編集ボランティアペんぺん」として知立市社会福祉協議会の広報誌「社協だより」の編集をお手伝いしてきました。さまざまな取材や企画を通して学んだ地域福祉のために、知立社協や知立市、各団体と連携しながら赤十字奉仕団としての活動を一歩ずつ進めています。

++++++

高浜市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：浅岡 一枝（就任1年目）

団員数：34人（男：0人、女：34人）

結成年月日：昭和57年4月1日

母体：単独赤十字奉仕団

幼児安全法指導員：2人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：0人

団紹介

わたしたち高浜市赤十字奉仕団は、赤十字奉仕団の理念のもとに、子ども食堂の開催、心肺蘇生講習会・応急手当講習会等を行っております。また、市の福祉まつりで抹茶接待を長年続けており、市民の皆さんとの楽しみになっています。

奉仕団の主な活動

★ 活動名 心肺蘇生（AED）講習会

応急ボランティアの方々といっしょに、市内中学校に出向きました。教師や生徒に心臓マッサージやAEDの使い方の指導を行いました。

- ・5月13日 高浜中学校教師対象 団員5名
- ・6月27日 高浜中学校生徒対象 団員17名
- ・10月24日 南中学校生徒対象 団員16名

★ 活動名 募金活動

市内の商業施設にて募金活動を行いました。

- ・5月6日 5月の愛知一斉キャンペーンでの街頭募金を実施 団員9名
- ・12月15日 NHK海外たすけあい街頭募金を実施 団員9名

★ 活動名 花壇の定植と手入れ

入居者の慰安のため、市内の介護老人福祉施設2か所で花壇の定植と手入れを行いました。

- ・5月 介護老人福祉施設2か所 団員9名
- 12月 介護老人福祉施設2か所 団員9名



（定植と手入れ）



（募金活動）

活動ピックアップ！（活動名：ハートラちゃんにこにこ食堂）

★ 活動の時期・参加人数

- ・8月3日（土） 団員18名 参加者 32名
- ・12月7日（土） 団員18名 参加者 36名
- ・2月1日（土） 団員16名 参加者 32名

★ 活動のきっかけ

コロナ禍で様々な活動が縮小し、活動再開や見直しを考えていた時期に、愛知県支部の奉仕団委員長会議でこども食堂を推進していきたいとの話から、検討を始めました。

★ 活動の内容

地区の交流館（旧公民館）でこどもも大人も気軽に立ち寄れ、みんなが安心できる居場所づくりを目指してこども食堂を実施しました。

メニューはカレーライス、予約不要で限定30食です。

開催場所は、市内のこども食堂の支援を行っている団体に相談し、こども食堂の定期開催がない地区で行うことにしました。

開催にあたり工夫した点は、毎回メニューを考えるのが大変という団員の声があり、メニューをこどもも食べられるカレーライスに固定しました。また、子連れのお父さんお母さんがゆっくり食事できるように、小さいお子さん向けに絵本の読み聞かせを行うスペースを作りました。



（調理の様子）

★ 活動の成果・効果

高浜市赤十字奉仕団の存在を地域の方に知って頂きたい思いがあったので、こども食堂の開催は知名度向上につながったと考えています。また、活動を一緒に行うことで団員の団結がより一層高まりました。

今まで開催がなかった地区でこども食堂を実施したことにより、地域の方にとっての新しい居場所を創出できました。

奉仕団のPRスペース

++++++

高浜市赤十字奉仕団は、団員の高齢化が進み、団員減少が心配です。少しでも団の活動を地域のみなさんに知って頂ければと思い、令和6年度からこども食堂（ハートラちゃんにこにこ食堂）を開催しました。来年度は、こども食堂の開催回数を増やし、地域の方の居場所を創出し、あわせて赤十字活動や理念のPRをしていきたいです。

++++++

みよし市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：原田 広美（就任2年目）

団員数：48人（男：0人、女：48人）

結成年月日：平成10年7月21日

母体：婦人会

救急法指導員：0人

健康生活支援講習指導員：0人

幼児安全法指導員：0人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：0人

団紹介

みよし市赤十字奉仕団は、地域婦人会の解散から赤十字奉仕団を立ち上げました。

常に無理をせず参加できるときに参加して、会員同士楽しく活動していく事をモットーとしています。

奉仕団の主な活動

★ 市防災訓練に参加

毎年8月に市内小学校にて市の防災訓練に参加しています。内容としては、赤十字奉仕団のブースを設けて、防災ボードゲームの提供及び炊き出し訓練の手伝いをしています。残念ながら、今年は台風の影響で中止となってしまいましたが、事前練習会として、防災ボードゲーム「いえまですごろく」を行ないました。来年は、防災訓練参加者及び地域の子どもたちにゲームを通して防災に関する知識を深めてもらえるよう継続して参加したいです。

★ 市内福祉施設ティッシュ寄贈

毎年12月に市内の福祉施設にポケットティッシュの寄贈をしています。今年は、令和6（2024）年12月4日に実施しました。障がい者福祉施設「障害福祉サービス事業所わらび」、高齢者福祉施設「三好老人保健施設」へ訪問し、奉仕団員から集めたポケットティッシュを各施設へ寄贈しました。



（事前練習会の様子）



（ティッシュ寄贈の様子）

活動ピックアップ！（活動名：みよし市赤十字奉仕団県内研修）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和6（2024）年10月31日

参加人数：20人

★ 活動のきっかけ

年に1度の恒例行事として愛知県内で奉仕団員の研修会を行なっています。奉仕団員同士の親睦を深め、新たな知見の獲得及びこれからの活動への意識向上を目的としています。

★ 活動の内容

名古屋市にある愛知県警察本部にてDVD視聴、通信指揮室及び交通管制センターの見学、白バイ体験等の研修を受講しました。



★ 活動の成果・効果

普段なかなか体験することができないところを見学し、地域の交通安全などの意識を高めるとともに、今後重大な事件が発生したときに自分たちにできることを考えるきっかけとなりました。今後、市内の小学校や地区等に出向き、防災ボードゲーム「いえまでごろく」を用いて団員以外にも防災に対する意識を広めていきたいと考えています。

今後は市の防災訓練や福祉まつりなどといった事業で、啓発活動を行なっていきたいです。

奉仕団のPRスペース

++++++

みよし市赤十字奉仕団は、地域婦人会の解散から赤十字奉仕団を立ち上げました。

参加できる人が参加できるときに、会員同士楽しく仲良く活動しています。

現在、団員の高齢化が進んでおり、若い世代の方の入団をお待ちしています。世代間の交流を深め、経験や知識を伝えたいです。

++++++

幸田町赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：伊澤 由紀子（就任1年目）

団員数：1,429人（女：1,429人）

結成年月日：昭和27年11月30日

母体：こうた女性の会

救急法指導員：0人

健康生活支援講習指導員：0人

幼児安全法指導員：0人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：3人

団紹介

私たち幸田町赤十字奉仕団は、こうた女性の会が兼務しています。

本奉仕団では、団員のつながりを大切に、活動を行っています。特に、地域の災害時ににおける支援に重点をおき、防火訓練や防災研修会を実施するなど、防災の大切さについて学ぶ機会を設けています。

奉仕団の主な活動

★ 募金活動

今年度も「NHK海外たすけあい募金」の募金活動を行いました。募金箱は各地区の地域活動で行われる研修の際に設置し、団員を中心に呼びかけをすることで、多くの寄附が集まりました。集められた募金は幸田町分区を通じて日本赤十字社へ寄附しました。

★ 小学区単位の防災学習会について

3カ所の小学校区で防災学習を行いました。多くの地域の方が参加し、実りのある防災学習会になりました。また、地域の方が参加することで地域の方との繋がりを持つことができました。

○坂崎小学校区

開催月 6月

場 所 坂崎公民館

内 容 防災講話

○荻谷小学校区

開催月 6月

場 所 古民館

内 容 防災講話

○豊坂小学校区

開催月 8月

場 所 豊坂小学校

内 容 防災講話、マンホールトイレの設置



（募金を寄付する様子）

活動ピックアップ！（活動名：幸田町総合防災訓練への参加）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和6年9月7日（土）9時から11時30分まで

参加人数：12名

★ 活動のきっかけ

大規模災害が発生した際に、各地区の「核」となり、女性視点を活かした防災活動ができるようになります。町の防災訓練に参加することにより、災害の備えを確かのものにしていくことを目指しています。

★ 活動の内容

自衛隊と一緒に炊き出し本部設置訓練を行いました。参加者が楽しく参加できるよう、準備から団員が一致団結して取り組みました。



炊き出しの様子

★ 活動の成果・効果

団員間で協力しながら炊き出し訓練を行うため、団員同士の絆がさらに深まりました。また参加者の喜ばれる姿を見ることができ、わたしたちもうれしくなりました。今後も継続して本事業に積極的に参加していきたいです。

奉仕団のPRスペース

++++++

幸田町赤十字奉仕団は、防災に力を入れており、研修会の開催や町防災訓練へ積極的に参加しています。しかしながら、現在高齢化が進み、団員数が減少しているため、防災に興味のあるかたや若い世代の方々の入団をお待ちしています。

++++++

地域赤十字奉仕団

東三河地区

豊橋市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：余郷 充代（就任9年目）

団員数：467人（男：0人、女：467人）

結成年月日：昭和62年3月1日

母体：更生保護女性会

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：6人

団紹介

豊橋市赤十字奉仕団は、主に小学校区ごとに構成される豊橋市更生保護女性会が母体となり、地域に根差した奉仕団活動に取り組んでいます。

奉仕団の主な活動

★ 豊橋まつりでの啓発活動

10月19日（土）、20日（日）に開催された豊橋まつりに団員16人が参加し、「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん」を実施しました。およそ1,100人の方にまちがいさがしに挑戦していただき、災害が発生した時にどんな危険が起こる可能性があるか、危険から身をどうやって守るなどを楽しみながら考えてもらいました。また、パネルの展示や、啓発物品の配布など、日本赤十字社の活動について周知を行いました。

★ 防災訓練への参加

例年、豊橋市総合防災訓練や各校区・町内の防災訓練に参加しています。豊橋市総合防災訓練では、校区の方々と協力しての炊き出し訓練や、参加者の防災意識の向上を図るため「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん」を実施予定でしたが、令和6年は台風の影響によりイベントが中止となりました。

★ 日赤講習会の参加

奉仕団基礎研修会や、赤十字奉仕団リーダー交流研修会、防災ボランティア・地区リーダー養成研修会など、各種講習会に参加しています。



（豊橋まつりの様子）



（総合防災訓練の様子）

活動ピックアップ！（活動名：とよはし防災フェスティバル）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和7年3月1日（土）

参加人数：団員15人

★ 活動のきっかけ

「とよはし防災フェスティバル」は東日本大震災が発生した3月に合わせて豊橋市が実施している防災イベントで、多くの市民が来場されます。来場された方に日本赤十字社のPRや、災害時の行動、応急手当のやり方などを改めて知っていただく機会になればと思い啓発活動を実施しました。

★ 活動の内容

当日イベント会場にはおよそ800人が来場し、こどもを連れた来場者向けに、「救護服の試着体験」「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん」「応急手当の体験」の3つの体験を実施しました。こどもが実際に救護服を着ることで、災害時にこの服を着て活動している救護員がいることを親子に周知する機会となりました。

また、まちがいさがしは待機列ができるほど大盛況で、親子で楽しみながら災害時の行動について学んでいただきました。



（救護服試着体験の様子）

★ 活動の成果・効果

イベント当日は三河赤十字救急奉仕団と合同で啓発活動を実施したこと、啓発の内容が幅広くなり、応急手当の指導方法についても知識・技術の共有を図ることができ、団員たちにとって有意義な時間となりました。また、今回のイベントも含め、イベントにて防災啓発活動を実施することで、赤十字の活動を広げ周知するとともに、自身も災害について改めて考える機会となっており、団員たちの防災意識の向上にも繋がったと感じました。

これからも災害時の行動について知識を吸収しながら、得た知識をこどもたちや地域に発信し、防災意識の高い地域づくりに努めていきます。

奉仕団のPRスペース

++++++

母体となっている豊橋市更生保護女性会の「更生保護」とは、罪を犯した人たちの立ち直りや次世代を担う青少年の健全育成を支援することで、地域に更生保護の土壤を創りあげることを目的に日々活動しています。また、愛知県下で最初に更生保護の婦人会として発足し、女性目線から様々な活動を長年行ってきた実績があるため、奉仕団という場でも豊橋市に安心・安全の土壤を創りあげていけられるよう努めています。

++++++

豊川市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：原田 桃香（就任6年目）

団員数：23人（男：13人、女：10人）

結成年月日：昭和32年10月19日

母体：豊川市青年団協議会

団紹介

豊川市青年団協議会会員が団員を兼ねています。献血イベントを年2回開催し、献血事業をお伝えしています。

奉仕団の主な活動

★ 夏の献血 2024

令和6年6月9日(日)に「夏の献血 2024」を開催しました。雨天でも工作イベントができるように、室内の会場も増やし、室内でプラ板キーホルダー作りとスライム作りを行いました。屋外ではフリーマーケットを開催し、ボッチャ体験ブースも設置しました。会場全体で献血に関連した謎解きクイズラリーも開催しました。その他、「令和6年能登半島地震災害義援金」の募金活動を併せて行いました。

★ 冬の献血 2024

令和6年12月8日(日)に「冬の献血 2024」を開催しました。豊川市のショッピングモール内の一画で、子ども向けに毛糸で作るミニツリー作りを行いました。けんけつちゃんとのふれあいイベントも開催し、来場者に対し献血協力の呼び込みをするとともにオリジナル風船も配りました。



(夏の献血 2024 工作コーナー) (冬の献血 2024 工作コーナー)

(冬の献血 2024 けんけつちゃんふれあいコーナーとオリジナル風船)

活動ピックアップ！（活動名：夏の献血 2024・冬の献血 2024）

★ 活動の時期・参加人数

＜夏の献血 2024＞

日時：令和 6 年 6 月 9 日（日）午前 9 時～午後 3 時まで

参加人数：青年団 10 名 高校生ボランティア 3 名

＜冬の献血 2024＞

日時：令和 6 年 1 月 8 日（日）午前 10 時～午後 4 時まで

参加人数：青年団 11 名 高校生ボランティア 2 名

★ 活動のきっかけ

事業を通じて献血、寄付金への協力を募ることで、奉仕団活動が社会貢献に繋がればと思い活動を行いました。また、子どもを含む多くの市民の方とふれあい、青年団活動を知っていただくことで、奉仕団や献血への理解を広げていきたいと考えました。

★ 活動の内容

活動の内容としては、献血会場で献血の呼びかけを行なったほか、フリーマーケットや子ども向けイベント（プラ板キーホルダー作り・ポッチャ体験・スライム作り・ミニツリー作り）、謎解きクイズラリー、募金活動を行いました。募金活動で集まったお金は、赤十字に寄付しました。また、冬の献血 2024 では、新たに子ども向けイベントとして「ミニツリー作り」を開催しました。クリスマス前の日曜日の開催であったので、季節にあった工作を行うことで来場者に興味を持ってもらうことができました。中には、子どもがミニツリー作りをしている間、保護者には献血へ協力してもらうこともできました。

また、献血活動を応援するオリジナル風船を作成し、来場者へ配布しながら献血の呼びかけを行いました。血液を思わせる赤く目立つ風船を持ち歩いてもらうことで、来場者が会場を離れた後もすれ違う人に興味を持ってもらうことができたと感じています。



（スライムの試作品）

★ 活動の成果・効果

今回の活動を通じて、来場者には献血の必要性や、奉仕団としての活動を知っていただけたかと思います。また事業に関わった団員も、自己成長できたのではないかと思います。例年とは異なる会場での献血イベントを行ったことで新たな試みをすることことができ、今後の活動をさらに工夫することができました。

奉仕団の PR スペース

++++++

私たちの目的は、血液不足問題をはじめとした社会問題や地域の問題の解決策を探る中で、市民の皆様のためになる活動をすること、そして活動を通して将来社会を担う若者の成長の場を提供することです。新規団員も募集中！ 豊川市青年団協議会の連絡先：toyokawashiseikyo@yahoo.co.jp

++++++

豊川市第二赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：鳥居 可志子（就任5年目）

団員数：6人（男：1人、女：5人）

結成年月日：昭和37年4月1日

母体：単独赤十字奉仕団

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：1人

団紹介

旧小坂井町赤十字奉仕団が市町村合併により、豊川市第二赤十字奉仕団となりました。主に地区の防災訓練や各種講習会のお手伝い、募金活動等を行っています。

奉仕団の主な活動

★ 防災訓練

毎年秋に行われる地区防災訓練に参加しています。

★ 講習会への協力・参加など

日赤指導員による救急法講習会への協力、参加をしています。

★ 広めよう赤十字！5月の愛知一斉キャンペーン

5月1日に、市内のスーパーにおいて啓発物品を配布し、赤十字活動のPRを実施しました。



（令和6年度 愛知一斉キャンペーン）

活動ピックアップ！（活動名：NHK海外たすけあい街頭募金）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和6年12月14日（土）

参加人数：3名

★ 活動のきっかけ

赤十字の活動について継続的に周知するため、今年度も広報活動を実施しました。

★ 活動の内容

市内のスーパーにて、買い物客へ啓発物品を渡し、赤十字活動のPRを行いました。



★ 活動の成果・効果

今年度は、5月の愛知一斉キャンペーン及びNHK海外たすけあい街頭募金活動を行うことができ、啓発物品の配布を通じて多くの方々に赤十字の活動について知っていただくことができました。今後も引き続き広報活動をつづけ、赤十字活動を支えていきたいと思います。

奉仕団のPRスペース

++++++

当団は地元である豊川市小坂井町にて長年活動しており、地域に密着した奉仕団活動を行っています。地域住民の方々へ防災の知識や互いに助け合うことの大切さを伝えていくため、今後も活動を続けていきたいと考えております。

近年は団員の高齢化が進み、人数も少ないため、新規の団員を募集しています。奉仕団活動に少しでも興味がある方は、ぜひお声かけください。

++++++

蒲郡市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：足立 静慧（就任5年目）

団員数：161人（男：0人、女：161人）

結成年月日：昭和62年4月1日

母体：蒲郡市更生保護女性会

救急法指導員：0人

健康生活支援講習指導員：1人

幼児安全法指導員：0人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：2人

団紹介

私たち蒲郡市赤十字奉仕団は更生保護女性会を母体とし、市内8地区の自主パトロールや子育て支援、子ども食堂、高齢者のフレイル予防など地域に密着した活動を行っています。

また、団員同士の絆を高める活動も行っています。

奉仕団の主な活動

★ 子育て支援活動

- 各小学校周辺を中心に月に1～2回のパトロールの実施と、市内5ヶ所（うち2か所は奉仕団との協賛）で子ども食堂を開催しています。それぞれの地区ごとのやり方で行っています。

★ 地域ふれあい活動

- 子ども食堂を居場所づくりととらえ、高齢者にも開放しています。
- 各地区や他団体の防災訓練に参加しました。
- 運動不足になりがちな高齢者に、感染予防とフレイル予防に関する講座や防災食の勉強会を開催しました。

★ 募金活動

- 赤い羽根募金活動実施
- 5月「赤十字運動月間」にチラシ配布
- 歳末海外たすけあい募金実施



（季節行事：豆まきの様子）



（レクリエーションの様子）

活動ピックアップ！（活動名： 子ども食堂の開催 ）

★ 活動の時期・参加人数

1. キッチンおれんじ
日時：毎月第2、第4土曜日
参加人数：毎回30～60人 団員10～15人
2. しおつ広場
日時：毎月第3日曜日
参加人数：毎回30～60人 団員10～15人



★ 活動のきっかけ

子どもの居場所つくりを目的として、子ども達や独居の方の孤立を防止し、食生活を支えたいという想いで開設しました。

（子ども食堂の様子）

★ 活動の内容

1. キッチンおれんじ

月2回開催しています。開催場所を2か所にし、食事とレクリエーションをセットとした活動をしています。レクリエーションはできるだけ季節感を出すことと、みんなでふれあえる内容を考えています

2. しおつ広場

この地区は地区総代会、民生委員・児童委員や地区住民の協力を得て、今後も地区の方々とともに子ども達を支援していきたいと思っています。また、中学校の支援員と密接に連携をとりながら行っています。

★ 活動の成果・効果

子ども食堂を開催することで、会員同士の絆が強くなり、和気あいあいとできています。理事以外の一般団員の参加も多くなってきました。大勢の食事作りをしているので、災害が起きた時にも役立てるよう意識しながら作っています。

奉仕団のPRスペース

++++++

子ども食堂の参加者と団員のふれあいの中で、悩み等も相談されるようになってきました。また、参加者同士も親しくなり、お互いのことを支えあう関係ができました。

今後災害等の勉強会を増やし、そちらの方にも力を注いでいきたいと考えています。

++++++

新城市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：松井 康江（就任2年目）

団員数：143人（男：5人、女：138人）

結成年月日：34年11月1日

母体：新城はぐるまの会

救急法指導員：4人

健康生活支援講習指導員：6人

幼児安全法指導員：5人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：12人

団紹介

「新城はぐるまの会」の会員が、全員奉仕団員として活動しています。支援員・救急員の資格保持者が多く、指導員と共に市内こども園職員に幼児安全法講習、児童クラブ職員に救急法講習、小中学校へ福祉体験教室などの活動が定着してきました。

また、高齢者宅への訪問、地域の福祉施設での奉仕活動、障害のある方への音声訳・点字・手話・要約筆記・身障ガイドも部活動として行っています。

奉仕団の主な活動

★広めよう赤十字！5月の一斉キャンペーン

5月5日（日・祝）に長篠合戦のぼり祭り会場にて赤十字事業の紹介と「令和6年度能登半島地震災害義援金」の募金募集活動を行いました。（参加者15名）

★新城市赤十字奉仕団防災講習会

9月21日（土）豊島公民館にて、地域（家庭）でできる身近な防災食「ポリ袋で炊飯とういろ作り」を行いました。蒸らし時間を利用し「防災ボードゲーム、三角巾、新聞スリッパ」などの指導をうけました（参加者30人）

★防災ボランティアのためのこころのケア

11月6日（水）新城市社会福祉協議会にて、愛知県支部より講師をお招きし開催しました。奉仕団員の自覚を持ち、活動したいと思います。（参加者19名）



（5月の一斉キャンペーン）



（防災講習会の様子）

活動ピックアップ！（活動名：福祉学習教室（黄柳川小学校）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和7年2月10日（月）

参加人数：約100名（生徒、保護者、職員、奉仕団員）

★ 活動のきっかけ

社会福祉協議会からの依頼で福祉体験教室に伺っている学校です。会員がPTA役員で、校長先生に「赤十字奉仕団は炊き出しも教えてくれるよ」と提案してくれたので、PTA教育講演会の一部分として参加できました。全校生徒39名の小さな小学校だから実現したのかもしれません。

★ 活動の内容

ハイゼックスで米飯、アイラップ袋でカレーを親子で作り、試食（給食の代用）する。

前日に各袋に名前を記入し、お米1合をハイゼックスに入れておく。当日、家庭科の授業としてカレーの材料を5、6年生が切り準備しておく。食品衛生上野菜カレーとなる。生徒と保護者が縄跳び大会をしている間に奉仕団員がはそりの準備をする。

ハイゼックス米の説明と実技→はそり投入→アイラップ袋のカレー準備→

米飯完成蒸らし→カレー投入→カレー完成→親子で試食

試食中、ハンカチとストッキングを使ったけがの手当のデモストレーションを見てもらいました。また、奉仕団員が蒸しパンを調理し、味見程度ですが全員に配りました。



★ 活動の成果・効果

試食は給食の代わりになるので、予定時間通りに食べなければならず、時間配分に苦労しました。はそりを屋外に設置したので、ガスの炎がかぜに流されお湯が沸騰するのに予想より時間がかかりました。時間経過と共に風向きが変わるために、設置場所は重要だと思いました。

赤十字の活動を多くの人に見てもらい、理解していただき、さらに一緒に活動する仲間になれたらやりがいがあります。

奉仕団のPRスペース

++++++

令和7年度からモデル奉仕団になります。

赤十字防災セミナー指導者が7名になりました。HAG（避難所体験ゲーム）を団員間で体験しています。これから防災セミナーをたくさん開催し地域に普及していきたいです。

++++++

田原市赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：杉浦 操（就任12年目）

団員数：114人（男：0人、女：114人）

結成年月日：平成15年3月20日

母体：田原市更生保護女性会

救急法指導員：4人

健康生活支援講習指導員：5人

幼児安全法指導員：4人

赤十字防災ボランティア・地区リーダー：4人

団紹介

田原市赤十字奉仕団は田原市更生保護女性会を母体とし、赤十字のボランティア活動を通じて、地域社会をよりよくすることを目的に活動しています。団員は、各自治会から1人ずつ選任されるため、地区によって団員数にバラつきがなく、地域の防災力強化に繋がっています。

指導員資格を取得する団員も増えており、地域での各種講習会の開催や女性視点での防災活動・避難所運営訓練に力を入れています。

奉仕団の主な活動

★ 赤十字啓発活動

5月4日（日・祝）の市民緑花まつりにて、アルファ化米の炊き出し、幼児安全法講習、紙芝居を実施し、来場者への奉仕団活動のPRをしました。また、ハートラちゃんと会場を回りながら、献血協力の呼びかけや、能登半島地震義援金募集等の赤十字啓発活動を行いました。

★ 各種講習会開催

子どもからお年寄りまで、幅広い世代向けに健康生活支援講習や幼児安全法講習、救急法講習会を開催しました。

★ 奉仕団員向けの研修の開催

本年度は、健康生活支援員、救急法救急員養成講習会を行いました。



緑花まつりの様子



救急法救急員養成講習会の様子

活動ピックアップ！（活動名：NHK 海外たすけあい街頭募金）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和6年12月7日（土）

参加人数：田原市赤十字奉仕団員32名 田原市内中学生13名

★ 活動のきっかけ

世界各地で多発する自然災害や武力紛争等による犠牲者の緊急救援事業や、発展途上国赤十字社の行う保健衛生、災害対策事業、および青少年の教育支援事業等の開発協力事業を実施するため、日本放送協会（NHK）、社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団、及び日本赤十字社との共催により、寄付金募金キャンペーンが毎年実施され、田原市赤十字奉仕団も毎年12月に街頭募金活動を市内各地で行っています。

★ 活動の内容

田原市赤十字奉仕団は毎年12月に、市内5か所のスーパーにて、本キャンペーンの街頭募金活動を行っており、令和5年度から、ボランティア活動に関心のある地元中学生にも声をかけ、一緒に活動を行っています。



（中学生との街頭募金の様子）

★ 活動の成果・効果

地元の中学生と一緒に活動することで、募金活動がより一層活気づき、多くの寄付を募ることができました。また、赤十字の活動を中学生に伝える良いきっかけにもなっているので、今後も引き続き中学生の参加を募り、協力して募金活動を盛り上げていきたいです。

奉仕団の PR スペース

++++++

毎年7月に田原市で開催される、SDGs フェスタ（男女共同参画フェスティバル）に田原市赤十字奉仕団は参加しています。紙芝居やクイズ、リラクゼーション体験、また、会場内をハートラちゃんと一緒に回りながら、赤十字啓発活動を行っています。毎年多くの方にご参加いただき、赤十字を知っていたく良い機会となっています。今後も出展内容に工夫を凝らし、より多くの方に PR していきたいです。



（ハートラちゃんと触れ合う市民の様子）

++++++

特殊赤十字奉仕団

三河赤十字救急奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：清水 厚詞（就任 3 年目）

団員数：36 人

結成年月日：昭和 49 年 10 月 1 日

母体：単独赤十字奉仕団

団紹介

本部事務局を豊橋市にし、三河地域の市役所、商工会議所、観光協会、地区子供会などの行事の集まりの中での傷病者の保護、手当などの救急活動を主に活動しています。

時代のニーズに合わせた活動内容を展開していきたいです。

奉仕団の主な活動

★ 動物園での臨時救護所

豊橋動植物園「のんほいパーク」ではゴールデンウィーク中、臨時救護所を開設。園内だけがや病気の方の対応をおこなっています。

★ 海水浴場での救急活動

蒲郡市内の二つの海水浴場、三河大島、西浦パームビーチでの海水浴客の救急活動の実施。

三河大島へは観光船で渡ります。主な負傷者は貝で足や手を切ったなどの軽傷が多いです。ひと夏で両海水浴場へは 10 日ほど行きます。



★ サッカー大会、子供会の行事

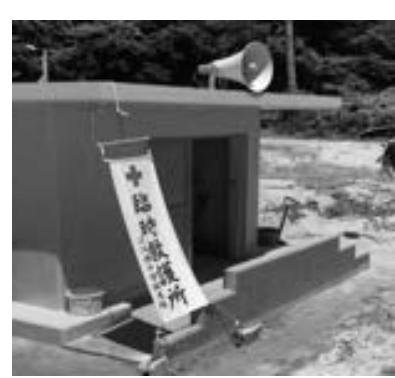
JC 主催のサッカー大会に臨時救護所の開設。

子供会の行事の臨時救護所の開設

JC サッカー大会

救護バック

豊橋まつり会場内に昼夜 4 か所の臨時救護所を開設し傷病者の対応。迷子の対応を行っています。



三河大島臨時救護所

のんほいパーク臨時救護所

西浦パームビーチ臨時救護所

活動ピックアップ！（活動名：炎の祭典）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和6年11月2日（土）

参加人数：団員延べ3名

★ 活動のきっかけ

豊橋の花火をテーマに行われる「炎の祭典」が開催。地域のつながり、活性化に協力。救護員の派遣依頼を受け臨時救護所を開設しました。



★ 活動の内容

傷病者の発生に備えて臨時救護を開設。
多くの方が同時に移動するため誘導案内

★ 活動の成果・効果

会場内の巡回を行い、花火の行われる時間に足元が見えないため、転倒などしないように注意喚起を行っています。臨時救護所での経験にて傷病者へ対応、声掛けを円滑に行っています。
赤十字の旗を掲げることで緊急時に備えています。
外国の方も多く観覧されていました。

奉仕団のPRスペース

+++++

昭和49年に赤十字特殊奉仕団として活動開始。活動内容は時代のニーズに伴い変化しています。現在は催事の臨時救護所の開設が主な活動になっています。今後も地域の活動に参加し、救急法の活用を軸とした赤十字活動の普及していきます。各奉仕団と交流を図って活動の幅を広げるように努めます。Facebook、Instagramにて活動をアップしています。ぜひご覧ください

+++++

愛知県赤十字安全奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：青山 和平（就任14年目）

団員数：90人（男：48人、女：42人）

結成年月日：昭和45年10月24日

団紹介

私たち愛知県赤十字安全奉仕団は、赤十字救急法、水上安全法、幼児安全法及び健康生活支援講習の各指導員の認定を受けた者で組織された特殊奉仕団です

★ 救急法等指導員として

私たち、愛知県赤十字安全奉仕団は赤十字の基本的理念である「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命を掲げ講習指導をとおして救急法等の普及に取り組んでいます

★ 広めよう赤十字！5月の一斉キャンペーン等の活動

- ・名古屋駅前にて赤十字のPR活動。
- ・名古屋市東山動植物園にて愛知県赤十字救急奉仕団による救護所活動に協力参加しています。

★ 愛知県支部主催のイベント支援

毎年夏季には、西尾市ワイキキビーチ、常滑りんくうビーチにおいて、水上安全法（着衣水泳）親子レスキュー・幼児安全法の指導を実施しています。

★ 講習資材等の整備

救急法等の講習を受講する皆さんに気持ちよく資機材を使用していただけるように、訓練用人形及びAEDトレーナーの手入れを始め、三角巾の洗濯整備や各種資機材の故障箇所の修理、また、水上安全法講習に使用する救助用チューブ、レスキューボード等の修理や資材整備を定期的に行ってています。



(講習資材整備)



(親子レスキュー)

★ 活動の時期・参加人数

毎年4月～翌年3月の年間を通じて、愛知県支部からの講習の派遣依頼により、赤十字救急法等講習指導を実施しています。

★ 活動のきっかけ

愛知県支部社会活動推進課に県民の皆様から、救急法等の講習会開催依頼を始めとするものが中心で、愛知県及び各自治体の実施するイベント等へ派遣の依頼があります

★ 活動の内容

私達安全奉仕団の団員は、全員が日本赤十字社講習指導員の認定を受けており、救急法等の

講習を受講されるみなさまには、懇切丁寧慈愛心をもって接しています。

これらの講習を受講された皆様に赤十字のよき理解者になっていただくことを最大の目的として実施しています。

尾張赤十字救急奉仕団

委員長名：加藤 高章（就任19年目）

団員数：18人（男：12人、女：4人）

結成年月日：昭和52年11月18日

母体：単独奉仕団

団紹介

災害活動・防災訓練・各種臨時救護所の開設（名古屋城夏まつり、マラソン大会等）の救護活動及び募金活動、支部主催の研修会参加等、八面六臂の行動派軍団です

奉仕団の主な活動

新型コロナウィルスの感染防止をした上の 活動ができるようになりました。

★ 赤十字キャンペーン（5月11日）

PR冊子等の配布（他の特殊奉仕団とタイアップ）…活動人数5人

★ 名古屋城夏まつり臨時救護所（8月10日～18日）

来場者の方の応急手当…活動人数延べ38人

★ NHK 海外助け合い募金活動（12月21日）名古屋駅周辺

募金活動（他の特殊奉仕団とタイアップ）…活動人数5人

★ 国府宮はだか祭り臨時救護所（2月10日旧暦1月13日）稲沢市

救護所運営・赤十字病院救護班のサポート…活動人数5人

★ 犬山ハーフマラソン救護活動（2月23日）犬山市

ランナーの救護活動…活動人数8人

現在抱えている悩み、問題点

・団員の高齢化が進み、新入団員の募集についてが課題である。

活動ピックアップ 活動名：臨時救護所・募金・研修会における活動

★ 活動の時期、参加人数

通年を通じて活動の実施 延べ人数68名

★ 活動のきっかけ・動機

日本赤十字社愛知県支部から臨時救護所・募金活動等の協力依頼及び研修会等の参加

★ 活動の内容

各地で行なわれるイベント会場における救護所協力・傷病者の応急手当及び募金
PRキャンペーン・各種研修会による研鑽活動



防ボラ研修会（発電機の取り扱い）



海外たすけあい募金活動



キッチンカーの勉強会



国府宮はだか祭り応急手当救護

★ 活動を行った感想・成果

赤十字の人道をもとに、傷病者への気づかい、心配りで不安感のないように接しています。
また 救護活動以外にも各種研修会においての研鑽による技術向上を行った。

★ 今後に向けて（今後取り組みたいこと）

- ・団員が安心・安全に活動できるように支部と協力して活動を展開していきます。
- ・団員活性化と新入団員の募集（リーフレットによる活動案内）

愛知県赤十字救急奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：谷 泰臣（就任 1 年目）

団員数：36 人（男：17 人、女：19 人）

結成年月日：昭和 53 年 1 月 22 日

母体：単独奉仕団

団紹介

当団は、赤十字救急法を習得した幅広い世代の団員から構成されています。もしもの事故や災害に備えて、赤十字救急法を実践できるように、東山動植物園という、子どもから大人まで数多くの人が楽しむ場で、奉仕活動を行っています。

奉仕団の主な活動

★ 東山動植物園救護活動

救護活動の実践のため、東山動植物園春まつり、ナイト ZOO&GARDEN、秋祭りの期間中で、特に人出が見込まれる土日祝に、動物園正門の救護所にて救護活動を実施しています。年間でいうと、約 40 日間です。

活動の前には、事前研修を行い、熱中症や嘔吐、幼児の怪我の対応などについての確認と学びあいをします。

★ 日赤情報誌配信

愛知県支部にて、毎月第一火曜日に、赤十字新聞発送のお手伝いを行っています。

★ 募金活動

NHK 海外助け合い義援金募金活動をはじめ、支部要請の募金活動に積極的に参加しています。



（総会時の記念写真）



（臨時救護所）

活動ピックアップ！（活動名：東山動植物園救護活動）

★ 活動の時期・参加人数

東山動植物園春まつり 令和6年3月16日～5月6日の土日祝（15日間）

参加者延べ62名

東山動植物園ナイトZOO&GARDEN 令和6年8月10日～18日の土日祝（5日間）

参加者延べ33名

東山動植物園秋まつり 令和6年10月5日～11月17日の土日祝（16日間）

参加者延べ73名

★ 活動のきっかけ

昭和53年に「愛知県赤十字救急奉仕団」が発足して以来、救護実践を目的として東山動植物園での活動を続けてきました。私たちは、その歴史ある活動を今に引き継いでおります。

発足当時との活動環境を比べると、今では園の活動施設、活動資材等が充実しており、活動環境が整った、恵まれた環境で活動をしております。

★ 活動の内容

園内で怪我をした傷病者の傷の応急手当、園内での体調不良者の保護・観察や病院紹介、重篤な傷病者の救急搬送の園への要請など。



（使用する資材の一部）

★ 活動の成果・効果

活動を通じて実感できるのが、傷病者や傷病者ご家族の笑顔と感謝の気持ちをいただけます。また東山動植物園の職員の方とも、強い信頼関係で結ばれており、救護活動で使用する資材や屋外にテントを設置する場所の確保をしていただいております。

実際に救護活動を体験された方からは、実践してみて赤十字救急法の意義をより深く理解できた等のご意見をいただいております。

「救急法を身近なものに」

++++++

・一緒にボランティアしませんか！

せっかく、赤十字救急法救急員を取得しても、いざ実際の現場に遭遇した時に、あなたは、躊躇なく救護活動が行えますか？

当団は、東山動植物園での救護活動を通じて、赤十字救急法で学んだことを実践できる場を提供します。

初めての方でも、事前に活動内容の研修会を行いますので、安心してご参加ください。

・今後に向けた意気込み

今後は、さらに他の特殊奉仕団との連携やお互いに協力できる関係づくりを進めていきます。

++++++

愛知県赤十字救助奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：鬼頭 功夫（就任14年目）

団員数：35（男：17人、女：18人）

結成年月日：昭和56年6月7日

母体：単独赤十字奉仕団

団紹介

私たち愛知県赤十字救助奉仕団は「救助の和・輪」を合い言葉に、主に「赤十字水上安全法救助員」の資格を有する者、および主旨に賛同する者で構成しています。

奉仕団の主な活動

★水と親しむふれあい教室

「名古屋市障害者スポーツセンタープール」を活動場所の拠点として、毎月1回、心身に障がいのある子どもたちと、水遊びを楽しんでいます。

10月はふれあい教室の子ども達と豊橋総合動物公園を散策しました。

12月はクリスマス会を開催し親子で料理でハイゼックスを使用した料理を作りクリスマスパーティを楽しみました。

＜豊橋総合動物公園 自由行動前の集合写真＞



＜橋総合動物公園散策＞

日 時：10月13日（日）

参加人数：24名

＜クリスマス会＞



集合写真



料理風景



ハイゼックスでの
コーンケチャップライス



料理名 コーンケチャップ
湯せんオムレツ
白菜豆乳スープ
炊飯器ホットケーキ

＜クリスマス会＞

日 時：12月15日（日）

参加人数：25名

愛知県赤十字無線奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：桐山 裕文（就任 1 年目）

団員数：34 人（男：31 人、女：3 人）

結成年月日：昭和 59 年 5 月 22 日

母体：単独奉仕団

団紹介

愛知県赤十字無線奉仕団はアマチュア無線技士からなる団員で構成されています。

災害など非常事態の発生の恐れがある場合、ならびに緊急事態が発生した際に、無線通信活動を通して日本赤十字社愛知県支部の救護活動へ参加します。

奉仕団の主な活動

★ コンテスト参加

アマチュア無線の競技大会コンテストに参加し、通信技術の向上、広報活動を実施しました。

9月22日「第19回愛・地球博記念コンテスト」（参加人数3名）。

11月2~4日「第49回東海マラソンコンテスト」（参加人数9名）。

★ 全国対象非常通信訓練

12月22日（日）日本赤十字社の各支部に所属するアマチュア無線奉仕団の社団局を対象に、非常通信訓練を実施しました。（参加人数6名）。

★ 第16回2クラブ合同非常通信訓練

8月18（日）アマチュア無線ロクマル学校（JA2YYB）と合同で通信訓練を実施しました。岐阜県及び三重県の無線赤十字奉仕団からも訓練参加がありました。（参加人数7名）。



コンテスト運用及び通信訓練で使用する無線局



全国対象非常通信訓練の交信記録

活動ピックアップ！（活動名：第 56 回東海ハムの祭典出展）

★ 活動の時期・参加人数

開催日時：令和 6 年 9 月 27 日（日）10:00～16:30

参加人数：12 名（岡谷鋼機名古屋公会堂@名古屋市昭和区鶴舞）

展示会名：第 56 回東海ハムの祭典（<https://www.tokai-jarl.jp/saiten/>）

展示内容：赤十字社の広報活動、赤十字救急法短期講習会の開催、地震体験車なまず号の運用

来場者数：2,500 名（主催者公式発表数）

★ 活動のきっかけ

アマチュア無線家が一堂に会するイベントに毎年出展することで、赤十字運動の実践とアマチュア無線界の発展に寄与することを目指しているから。



★ 活動の内容

- ・団設立 40 周年の活動紹介パネル展示
- ・赤十字救急法短期講習会の開催による普及活動
- ・地震体験車なまず号の体験運用と災害への啓蒙活動
- ・緊急セットや避難所用テントの展示
- ・日本赤十字社の活動紹介パネル展示、広報誌等の配布
- ・奉仕団活動の紹介と入団希望者の勧誘

赤十字救急法短期講習会

★ 活動の成果・効果

アマチュア無線家へ赤十字及び奉仕団の活動内容に関心を持ってもらい、直接会って交流し理解を深めてもらうことが出来た。災害に備える資機材や地震体験、AED を使った救急法の体験を通して、赤十字運動を実践することが出来ました。

無線局コールサイン「JH2YWN」「JE2ZQY」 +++++++

無線局の常置場所：名古屋市東区（日本赤十字社愛知県支部内）

無線機：IC-9700、FT-2000、FT-857、ID-31、IC-910 など

＜入団資格＞

第 4 級アマチュア無線技士相当以上の無線従事者免許保有者



※興味のある方は、日本赤十字社愛知県支部 社会活動推進課までお問い合わせください。

日本赤十字社愛知県支部ホームページ「ボランティアについて」のリンクよりお進みください。

++++++

愛知県賛助奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：内田 幹也（就任1年目）

団員数：83人（男：62人、女：21人）

結成年月日：平成14年4月1日

母体：単独赤十字奉仕

団紹介

青少年赤十字賛助奉仕団は、青少年赤十字指導者協議会の役員経験者や指導経験者で、本団の活動に深い理解を有する教員退職者で組織された団体である。指導者協議会と連携をとりながら、日本赤十字社愛知県支部の行う事業への参加・協力、加盟校に対する支援、若手指導者の育成等を通して、青少年赤十字の普及・発展及び青少年の健全育成に寄与すべく活動を行っている。

奉仕団の主な活動

★ 受付支援

【青少年赤十字指導者協議会総会】

4月23日にウィルあいちで開催された会の受付業務を、11名の参加により指導者協議会理事とともに行った。



（青少年赤十字指導者協議会総会受付）

【青少年赤十字指導者協議会講演会】

令和7年1月17日に名古屋市公会堂で開催された会の受付業務を、

8名の参加により指導者協議会理事とともに行った。

★ 赤十字を広める活動や募金活動への参加

【広めよう赤十字！ 5月の愛知一斉キャンペーン】

5月11日、赤十字月間の啓発活動として、他の特殊奉仕団・青年奉仕団とともに名古屋駅周辺で街頭PRを行った。10名の団員が参加し、啓発物品の配布をしながら赤十字社への理解と協力を呼びかけた。



（NHK海外たすけあい街頭募金活動）

【NHK海外たすけあい街頭募金活動】

12月21日、名古屋駅周辺で11名の参加により卯街頭募金活動を行った。他の特殊奉仕団・青年奉仕団とともに10名の団員が参加し、名古屋駅周辺で募金活動を行った。



（名大・減災館にて）

★ 親睦と教養を深める研修会

10月12日に「名古屋市内の名所を巡るとともに減災を考える」をテーマに、「泉龍山 桃巌寺」と「名古屋大学 減災館」を団員14名が訪問した。「桃巌寺」では寺の特徴である大仏や木魚、裸弁天などの話を聞いて見学した。昼食時には、団員の会話から新たなつながりが生まれるなど、親睦を深めることができた。また、その後の「減災館」では、南海トラフ地震の揺れ方を見たり、飛田教授の説明を聞いたりして、防災や減災への意識をさらに高めることができ、充実した時を過ごした。

活動ピックアップ（指導者協議会との連携による防災授業）

この活動は、団員が青少年赤十字加盟校で授業を行い、子どもたちの防災に関する能力や意識を高めるきっかけづくりをする取組である。

【活動1】

★ 活動の時期・参加人数

日 時： 令和6年9月6日（金）

参加人数： 豊田市立足助小学校4年生10人 贊助奉仕団員1人

★ 活動の内容 <いえまでごろく>

まず子どもたちに本時の授業の目的と重要性を知らせた。その後、「いえまでごろく」の実施方法を説明した。

子どもたちは、サイコロを振った目の場所に書いてある文言を確認しながらゲームを進めた。そして、救助場面カードの場所へ到着すると、場面に合った適切な救助方法を班のメンバーと話し合いながら考えていった。うまく救助できると喜びの歓声を上げるなど、楽しみながら夢中になってゲームに取り組んでいた。



（楽しみながら問題解決方法を考える子どもたち）

★ 活動の成果・効果

授業後の子どもたちは、「地震が起きたときに、どんなふうにしていったらいいか考えることができた」とか「みんなと話し合ったりして、助け合っていくことが大切だと思った」などの感想をもち、災害時に必要となるコミュニケーションに対する意識を高めることができた。

【活動2】

★ 活動の時期・参加人数

日 時： 令和6年12月18日（水）

参加人数： 稲沢市立片原一色小学校5年生26人 贊助奉仕団員1人

★ 活動の内容 <避難所体験>

パワーポイントを活用し、初めに災害に遭うことが他人事でないことを知らせた。そして、実際に避難してくるかもしれない体育館での過ごし方を考えさせ、体育館のフロアでそれぞれが過ごしやすいと考えた場所に移動させて床の上で寝る感覚を味わわせた。そうした上で子どもたちに二つのミッションを与えた。

一つ目のミッションは、グループで協力してのダンボールベッドの組み立てである。ダンボールベッドを作ったら、ベッドに座ったり寝転んだりしてベッドの感触を味わった。



（ダンボールベッドを組み立てる子どもたち）

二つ目のミッションは、3m×3mの家族スペース内で、老若男女6人の家族のうち、だれがダンボールベッドに寝るかとかどこにどの向きに寝るかなどを考えるものである。子どもたちは、自分の家族を思い浮かべながら、意見を出し合い、聞き合い、よりベターな方法を考えていった。

★ 活動の成果・効果

子どもたちは、ダンボールベッドの快適さや有効性を感じるとともに、それぞれのグループで大切なポイントの違いによって家族スペース内の配置が変わることなどを体験した。そして、家族や場所の状況によって、より快適に過ごせるように、話し合って考えていくことの大切さを学ぶことができた。

愛知県柔道整復師会災害救護赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：森川 伸治（就任 11 年目）

団員数：677 人（男：647 人、女：30 人）

結成年月日：平成 17 年 4 月 1 日

母体：公益社団法人 愛知県柔道整復師会

分団数：10

組織形態：特殊赤十字奉仕団

団紹介

愛知県下の接骨院・整骨院のうち約 700 名が所属する業界最大で唯一の公益団体です。

平成 20 年に名古屋市・平成 21 年に愛知県・平成 23 年に岡崎市・平成 28 年に尾張旭市と大府市・平成 29 年に知多市と半田市・平成 30 年に東海市・令和元年に武豊町・令和 4 年に春日井市
本年度は阿久比町と常滑市と「災害時の柔道整復師救護活動に関する協定」を締結しました。
向後も災害救護活動やスポーツ現場での救護を継続していきたいと考えています。

奉仕団の主な活動

★ 活動名

☆第 42 回「NHK 海外たすけあい」名古屋駅周辺で実施した街頭募金に参加(R5.12.21)<2 名>

☆第 19 回県民公開講座を開催【在宅医療について】(R6.3.2)<150 名>



「NHK 海外たすけあい」
名古屋駅周辺で実施した街頭募金



第 19 回県民公開講座開催

※例年実施している以下 2 つの活動は「台風 10 号の影響」により中止となる
☆愛知県・阿久比町総合防災訓練 (R6.9.1) ☆なごや市民総ぐるみ防災訓練 (R6.9.1)

活動ピックアップ！（活動名：第8回全日本マスターズ）

ハンドボール大会【シニア大会】

★ 活動の時期・参加人数

日時： 令和7年2月8日（土）/ 9日（日）

参加人数：延べ 12 名

★ 活動のきっかけ

全日本マスターズハンドボール連盟より依頼を受け、会場救護を担当した。全国よりシニア選手が 180 名弱集まる大会である。

★ 活動の内容

身体接触の多いスポーツであり、また陳旧性外傷がある選手が大半である。大会開始前に傷害予防体操を実施し、ケガ予防のテープングを施した。



大会中に負傷された選手の応急処置



2日間の大会にて延べ38名の選手に対応

★ 活動の成果・効果

例年、アキレス腱断裂や骨折/脱臼の多い大会だったので、ゲーム開始前に「傷害予防の準備体操」も担当した。その結果、上記外傷は発生せず安堵した。また、現場で発生した外傷応急処置も迅速に行なった。

この経験を通じて、救護所や避難所での活動に活かしたいと感じた。

奉仕団のPRスペース

柔道整復師は国家資格です。災害現場では骨折や脱臼の応急処置と医師同意後の後療、並びに打撲・捻挫・挫傷の施術などケガの手当てが可能であります。また機能訓練指導員でもある我々は、運動器の専門家でもあり、避難所にて被災者の皆様に各種運動指導を実施することもできます。

今後も赤十字特殊奉仕団として、県・市防災訓練への参加・災害時に於ける救護活動の実施・避難所にての運動指導や各種スポーツ大会の救護活動などに力を入れていきます。

愛知県赤十字災害救護奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：野牧 泰士（就任9年目）

団員数：43人（男：32人、女：11人）

結成年月日：平成22年4月1日

団紹介

愛知県赤十字災害救護奉仕団は、災害時に愛知県支部救護班と連動し、初動期から活動する奉仕団として防災ボランティア（愛知県支部防災ボランティア活動推進連絡会）から特殊奉仕団として結成されました。平常時は、行政の実施する各種防災訓練への参加や支部が実施する救護班訓練のサポート等を実施しております。災害時には、救護班と連携した活動やボランティアセンターなどの運営を行います。

奉仕団の主な活動

★ 養成研修会のサポート

赤十字防災ボランティア養成研修会において、ボランティアセンターの運営、各種救護機材（テント、炊き出し（ハイゼックス）、無線、救護法）の取り扱いの指導を実施しています

★ 各種救護訓練

県や市町村などが行う水防訓練や地震や津波を想定した訓練や各関係機関が参加する訓練において救護班のサポートとして各種訓練に参加しています。

★ 災害時の活動

災害発生時には、初期段階より支部に参集し、災害対策本部のサポート、救援物資の搬送支援等多岐にわたり活動を実施しています



（救援物資の積み込み）



（ハイゼックスの指導）

活動ピックアップ！（活動名：能登半島地震支援活動）

★ 活動の時期・参加人数

日時：令和5年1月1日～12月14日

参加人数：延べ50名以上

★ 活動のきっかけ

我が災害救護奉仕団は、災害発生時には支部災害対策本部の支援活動や救護班への帯同、救援物資の搬送等多岐にわたり活動を実施しています。

★ 活動の内容

1月1日に発生した能登半島地震でも発災初期から支部災害対策本部支援の他、他特殊奉仕団と連携しての救援物資搬出支援や救護班に帯同しての支援活動、現地からの撤収作業支援、キッチンカーを用いた活動への調理支援などを実施しました。



（キッチンカーでの支援活動）

★ 活動の成果・効果

支援活動は、長期にわたり活動があり、参加した団員は1日の短期活動や一週間の長期活動まで団員の皆様には、調整などで無理をお願いする場合がありました。

実際には、被災者支援の支援者を支援するという直接的な活動が行いにくいという難しい場面も多々ありましたが、団員の方々は非常にモチベーションも高く活動していただきました。

現地で活動した団員からは、被害にあられた方々から「ありがとう」やキッチンカーの支援では「とてもおいしかった」などの言葉をもらいとてもうれしかったと聞いています。

奉仕団のPRスペース

++++++

災害救護奉仕団では、災害時における多岐にわたる活動を実施するために、赤十字の活動を優先して行えるボランティアを募集しています。分からぬ事は、歴戦のボランティアが教えますので、私にもできるかなと思ったら是非お声替えください。

災害対応における研修・訓練で教えてほしい場合でもお気軽に声をかけてください。皆様と顔の見える環境を作りて減災を推し進めましょう

++++++

愛知県赤十字国際人道法普及奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：太田貴代子（就任 13 年目）

団員数：22 人（女：22 人）

結成年月日：平成 25 年 4 月 1 日

母体：特別赤十字奉仕団

団紹介

愛知県支部主催の国際人道法講座を受講した団員らで、講座終了後は、長年「ふうせんの会」として出会いを大切にし、自主研修会を続けてきました。

「国際人道法」「ジュネーブ条約」等、再度学び研鑽してきました。

全国的に人道法講座が開催されていない中、ただ学ぶだけではなく、学んだことを生かして多くの人たちに赤十字の基本原則「人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性」について普及していきたいとの思いから、団体を設立し活動をしています。

奉仕団の主な活動

★ 研修会「災害時に役立つ知識を身につける講習会

活動日：令和 6 年 3 月 27 日（水）

講 師：前田京子 池澤さとみ

内 容：災害時に活かせる生活支援講習（ホットタオル・毛布ガウンの実習）

参加人数：12 名

★ 研修会「日本赤十字社愛知県支部の活動」

活動日：令和 6 年 10 月 16 日（水）

内 容：医療事業、看護師養成、救急法（愛知県支部 130 年の記念書籍を参考にして骨子作成）

参加人数：11 名

★ 研修会「日本赤十字社愛知県支部の活動」ミニ本作成

活動日：令和 6 年 12 月 4 日（水）

内 容：（看護師養成、救急法）・（医療事業）2 冊のミニ本にする

参加人数：8 名



生活支援講習



完成したミニ本 2 冊



活動ピックアップ！（活動名：出前講座）

現在の主な活動の一つとして、国際人道法を分かりやすく理解してもらうためにミニ本つくりをしています。愛知県支部の活動（災害救護活動・国際活動・救急法など講習・青少年赤十字・赤十字ボランティア・血液事業・社会福祉・医療事業・看護師養成）のミニ本つくりが完成しました。これまでの積み重ねを形にしたミニ本を紹介しながら出前講座をしています。

★ 活動の時期 出前講座先

出前講座：愛知県赤十字無線奉仕団
活動日：令和6年3月24日（土）
参加人数：16名



七原則を説明

出前講座：江南市赤十字奉仕団
活動日：令和6年9月4日（水）
参加人数：31名



赤十字の歴史を説明

★ 活動のきっかけ

ミニ本を通じて赤十字活動を広めたいとの思いから、いつも手元に置いて、機会があれば内容をお話ししています。

★ 活動の内容

ミニ本は、A4用紙1枚を8コマに区切り簡潔にまとめたものですので、わかりやすく、ポケットに入るので携帯しやすいと喜んでいただけました。頑張れる環境をえていただいたので、一人で多くの皆さんに活動が理解される存在でありたいと思います。

出前講座前には、各々が復習をして自助努力を怠らないようにしています。

団員募集中です！

ミニ本を通じて人道法普及奉仕団を知ってほしい！

私たちが試行錯誤しながら、生み出したミニ本です。（令和7年3月現在）

☆七原則 ☆赤十字国際人道法（赤十字の始まり） ☆赤十字の歴史

☆日本赤十字の歴史 ☆佐野常民 ☆大給 恒 ☆杉原千畝の命のビザ

☆日本赤十字社 140 年の歩み ①1877 年～1926 年 ②1926 年～1977 年

③1978年～2017年

☆日本赤十字社愛知県支部の活動 ①災害救援活動・国際活動 ②血液事業・社会福祉

③青少年赤十字・赤十字ボランティア ④救急法などの講習・看護師養成 ⑤医療事業

青年赤十字奉仕団

名城大学薬学部青年赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：玄田 有祐美（就任2年目）

団員数：92人（男：9人、女：83人）

結成年月日：昭和42年4月1日

母体：名城大学薬学部 SRC 同好会

団紹介

私たちの団は、名城大学薬学部の学生で構成されています。今年度は、新型コロナウイルスによる制限が緩和されたことで、私たちの活動の主軸である、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の小児病棟に入院する子どもたちとの工作を通じた交流が再開されました。また、本年度も昨年度に引き続き、熱田区民まつりにてブースを出展しました。昨年度の経験を活かして準備を進め、当日は多くの子どもたちに工作を楽しんでもらうことができました。

奉仕団の主な活動

★ 热田区区民まつり

日時：10月13日（日）

概要：熱田区区民まつりに来場した子ども達と一緒に風車やビリビリマイクを作ることで、地域との交流を深めました。計150名ほどの人に来訪して頂きました。

人数：10名



★ 大学祭での献血活動

日時：11月1日（金）、2日（土）

概要：大学祭に献血バスを呼び、部員1～3年生で呼びかけをしながら献血活動を行いました。

人数：45名

★ あいち防災フェスタ

日時：11月10日（日）

概要：庄内緑地公園にて開催されたあいち防災フェスタに来場した子ども達に、通信指令車の試乗や救護服の試着体験、いえまですごろくなどの防災教材を通して防災に対する興味や関心を高めてもらいました。

人数：10名（内名城生：2名）



活動ピックアップ！（活動名：やごとひよこ隊）

★ 活動の時期・参加人数

日時：毎週水曜日

参加人数：10人程度

★ 活動のきっかけ

今年度9月からハ事日赤病院小児科での子どもたちとの対面活動が再開しました。活動再開の許可が下りたあと、小児科での活動経験がある者が少ないと、活動経験があるOBの方々とお話をさせていただき、活動方針を決定してきました。先輩方のお力添えをいただきながら、無事に再開することができ、現在まで活動を軌道に乗せることができました。



★ 活動の内容

ハ事日赤病院小児科のプレイルームや病室で子どもたちと工作をして遊んでいます。クリスマスにはクリスマス会を開催しました。工作の試作品を作り、工作の難易度や作成過程で危険な工程がないかなどを話し合い、子どもたちが安全に工作できるよう工夫しています。

★ 活動の成果・効果

実際に子どもたちと活動をしてみると、笑顔で工作をして遊んでくれている姿が多く、私たち学生も子どもたちに元気をもらい癒されています。また、子どもだけでなくご家族とコミュニケーションをとることも多く、感謝のお言葉をいただくこともあります。活動を通して、子どもたちに楽しんでもらうだけでなく、ご家族の不安を和らげることに繋がっていることに気づかされています。限られた時間の中でどのようにして子どもたちに楽しんでもらうか、良いコミュニケーションがとれるかなど、毎週の活動での反省を活かしながら、より良い活動にしていくけるように努めています。コロナ禍を経て、活動を再開させていただいていることに感謝の気持ちを忘れずに、今後も活動を続けていきたいです。

奉仕団のPRスペース

++++++

普段は、週に1回、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の小児病棟で、子どもたちと一緒におもちゃを作る活動をしています。また、ハロウィンやクリスマスなど季節に合わせた工作も行っています。病棟で活動をさせていただることへの感謝の気持ちを忘れず、これからもさまざまな工作を通して、子どもたちに楽しんでもらえるような活動を続けていきたいと思います。

今年度開催された熱田区民祭りでは、多くのお客様にお越しいただきました。先輩方のアドバイスを参考にしながら、子どもたちへの対応を楽しく、スムーズに進めることができました。今後も、先輩方からいただいた改善点を団員全員で共有し、部員一人ひとりがより積極的に活動に参加できるよう努めています。

++++++

日本赤十字豊田看護大学青年奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：松田 直久（就任 1 年目）

団員数：43 人（男：2 人、女：41 人）

結成年月日：平成 17 年 4 月 1 日

母体：単独赤十字奉仕団

団紹介

日本赤十字豊田看護大学青年奉仕団は、日本赤十字社愛知県支部からご紹介いただいた様々な分野のボランティア等の活動に、興味のある団員が参加し、活動しています。また、豊田市青少年赤十字指導者協議会から、豊田市青少年リーダーシップ・トレーニングセンターに関する活動をご紹介いただき、参加させていただきました。

奉仕団の主な活動

★ 豊田市青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター

活動日：2024 年 8 月 20 日（火） 参加人数：1 名

活動内容：看護師という職業についてや、なぜ看護師を目指すようになったのか、本奉仕団がどのような活動をしているのか、奉仕団に入ったときの思いなどを、青少年赤十字加盟校から集まった小学生・中学生約 100 名に、本奉仕団の学生 1 名がお話しをしました。

★ 名古屋第二病院（八事日赤）病院祭

活動日：2024 年 5 月 19 日（日） 参加者：4 名

活動内容：子どもたちに「きけんはっけん」という防災教材を用いて防災教育を行いました。

「きけんはっけん」では、子どもたちが間違い探しをしながら、災害時危険な箇所がどこにあるのか、災害時の適切な行動などについてお話しをしました。

★ あいち防災フェスタ

活動日：2024 年 11 月 10 日（日） 参加者：4 名

活動内容：「きけんはっけん」や「いえまですごろく」などといった防災教材を用いて防災教育を行いました。

他には、救護服試着体験の手伝いや、ハートラちゃんの着ぐるみを着用して会場内を巡ったりしました。

また、他大学の奉仕団の方や、愛知県青年赤十字奉仕団の方とも交流することができました。



他の奉仕団との集合写真

活動ピックアップ！（活動名：赤十字救急法救急員養成講習会）

★ 活動の時期・参加人数

日時：2024年9月3日（火）・4日（水）・5日（木）

参加人数：9名

★ 活動のきっかけ

私たち赤十字奉仕団と本大学のサークルである DMAC の共同で赤十字救急法救急員の養成講習会を実施しようということになり、愛知県支部の方に協力をいただいて、昨年度初めて講習会を実施し、今年度も同様に実施しました。今年度からコロナによる規制が完全になくなり、他サークルとの活動や交流を図ることができるようになり、夏休みの期間を使って、自分たちも奉仕団員としてスキルアップしていくという意気込みで参加させていただきました。



★ 活動の内容

救急法救急員養成講習会の様子

1日目は赤十字救急法基礎講習を行い、一次救命処置を中心に、手当の基本や人工呼吸、心臓マッサージの方法、AED を用いた電気ショックなどの訓練を行いました。

2日目・3日目は、赤十字救急法救急員養成講習を行い、止血法や包帯の使い方、骨折などの場合の固定、毛布を用いた搬送、災害時の心得を学び、繰り返し演習を行いました。日常生活で身の回りにあるものを使って手当ができることも学びました。

★ 活動の成果・効果

知識や技術を短期間で習得するということには困難な場面も多くありましたが、サークルを超えて仲間と教えあって、時間を見つけては何度も練習し、助け合いながら技術の習得ができたことはとても大きなやりがいに繋がったと思います。今回の講習では、傷病者の命を守るための知識と技術を習得することが主な目的でしたが、それと同時に、自分の命を守り、二次災害を防ぐことも救急員の大きな役目であるということを学び、災害発生時や傷病者発生時にどのように行動するべきなのか、改めて考える機会となりました。また、コロナによる規制が緩和されて実施できた活動なので、全員が仲間との交流を楽しみながら講習に参加することができました。

★ 今後に向けて

++++++

日本赤十字豊田看護大学青年奉仕団は、看護の単科大学にあるということもあり、学年を超えての縦のつながりが強く、奉仕団の中でも先輩後輩の仲が良く、和気あいあいとしてアットホームな雰囲気です。今年度からは新型コロナウイルスによる規制がなくなり、サークル内でもサークルを超えてでも仲間との交流の機会が増えたことが昨年と比べて大きな変化になったと思います。これからは、十分な感染対策を実施した上で、多くの方と交流できるような活動に参加し、引き続き私たちも災害についての知識を増やしながら、地域の方が笑顔になれるような活動を行って参ります！

++++++

名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：市川 杏奈（就任1年目）

団員数：2人（男：0人、女：2人）

結成年月日：平成18年4月1日

母体：ハートフル♥エデ

団紹介

名古屋学芸大学赤十字奉仕団は、2007年に「心を通わせ、心を寄り添う、心のこもった活動」をしようと「ハートフル♥エデ」を立ち上げ活動しています。令和4年愛知県赤十字大会では、銀色有功章を頂きました。感染症感染拡大により活動ができない時期を経て、令和4年7月から、新たな形で活動を始めました。「できる時にできることを、一生懸命行うこと」を大切に活動しています。赤十字の活動を通して様々なことに挑戦しています。

奉仕団の主な活動

★ 災害時の炊き出し体験＆試食

活動日：2024年7月31日（水） 参加人数：2人

活動内容の概要：備蓄食品（アルファ米）と缶詰の試食を行いました。

★ 親子血液教室

活動日：2024年8月5日（月） 参加人数：2人

活動内容の概要：物語にクイズを織り込んだ血液を学べる企画を計画、実施しました。

★ 大学祭での献血の呼びかけ

活動日：2024年10月26日（土） 参加人数：2人

活動内容の概要：大学祭来場者や教職員に対して献血の呼びかけを行いました。

★ NHK 海外たすけあい募金

学内活動 活動日：2024年12月20日（金） 参加人数：2人

活動内容の概要：学内で募金活動を行いました。

学外活動 活動日：2024年12月21日（土） 参加人数：2人

活動内容の概要：他の奉仕団と協力し、募金活動を行いました。



親子血液教室の準備



備蓄米の試食

活動ピックアップ！（活動名：大学祭での献血の呼びかけ）

★ 活動の時期・参加人数

日時：2024年10月26日（土）

参加人数：2人

★ 活動のきっかけ

先輩方の伝統を受け、大学祭での活動は一大イベントの一つでもありました。コロナ禍での献血不足や戦争問題の課題から、大学祭という多くの人々が集まる場を活用し、献血への呼びかけを行いました。

愛知県赤十字血液センターの方々にもご協力いただき、準備期間には、献血についての知識を深めたり、職員の方々と当日の流れに関する打ち合わせを行ったりしました。また、呼びかけ活動で使用する手持ちパネルの作成を行い、当日に向けて準備を重ねました。

大学祭当日は天候にも恵まれ、多くの方々からのご支援・ご協力をいただくことができました。

★ 活動の内容

愛知県赤十字血液センターの方々にもご協力いただき、準備期間には、献血についての知識を深めたり、職員の方々と当日の流れに関する打ち合わせを行ったりしました。また、呼びかけ活動で使用する手持ちパネルの作成を行い、当日に向けて準備を重ねました。

大学祭当日は天候にも恵まれ、多くの方々からのご支援・ご協力をいただくことができました



大学祭での献血のようす

★ 活動の成果・効果

この一年間の活動を通して、献血や防災への関心を高めることができただけでなく、相手に伝わる言葉遣いで話すことや社会貢献への意識の深化にもつながりました。また、受動的に行動するのではなく、能動的に活動することの大切さを大いに感じました。

これらの経験は、自身の成長とともに、今後の活動においても大きな財産になりました。

奉仕団 PR スペース

++++++

更に進化していくために

私たちが名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団「ハートフル♥エデ」として活動をし始めてから、まだ日は浅いですが、様々な活動を行うたびに人の優しさに触れ、助け合いの心を強く実感しています。

部員は二人と少ないですが、意欲に満ち溢れおり、困った時はお互いに助け合える存在です！意見のまとまる速さは奉仕団で一番だと自負しています。

昨年は献血活動に注力しました。今年はこれにプラスして災害支援や防災活動に力を注いでいきたいです。そのためにも、部員の増加を目指します！

++++++

南山大学青年赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：碇 真人（就任1年目）

団員数：33人（男：7人、女：26人）

結成年月日：平成12年4月1日

母体：ボランティアサークル Together

団紹介

主に赤十字、環境、福祉、町おこしの4つの分野で活動を行っています。環境ボランティアでは、川やその周辺の清掃を地域の方々と行っています。福祉ボランティアでは、児童館を訪問し、イベントのお手伝いをしています。町おこしボランティアでは、岐阜県美濃加茂群の白川町で現地の農家の方に教わりながら田植えや稻狩りを体験し、年に何度も開催されるお祭りの手伝いも行っています。

奉仕団の主な活動

★堀川清掃

6月18日(15名)堀川周辺のゴミ拾いをしました。活動後は地域の方から堀川や環境問題のお話を伺うことができました。

★つみきの会

1月19日(9名)イーブル名古屋で発達障害を持つ子供やその兄弟と一緒に遊びました。マンツーマンで活動しましたので、子供たちとの仲が深まりました。



(堀川清掃)

活動ピックアップ！（活動名：病院際運営補助ボランティア）

★ 活動の時期・参加人数

日時：5月19日

参加人数：南山大学青年赤十字奉仕団から1名

★ 活動のきっかけ

病院際に関わってみたいという気持ちと、いえままでごろくなどで学ぶ機会があることを知って、今後の自分の教養として身につけたかったからです。

★ 活動の内容



★ 活動の成果・効果

赤十字社における具体的な救護活動内容について知ることができました。他の活動と違い、子供向けの「祭り」というイベント形式なので、簡単な言葉で説明されていました。救護服を試着したり、病院内を回って問題に回答するなど運営側も楽しめるイベントになりました。屋外でも緊急搬送される順序を学ぶ場所があり、自身もその場に参加し、子供たちと一緒に学ぶことができました。

奉仕団のPRスペース

++++++

当団は、団員がアルバイトや勉強を両立させながらそれぞれのペースで楽しく活動を行っています。好きな時に行きたいボランティアを選択することができるため、たくさんの方々と深い交流ができるのが魅力です。また専門的な学生もいるので、そういう方々にたくさんお話を聞けるので教養も見につきます。

特に堀川清掃に参加する団員が多く、学部や学年を超えた交流はもちろん、地域の方々との交流も図ることができます。

皆さんも、時間がある今を無駄にせず、私たちと一緒に社会に貢献しませんか？

++++++

愛知県青年赤十字奉仕団

＜奉仕団情報＞

委員長名：成瀬 綾香(就任2年目)

団員数：72人（男：33人、女：39人）

結成年月日：平成21年4月1日

母体：単独赤十字奉仕団

団紹介

愛知県青年赤十字奉仕団は、愛知県在住・在学・在勤の18歳～29歳までの方を対象に団員を募集しています。団員は、住んでいる地域や、所属している学校・会社等がそれぞれ違うため、全員が一堂に会する機会は少ないですが、参加できる人が参加できる時に、お互いの知識や経験を共有しながら、様々な分野の赤十字活動に取り組んでいます。

奉仕団の主な活動

★ 夏休み みんなの空き地プロジェクト

実施時期：令和6年8月 参加人数：8名

UR都市機構様との協働により、8月に名古屋市北区のUR水草団地と名古屋市緑区のUR鳴子団地で、子どもたちがいつでも来られる「空き地」として団地内の集会所を開放しました。

当奉仕団員も子ども達の夏休みの宿題の手伝いや、一緒に遊ぶことをとおして子ども達の「第3の居場所作り」が出来るよう活動しました。

★あいち防災フェスタ ブース出展

実施時期：令和6年11月 参加人数：4名

日赤愛知県支部が出展した防災イベントのブース運営に参加し、会場を訪れた親子層に対して防災に関する普及活動を行いました。「いえまでごろく」や「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん」といった防災教育教材を用いて、災害が起きたときのことについてゲームを通して来場者に楽しく学んでいただきました。



みんなの空き地プロジェクトの様子



あいち防災フェスタの様子

活動ピックアップ！（活動名：令和6年能登半島地震 子ども支援ボランティア）

★ 活動の時期・参加人数

日 時：令和6年12月

参加人数：5名

★ 活動のきっかけ

青年赤十字奉仕団として、令和6年能登半島地震の被災地支援が何か出来ないかと考え、日本赤十字社愛知県支部が実施する石川県志賀町の児童館での子ども支援ボランティアに参加しました。

★ 活動の内容

石川県志賀町の児童館を訪れ、バルーンアート作りやキーホルダー作り等のレクリエーションを行いました。また、愛知県災害救護奉仕団がキッチンカーで調理した軽食を子ども達に提供し、一緒に食べる等して地元の子ども達との交流を深めました。参加団員達はこの日のために打ち合わせを重ね、買い出しやレクリエーション内容を検討する等の準備を行い、当日を迎えました。



風船で動物を作る子どもの様子

★ 活動の成果・効果

当日は50名以上の子ども達が児童館を訪れ、当奉仕団員と交流しました。

バルーン作りでは実際に子ども達自身の手でバルーンを作成したり、キーホルダー作りでは何個も作成に挑戦する子がいたり、新鮮で楽しい時間を過ごすことができたと大好評でした。参加した団員達もどうすれば子ども達に楽しんでもらえるか試行錯誤した結果、大盛況で1日を終えることができました。

奉仕団のPRスペース

++++++

愛知県青年赤十字奉仕団は、赤十字のさまざまなジャンルの事業・企画へ参加し、活動しています。年齢だけでなく出身、職業、ありとあらゆる点において多様性を持った組織ですが、世間に隠れているニーズを発見し解決することを目指しています。

++++++

奉仕団データ編

＜愛知県支部＞ 赤十字奉仕団
団数・団員数推移(令和6年度末現在)

	年度	愛知県	
		奉仕団数	奉仕団員数
総合計	令和4年	83	18,427
	令和5年	83	17,871
	令和6年	83	17,438

区分	年度	愛知県	
		奉仕団数	奉仕団員数
地域	令和4年	65	16,860
	令和5年	65	16,411
	令和6年	65	16,022
特殊	令和4年	13	1,274
	令和5年	13	1,230
	令和6年	13	1,186
青年	令和4年	5	293
	令和5年	5	230
	令和6年	5	230

＜全国＞ 赤十字奉仕団
団数・団員数推移(令和5年度末現在)

	年度	全国	
		奉仕団数	奉仕団員数
総合計	令和3年	2,886	1,132,134
	令和4年	2,860	839,704
	令和5年	2,831	829,386

区分	年度	全国	
		奉仕団数	奉仕団員数
地域	令和3年	2,107	1,097,423
	令和4年	2,088	806,027
	令和5年	2,068	785,324
特殊	令和3年	630	29,324
	令和4年	622	28,566
	令和5年	615	27,268
青年	令和3年	149	5,387
	令和4年	150	5,111
	令和5年	148	5,277

令和6年度 赤十字奉仕団一覧

No.	奉仕団名	男	女	合計	結成年月日	母体となる団体名
<地域奉仕団>						
1	千種区赤十字奉仕団	176	152	328	昭和36年10月1日	単独赤十字奉仕団
2	東区赤十字奉仕団	155	20	175	昭和25年4月25日	学区連絡協議会
3	北区赤十字奉仕団	310	81	391	昭和32年10月19日	区政協力委員
4	西区赤十字奉仕団	355	101	456	昭和26年4月1日	区政協力委員
5	中村区赤十字奉仕団	285	32	317	平成2年6月1日	区政協力委員
6	中区赤十字奉仕団	255	46	301	昭和25年11月23日	区政協力委員
7	昭和区赤十字奉仕団	190	64	254	昭和32年10月19日	区政協力委員
8	瑞穂区赤十字奉仕団	184	69	253	昭和32年10月19日	区政協力委員
9	熱田区赤十字奉仕団	138	11	149	昭和25年11月3日	学区連絡協議会
10	中川区赤十字奉仕団	233	234	467	昭和49年4月1日	区政協力委員
11	港区赤十字奉仕団	252	46	298	昭和25年9月1日	区政協力委員協議会
12	南区赤十字奉仕団	2,289	2,289	4,578	昭和26年2月6日	区政協力委員
13	守山区赤十字奉仕団	318	76	394	昭和30年5月21日	区政協力委員
14	緑区赤十字奉仕団	420	134	554	昭和38年4月1日	区政協力委員
15	名東区赤十字奉仕団	213	79	292	昭和50年2月1日	単独赤十字奉仕団
16	天白区赤十字奉仕団	231	85	316	昭和50年2月1日	区政協力委員
17	豊橋市赤十字奉仕団	0	467	467	昭和62年3月1日	豊橋市更生保護女性会
18	岡崎市赤十字奉仕団	2	23	25	平成8年5月30日	単独赤十字奉仕団
19	一宮市赤十字奉仕団	0	250	250	昭和23年12月22日	単独赤十字奉仕団
20	瀬戸市赤十字奉仕団	6	11	17	昭和32年10月19日	自治会・地域婦人団体連絡協議会
21	半田市赤十字奉仕団	0	40	40	昭和54年5月1日	単独赤十字奉仕団
22	春日井市赤十字奉仕団	3	211	214	昭和26年4月1日	単独赤十字奉仕団
23	豊川市赤十字奉仕団	12	8	20	昭和32年10月19日	豊川市青年団協議会
24	豊川市第二赤十字奉仕団	1	5	6	昭和37年4月1日	単独赤十字奉仕団
25	津島市赤十字奉仕団	0	48	48	昭和57年4月1日	単独赤十字奉仕団
26	碧南市赤十字奉仕団	0	609	609	昭和24年11月24日	単独赤十字奉仕団
27	刈谷市赤十字奉仕団	2	267	269	昭和25年9月1日	単独赤十字奉仕団
28	豊田市赤十字奉仕団	0	64	64	昭和43年6月18日	単独赤十字奉仕団
29	安城市赤十字奉仕団	0	40	40	昭和28年3月1日	単独赤十字奉仕団
30	西尾市赤十字奉仕団	1	81	82	昭和59年4月1日	単独赤十字奉仕団
31	蒲郡市赤十字奉仕団	0	160	160	昭和62年4月1日	蒲郡市更生保護女性会
32	犬山市赤十字奉仕団	3	35	38	平成8年8月8日	単独赤十字奉仕団
33	常滑市赤十字奉仕団	1	55	56	平成10年7月6日	単独赤十字奉仕団
34	江南市赤十字奉仕団	0	66	66	平成10年3月26日	単独赤十字奉仕団
35	小牧市赤十字奉仕団	0	170	170	昭和32年10月19日	小牧市女性の会
36	稻沢市赤十字奉仕団	0	35	35	平成5年10月8日	単独赤十字奉仕団
37	新城市赤十字奉仕団	5	140	145	昭和34年11月1日	新城はぐるまの会
38	東海市赤十字奉仕団	2	96	98	昭和44年6月1日	単独赤十字奉仕団
39	大府市赤十字奉仕団	2	158	160	昭和32年4月1日	大府市地域婦人団体連絡協議会
40	知多市赤十字奉仕団	0	35	35	昭和30年4月1日	単独赤十字奉仕団
41	知立市赤十字奉仕団	0	7	7	昭和55年11月1日	ボランティアあおみの会
42	尾張旭市赤十字奉仕団	0	93	93	昭和32年10月19日	尾張旭市地域婦人団体連絡協議会
43	高浜市赤十字奉仕団	0	34	34	昭和57年4月1日	単独赤十字奉仕団
44	岩倉市赤十字奉仕団	0	50	50	昭和28年2月9日	岩倉市婦人会
45	豊明市赤十字奉仕団	0	20	20	昭和57年4月1日	単独赤十字奉仕団
46	日進市赤十字奉仕団	2	34	36	平成7年7月21日	単独赤十字奉仕団
47	田原市赤十字奉仕団	0	114	114	平成15年3月20日	田原市更生保護女性会
48	愛西市赤十字奉仕団	6	38	44	平成17年4月1日	単独赤十字奉仕団
49	清須市赤十字奉仕団	0	416	416	平成17年7月7日	清須市女性の会
50	北名古屋市師勝赤十字奉仕団	0	12	12	昭和32年4月1日	女性の会

No	奉仕団名	男	女	合計	結成年月日	母体となる団体名
51	北名古屋市西春赤十字奉仕団	1	14	15	平成元年4月1日	単独赤十字奉仕団
52	弥富市赤十字奉仕団	0	213	213	平成18年4月1日	弥富市女性の会
53	みよし市赤十字奉仕団	0	45	45	平成10年7月21日	単独赤十字奉仕団
54	あま市赤十字奉仕団	1	77	78	平成28年4月1日	単独赤十字奉仕団
55	長久手市赤十字奉仕団	0	18	18	平成21年4月1日	単独赤十字奉仕団
56	長久手市第二赤十字奉仕団	0	4	4	平成7年4月1日	単独赤十字奉仕団
57	豊山町赤十字奉仕団	0	41	41	昭和54年8月3日	単独赤十字奉仕団
58	扶桑町赤十字奉仕団	2	17	19	昭和52年4月1日	単独赤十字奉仕団
59	大治町赤十字奉仕団	0	76	76	平成8年5月21日	単独赤十字奉仕団
60	蟹江町赤十字奉仕団	0	93	93	昭和26年4月1日	蟹江町婦人会
61	阿久比町赤十字奉仕団	17	90	107	昭和28年11月29日	単独赤十字奉仕団
62	東浦町赤十字奉仕団	54	129	183	平成6年4月14日	単独赤十字奉仕団
63	美浜町赤十字奉仕団	0	213	213	平成21年4月1日	単独赤十字奉仕団
64	武豊町赤十字奉仕団	10	8	18	昭和28年4月1日	単独赤十字奉仕団
65	幸田町赤十字奉仕団	0	1,436	1,436	昭和27年11月30日	こうた女性の会

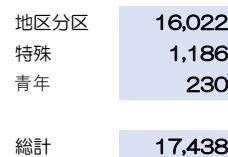
＜特殊奉仕団＞

66	名古屋国際婦人赤十字奉仕団	0	31	31	昭和35年12月15日	名古屋国際婦人クラブ
67	三河湾赤十字海難救助奉仕団	59	2	61	昭和47年7月10日	単独赤十字奉仕団
68	三河赤十字救急奉仕団	16	16	32	昭和49年10月1日	単独赤十字奉仕団
69	愛知県赤十字安全奉仕団	48	42	90	昭和45年10月24日	単独赤十字奉仕団
70	尾張赤十字救急奉仕団	12	4	16	昭和52年11月18日	単独赤十字奉仕団
71	愛知県赤十字救急奉仕団	17	20	37	昭和53年4月2日	単独赤十字奉仕団
72	愛知県赤十字救護奉仕団	0	27	27	昭和53年4月25日	単独赤十字奉仕団
73	愛知県赤十字救助奉仕団	17	18	35	昭和56年6月7日	単独赤十字奉仕団
74	愛知県赤十字無線奉仕団	31	3	34	昭和59年5月22日	単独赤十字奉仕団
75	愛知県青少年赤十字賛助奉仕団	62	21	83	平成14年4月1日	単独赤十字奉仕団
76	愛知県柔道整復師会災害救護赤十字奉仕団	647	30	677	平成17年4月1日	公益社団法人愛知県柔道整復師会
77	愛知県赤十字災害救護奉仕団	25	16	41	平成22年4月1日	単独赤十字奉仕団
78	愛知県赤十字国際人道法普及奉仕団	0	22	22	平成25年4月1日	単独赤十字奉仕団

＜青年奉仕団＞

79	名城大学薬学部青年赤十字奉仕団	6	73	79	昭和42年4月1日	名城大学薬学部SRC同好会
80	日本赤十字豊田看護大学青年赤十字奉仕団	1	60	61	平成17年4月1日	単独赤十字奉仕団
81	名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団	0	3	3	平成18年4月1日	ハートフル♥エデ
82	南山大学青年赤十字奉仕団	12	38	50	平成12年4月1日	Together
83	愛知県青年赤十字奉仕団	15	22	37	平成21年4月1日	単独赤十字奉仕団

（データは令和6年3月31日時点のものです。なお、各奉仕団の紹介ページに記載されている奉仕団情報については、令和6年1月1日時点のものです。）



令和6年度 赤十字奉仕団活動状況

1.「広めよう赤十字！5月の愛知一斉キャンペーン」

No.	赤十字奉仕団名	実施日	実施場所
1	岡崎市赤十字奉仕団	5月5日(日)	岡崎中央総合公園
2	一宮市赤十字奉仕団	5月5日(日)	尾張一宮駅前ビル1階ココース
3	春日井市赤十字奉仕団	5月7日(火)	サンマルシェ
		5月11日(土)	フィールエクボスタイルKASUGAI店
		5月12日(日)	清水屋春日井店
		5月17日(金)	パロー勝川店
4	豊川市第二赤十字奉仕団	5月1日(水)	ピアゴ豊川店
5	刈谷市赤十字奉仕団	5月1日(水)	刈谷ハイウェイオアシス
		5月7日(火)	ピアゴ東刈谷店
6	安城市赤十字奉仕団	5月11日(土)	・アピタ安城南店・イトーヨーカドー安城店
7	西尾市赤十字奉仕団	5月1日(水)	ヤマナカ西尾寄住店他9か所
8	蒲郡市赤十字奉仕団	5月3日(金)	蒲郡市竹島水族館周辺
9	常滑市赤十字奉仕団	5月3日(金)	ベイシアフードセンター常滑店 カインズ常滑店
10	江南市赤十字奉仕団	5月1日(水)	曼陀羅寺公園 藤まつり会場
11	小牧市赤十字奉仕団	5月14日(火)	ラピオ1階
12	稻沢市赤十字奉仕団	4月27日(土)	国府宮神社 参道
13	新城市赤十字奉仕団	5月5日(日)	長篠城址
14	東海市赤十字奉仕団	5月14日(火)	アピタ東海荒尾店
15	大府市赤十字奉仕団	5月9日(木)	アピタパワーハウス大府店
16	知多市赤十字奉仕団	5月8日(水)	イトーヨーカドー知多
17	知立市赤十字奉仕団	期間中	ギャラリエアピタ知立店
18	尾張旭市地区奉仕団	4月26日(金)	イトーヨーカドー尾張旭店
19	高浜市赤十字奉仕団	期間中	Tポート
20	岩倉市赤十字奉仕団	5月10日(金)	名鉄岩倉駅
21	豊明市赤十字奉仕団	5月24日(金)	①豊明市前後駅
22		5月24日(金)	②ドンキホーテ豊明店
23	日進市赤十字奉仕団	5月5日(日)	MEGAドン・キホーテUNY香久山店
24	田原市赤十字奉仕団	5月4日(土)	サンテパルクたはら
25	愛西市赤十字奉仕団	5月12日(日)	・ピアゴ佐屋店・オーツワ愛西プラザ店
26	清須市赤十字奉仕団	5月1日(水)	市内商業施設3ヶ所
27	師勝赤十字奉仕団	5月11日(土)	ナフコ師勝中央店
28		5月11日(土)	ヨシズヤ師勝店)
29	西春赤十字奉仕団	5月2日(木)	西春奉仕団 (名鉄西春駅)
30	あま市赤十字奉仕団	5月12日(日)	美和分団(全1ヵ所) ナフコトミダ木田店
31		5月16日(木)	甚目寺分団(全5ヵ所) アオキスーパー甚目寺店他5か所
32		5月19日(日)	七宝分団(全1ヵ所) ナフコトミダ七宝店
33	豊山町赤十字奉仕団	5月1日(水)	エアポートウォーク名古屋
34	扶桑町赤十字奉仕団	5月9日(木)	イオンモール扶桑
35	大治町赤十字奉仕団	5月17日(金)	・町内アオキスーパー2店舗、ピアゴ大治店
36	蟹江町赤十字奉仕団	5月11日(土)	JR蟹江駅及び近鉄蟹江駅
37	美浜町赤十字奉仕団	5月17日(金)	フィール・カインズ美浜店
38	武豊町赤十字奉仕団	5月15日(水)	コノミヤ武豊店

No.	奉仕団名	実施日	実施場所
1	春日井市赤十字奉仕団	①12月7日（土） ②12月8日（日） ③12月10日（火） ④12月14日（土）	①清水屋春日井店 春日井市瑞穂通5-33 ②フィールエクボ エタレKASUGAI店 春日井市篠木町8-4-58 ③サンマルシェ 春日井市中央台1-2-2 ④バロー勝川店 春日井市小野町2-1-1
2	豊明市第二赤十字奉仕団	12月8日（日）	ピアゴ豊川店 豊川市幸町103
3	津島市赤十字奉仕団	12月5日（木）	津島市役所 津島市立込町2-21
4	碧南市赤十字奉仕団	12月7日（土）	あおいパーク 碧南市江口町3-15-3
5	刈谷市赤十字奉仕団	12月1日（日） 予備日12月8日（土）	刈谷ハイウェイオアシス 刈谷市東境町吉野55
6	大府市赤十字奉仕団	12月10日（火）	JAあぐりタウンげんきの郷 大府市吉田町正右エ門新田1-1
7	安城市赤十字奉仕団	12月14日（土）	イトーヨーカドー安城店 安城市住吉町3-1-8
8	蒲郡市赤十字奉仕団	12月15日（日）	蒲郡市民会館（展示場2） 蒲郡市栄町3-30
9	江南市赤十字奉仕団	12月8日（日）	①平和堂江南店 江南市上奈良町栄61-3 ②アピタ江南店 江南市松竹町上野205
10	犬山市赤十字奉仕団	12月10日（火）	名鉄犬山駅東口及び西口付近 犬山市大字犬山字富士見町14付近
11	小牧市赤十字奉仕団	12月10日（火）	ラピオ 小牧市小牧3-555
12	新城市赤十字奉仕団	12月1日（日）	JA愛知東こんたく長篠 新城市長篠西野々30
13	知多市赤十字奉仕団	12月4日（水）	イトーヨーカドー知多店 知多市新知東町1-10-1
14	日進市赤十字奉仕団	12月1日（日）	MEGAドン・キホーテUNY香久山店 日進市香久山5-1801
15	田原市赤十字奉仕団	12月7日（土）	①イオン田原店 田原市田原町南新地76-1 ①ヤマナカ田原店 田原市東赤石5-60-60 ③パワーズ田原店 田原市加治町東天神7-1 ④道の駅田原めっくんはうす 田原市東赤石5-74 ⑤フードアソシあつみ福江店 田原市古田町エグノ前125
16	愛西市赤十字奉仕団	12月1日（日）	①ピアゴ佐屋店 愛西市北一色町東田面10-1 ②オーパワ愛西プラザ店 愛西市袖木町元屋敷曲輪329-10
17	弥富市赤十字奉仕団	12月7日（土）	イオンタウン弥富 弥富市五明町蒲原1371-4
18	みよし市赤十字奉仕団	12月22日（日）	①グリーンセンター三好店 三好町上砂後16-1 ②イオン三好店 三好町青木91
19	あま市赤十字奉仕団 ①七宝分団 ②美和分団 ③甚目寺分団	①12月8日（日） ②12月1日（日） ③12月8日（日）	①ナフコトミダ七宝店 あま市七宝町桂親田35-1 ②ナフコトミダ木田店 あま市木田東新赤坪39 ③(1)名鉄甚目寺駅 あま市甚目寺郷浦35 ③(2)ヨシヅヤ甚目寺店 あま市甚目寺五位田128 ③(3)ピアゴ甚目寺店 あま市森4-11-14 ③(4)アオキスーパー坂牧店 あま市坂牧坂塩83-1 ③(5)アオキスーパー甚目寺店 あま市新居屋99-99

3.赤十字奉仕団活動推進指導要領 実施状況（令和6年度）

No.	奉仕団名	活動の種類	子ども・子育て支援に関する活動					
			障害者福祉向上のための活動	老人福祉向上のための活動	社会福祉施設における活動	赤十字病院における活動	救急法等の普及に関する活動	災害救護に関する活動
1	千種区赤十字奉仕団		○		○			
2	東区赤十字奉仕団							
3	北区赤十字奉仕団	○	○					
4	西区赤十字奉仕団	○	○					
5	中村区赤十字奉仕団							
6	中区赤十字奉仕団		○					
7	昭和区赤十字奉仕団	○	○					
8	瑞穂区赤十字奉仕団	○						
9	熱田区赤十字奉仕団	○						
10	中川区赤十字奉仕団	○						
11	港区赤十字奉仕団	○						
12	南区赤十字奉仕団		○					
13	守山区赤十字奉仕団	○						
14	緑区赤十字奉仕団							
15	名東区赤十字奉仕団	○						
16	天白区赤十字奉仕団	○						
17	豊橋市赤十字奉仕団	○					○	
18	岡崎市赤十字奉仕団	○	○	○	○	○		
19	一宮市赤十字奉仕団	○	○	○	○	○	○	○
20	瀬戸市赤十字奉仕団	○	○					
21	半田市赤十字奉仕団			○	○	○	○	○
22	春日井市赤十字奉仕団	○	○	○	○	○		
23	豊川市赤十字奉仕団	○	○		○	○		
24	豊川市第二赤十字奉仕団	○	○					
25	津島市赤十字奉仕団	○	○	○		○		
26	碧南市赤十字奉仕団	○	○		○	○	○	○
27	刈谷市赤十字奉仕団	○	○		○	○		○
28	豊田市赤十字奉仕団	○	○		○	○		
29	安城市赤十字奉仕団	○	○					
30	西尾市赤十字奉仕団	○	○	○	○	○	○	
31	蒲郡市赤十字奉仕団	○	○		○	○		○
32	犬山市赤十字奉仕団	○	○	○	○	○		○
33	常滑市赤十字奉仕団	○	○		○	○		
34	江南市赤十字奉仕団	○	○		○	○		○

35	小牧市赤十字奉仕団	○	○		○	○						
36	稻沢市赤十字奉仕団	○	○		○				○		○	
37	新城市赤十字奉仕団	○	○			○			○			
38	東海市赤十字奉仕団	○	○		○	○		○				
39	大府市赤十字奉仕団	○	○									
40	知多市赤十字奉仕団	○	○			○						
41	知立市赤十字奉仕団	○				○					○	
42	尾張旭市赤十字奉仕団	○	○		○	○						
43	高浜市赤十字奉仕団	○	○			○			○		○	
44	岩倉市赤十字奉仕団	○	○			○						
45	豊明市赤十字奉仕団	○	○		○	○					○	
46	日進市赤十字奉仕団	○	○			○			○			
47	田原市赤十字奉仕団	○	○		○	○						
48	愛西市赤十字奉仕団	○	○			○			○		○	
49	清須市赤十字奉仕団	○	○			○			○			
50	北名古屋市師勝赤十字奉仕団	○	○			○						
51	北名古屋市西春赤十字奉仕団	○	○	○		○						
52	弥富市赤十字奉仕団	○	○			○			○	○	○	
53	みよし市赤十字奉仕団	○	○			○			○	○		
54	あま市赤十字奉仕団	○	○			○		○				
55	長久手市赤十字奉仕団											
56	長久手市第二赤十字奉仕団	○				○						
57	豊山町赤十字奉仕団	○	○			○			○	○		
58	扶桑町赤十字奉仕団					○	○			○	○	
59	大治町赤十字奉仕団	○	○			○		○	○	○		
60	蟹江町赤十字奉仕団	○	○						○			
61	阿久比町赤十字奉仕団		○			○						
62	東浦町赤十字奉仕団	○	○			○						
63	美浜町赤十字奉仕団	○	○			○						
64	武豊町赤十字奉仕団	○	○									
65	幸田町赤十字奉仕団	○	○			○						
66	名古屋国際婦人赤十字奉仕団								○			
67	三河湾赤十字海難救助奉仕団											
68	三河赤十字救急奉仕団	○	○			○					○	
69	愛知県赤十字安全奉仕団	○				○						
70	尾張赤十字救急奉仕団	○										
71	愛知県赤十字救急奉仕団	○				○						
72	愛知県赤十字救護奉仕団	○	○								○	
73	愛知県赤十字救助奉仕団	○									○	
74	愛知県赤十字無線奉仕団	○	○					○				
75	愛知県青少年赤十字賛助奉仕団	○		○								
76	愛知県柔道整復師会災害救護赤十字奉仕団	○										
77	愛知県赤十字災害救護奉仕団	○	○					○				
78	愛知県赤十字国際人道法普及奉仕団	○	○									
79	名城大学薬学部青年赤十字奉仕団	○	○		○		○				○	
80	日本赤十字豊田看護大学青年赤十字奉仕団	○	○			○						
81	名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団											
82	南山大学青年赤十字奉仕団	○	○		○		○					
83	愛知県青年赤十字奉仕団		○									

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

【発行】
日本赤十字社愛知県支部
〒461-8561
愛知県名古屋市東区白壁1-50
TEL 052-971-1591
HP <http://www.aichi.jrc.or.jp/>